

MX269018A
アナログ測定ソフトウェア
取扱説明書
リモート制御編

第 15 版

- ・ 製品を適切・安全にご使用いただくために、製品をご使用になる前に、本書を必ずお読みください。
- ・ 本書に記載以外の各種注意事項は、MS2830A シグナルアナライザ取扱説明書(本体 操作編)、MS2840A シグナルアナライザ取扱説明書(本体 操作編)、または、MX269018A アナログ測定ソフトウェア / MS2830A/MS2840A シグナルアナライザアナログ信号発生器取扱説明書(操作編)に記載の事項に準じますので、そちらをお読みください。
- ・ 本書は製品とともに保管してください。

アンリツ株式会社

安全情報の表示について

当社では人身事故や財産の損害を避けるために、危険の程度に応じて下記のようなシグナルワードを用いて安全に関する情報を提供しています。記述内容を十分理解した上で機器を操作してください。

下記の表示およびシンボルは、そのすべてが本器に使用されているとは限りません。また、外観図などが本書に含まれるとき、製品に貼り付けたラベルなどがその図に記入されていない場合があります。

本書中の表示について



危険

回避しなければ、死亡または重傷に至る切迫した危険があることを示します。



警告

回避しなければ、死亡または重傷に至る恐れがある潜在的な危険があることを示します。



注意

回避しなければ、軽度または中程度の人体の傷害に至る恐れがある潜在的危険、または、物的損害の発生のみが予測されるような危険があることを示します。

機器に表示または本書に使用されるシンボルについて

機器の内部や操作箇所の近くに、または本書に、安全上および操作上の注意を喚起するための表示があります。これらの表示に使用しているシンボルの意味についても十分理解して、注意に従ってください。



禁止行為を示します。丸の中や近くに禁止内容が描かれています。



守るべき義務的行為を示します。丸の中や近くに守るべき内容が描かれています。



警告や注意を喚起することを示します。三角の中や近くにその内容が描かれています。



注意すべきことを示します。四角の中にその内容が書かれています。



このマークを付けた部品がリサイクル可能であることを示しています。

MX269018A

アナログ測定ソフトウェア

取扱説明書 リモート制御編

2011年（平成23年）6月24日（初 版）

2018年（平成30年）3月23日（第15版）

- ・予告なしに本書の内容を変更することがあります。
- ・許可なしに本書の一部または全部を転載・複製することを禁じます。

Copyright © 2011-2018, ANRITSU CORPORATION

Printed in Japan

国外持ち出しに関する注意

1. 本製品は日本国内仕様であり、外国の安全規格などに準拠していない場合もありますので、国外へ持ち出して使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。
2. 本製品および添付マニュアル類は、輸出および国外持ち出しの際には、「外国為替及び外国貿易法」により、日本国政府の輸出許可や役務取引許可を必要とする場合があります。また、米国の「輸出管理規則」により、日本からの再輸出には米国政府の再輸出許可を必要とする場合があります。

本製品や添付マニュアル類を輸出または国外持ち出しする場合は、事前に必ず当社の営業担当までご連絡ください。

輸出規制を受ける製品やマニュアル類を廃棄処分する場合は、軍事用途等に不正使用されないように、破碎または裁断処理していただきますようお願い致します。

はじめに

■取扱説明書の構成

MX269018A アナログ測定ソフトウェアの取扱説明書は、以下のように構成されています。



- シグナルアナライザ 取扱説明書 (本体 操作編)
- シグナルアナライザ 取扱説明書 (本体 リモート制御編)
本体の基本的な操作方法, 保守手順, 共通的な機能, 共通的なリモート制御などについて記述しています。
- ベクトル信号発生器取扱説明書 (操作編)
- ベクトル信号発生器取扱説明書 (リモート制御編)
ベクトル信号発生器オプションの機能, 操作方法, リモート制御について記述しています。
- MX269018A アナログ測定ソフトウェア/
MS2830A/MS2840A シグナルアナライザ・アナログ信号発生器
取扱説明書 (操作編)
MX269018A アナログ測定ソフトウェア, MS2830A, MS2840A シグナルアナライザ・アナログ信号発生器の操作方法について記述しています。

- MX269018A アナログ測定ソフトウェア取扱説明書 (リモート制御編)＜本書＞
MX269018A アナログ測定ソフトウェア, MS2830A, MS2840A シグナルアナライザ・アナログ信号発生器のリモート制御について記述しています。

シグナルアナライザのアプリケーションにおけるリモート制御の基本や共通に使用できるコマンドの定義は、『MS2690A/MS2691A/MS2692A および MS2830A/MS2840A/MS2850A シグナルアナライザ 取扱説明書 (本体 リモート制御編)』に記載しています。

目次

はじめに I

第 1 章 概要..... 1-1

 1.1 製品概要..... 1-2

 1.2 基本的な制御の流れ..... 1-3

 1.3 Native モードでの使用について 1-13

 1.4 数値プログラムデータの設定について 1-15

第 2 章 SCPI デバイスメッセージ 2-1

 2.1 Config 機能デバイスメッセージ..... 2-2

 2.2 アプリケーション共通デバイスメッセージ 2-4

 2.3 測定共通デバイスメッセージ..... 2-11

 2.4 TX 測定 2-23

 2.5 RX 測定..... 2-227

 2.6 外部機器制御用端子 2-390

第 3 章 SCPI ステータスレジスタ 3-1

 3.1 測定状態の読み出し 3-2

 3.2 STATus:QUEStionable レジスタ..... 3-3

 3.3 STATus:OPERation レジスタ..... 3-13

この章では, MX269018A アナログ測定ソフトウェア (以下, 本アプリケーション) のリモート制御の概要について説明します。

1.1	製品概要.....	1-2
1.1.1	インタフェース.....	1-2
1.1.2	制御対象のアプリケーションについて	1-2
1.2	基本的な制御の流れ.....	1-3
1.2.1	初期設定	1-4
1.2.2	測定モードの選択	1-6
1.2.3	TX 測定の設定	1-7
1.2.4	TX 測定の実行	1-9
1.2.5	RX 測定の設定	1-10
1.2.6	RX 測定の実行.....	1-12
1.3	Native モードでの使用について	1-13
1.4	数値プログラムデータの設定について	1-15

1.1 製品概要

本アプリケーションは、MS2830A, MS2840A シグナルアナライザ（以下、本器）を通じて、外部コントローラ（PC）からリモート制御コマンドによる制御を行えます。本アプリケーションのリモート制御コマンドは、SCPI 形式と独自形式によって定義されています。

1.1.1 インタフェース

本器では、リモート制御用のインタフェースとして、GPIB, Ethernet, および USB に対応しています。使用できるインタフェースはこのうちの 1 つです。

インタフェースは、本器が **Local** 状態のときに外部コントローラ（PC）から通信開始のコマンドを受信したものを自動的に決定します。インタフェースが決定されると、本器は **Remote** 状態になります。正面パネルの  が消灯しているときは **Local** 状態を、点灯しているときは **Remote** 状態を示します。

インタフェースの設定方法など、リモート制御の基本的な説明については、『MS2690A/MS2691A/MS2692A および MS2830A/MS2840A シグナルアナライザ取扱説明書（本体 リモート制御編）』を参照してください。

1.1.2 制御対象のアプリケーションについて

本器で利用できるリモート制御コマンドには、本器自体またはすべてのアプリケーションに対して適用されるコマンド（以下、共通コマンド）と、アプリケーション固有のコマンドの 2 種類があります。共通コマンドは、現在選択されているアプリケーションの種類によらず、実行できます。一方、アプリケーション固有のコマンドは、制御対象のアプリケーションに対してのみ有効で、制御対象でないアプリケーションが選択されている場合は、エラーになるか、制御対象のアプリケーションに対して実行されません。

本器では、複数のアプリケーションを同時に起動することができます。このうち、同時に実行させることができるアプリケーションは、1 つのハードウェアリソースに対して 1 つです。本アプリケーションは、RF Input, RF Output のリソースを使用して測定を行います。したがって、本アプリケーションを、シグナルアナライザ機能など、同じリソースを使用するアプリケーションと同時に実行することはできません。本アプリケーション固有の機能をリモート制御で実行するときは、本アプリケーションが起動された状態で、本アプリケーションを選択する操作が必要です。本アプリケーションでは、他のアプリケーションと異なり、MS2830A-020/120/021/121, MS2840A-020/120/021/121 3.6/6 GHz ベクトル信号発生器オプションのリソースも使用しております。本アプリケーションとオプション 020/120/021/121 は、同時に実行できませんのでご注意ください。

1.2 基本的な制御の流れ

この節では、本アプリケーションを使用した測定の基本的なリモート制御コマンドプログラミングの方法について説明します。

図 1.2-1 は、基本的な制御の流れを示しています。

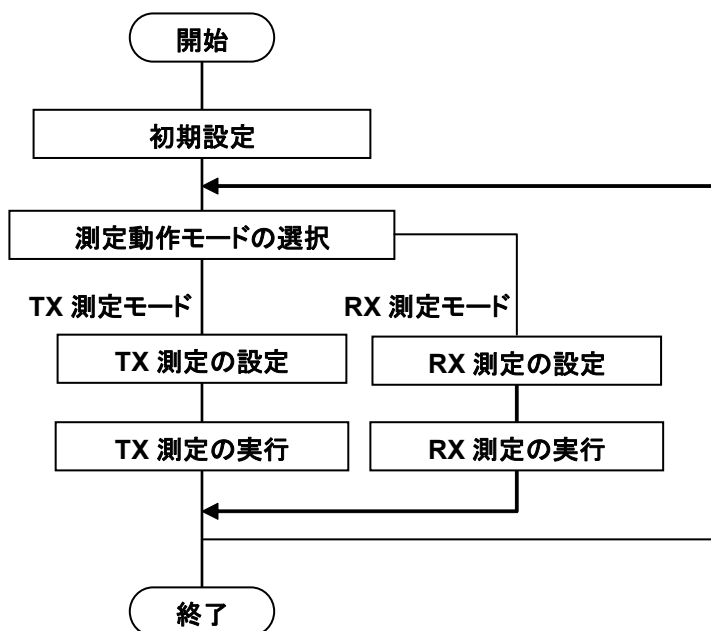


図 1.2-1 基本的な制御の流れ

(1) 初期設定

通信インタフェースの初期化、通信モードの設定、アプリケーションの起動と選択およびパラメータの初期化などを行います。

1.2.1 初期設定

(2) 測定モードの選択

測定モードを TX 測定モードまたは RX 測定モードに設定します。

1.2.2 測定モードの選択

(3) TX 測定の設定

変調方式、測定周波数、入力レベルなど、TX 測定を実行するために必要なパラメータを設定します。

1.2.3 TX 測定の設定

(4) TX 測定の実行

TX 測定を実行します。

1.2.4 TX 測定の実行

(5) RX 測定の設定

出力周波数、出力レベル、AF 信号設定など、RX 測定用に出力する信号のパラメータを設定します。

1.2.5 RX 測定の設定

- (6) RX 測定の実行
RX 測定を実行します。

 1.2.6 RX 測定の実行

1.2.1 初期設定

測定器とそのアプリケーションを使用するための準備を行います。初期設定には、次の処理が含まれます。

- (1) 通信インタフェースの初期化
コマンドの送受信を開始するため、使用しているリモート制御インタフェースの初期化を行います。詳細は、お使いのインタフェースの取扱説明書を参照してください。
- (2) 言語モードとレスポンス形式の設定
通信に使用する言語モードとレスポンス形式を設定します。詳細は、『MS2690A/MS2691A/MS2692A および MS2830A/MS2840A シグナルアナライザ取扱説明書（本体 リモート制御編）』を参照してください。
- (3) アプリケーションの起動
使用するアプリケーションを起動します。
- (4) アプリケーションの選択
使用するアプリケーションを操作の対象として選択します。
- (5) すべてのパラメータと状態の初期化
すべてのパラメータと状態を初期設定に戻します。



図 1.2.1-1 初期設定の流れとコマンド例

1.2.2 測定モードの選択

測定モードを **TX** 測定モードまたは **RX** 測定モードに設定します。送信試験を行う場合は、**TX** 測定モードに切り替えます。受信試験を行う場合には **RX** 測定モードに切り替えます。

(1) 測定モードの設定

測定モードを設定します。

TX 測定モードでは、**TX** 測定の設定、**TX** 測定の実行、測定結果の表示を行います。

RX 測定モードでは、**RX** 測定用の信号の設定を行います。

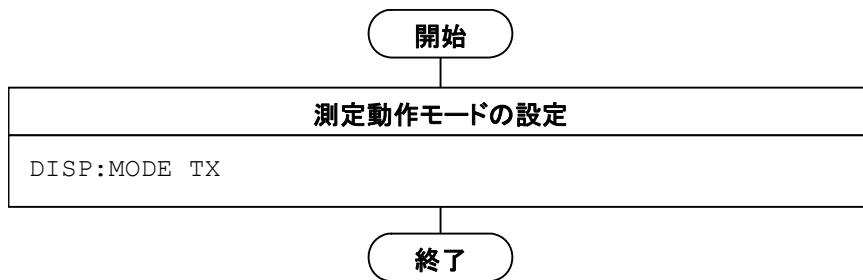


図 1.2.2-1 測定モードの選択の流れとコマンド例

1.2.3 TX測定の設定

TX 測定のための信号の設定を行います。
パラメータの設定順序に制限はありません。

- (1) RF パラメータ
 - ・測定周波数
 - ・Input Level
 - ・Input Level オフセット
- (2) AF パラメータ
 - ・変調方式
 - ・変調ひずみ率
 - ・High Pass Filter
 - ・Low Pass Filter
 - ・De-Emphasis Filter
 - ・Band Pass Filter

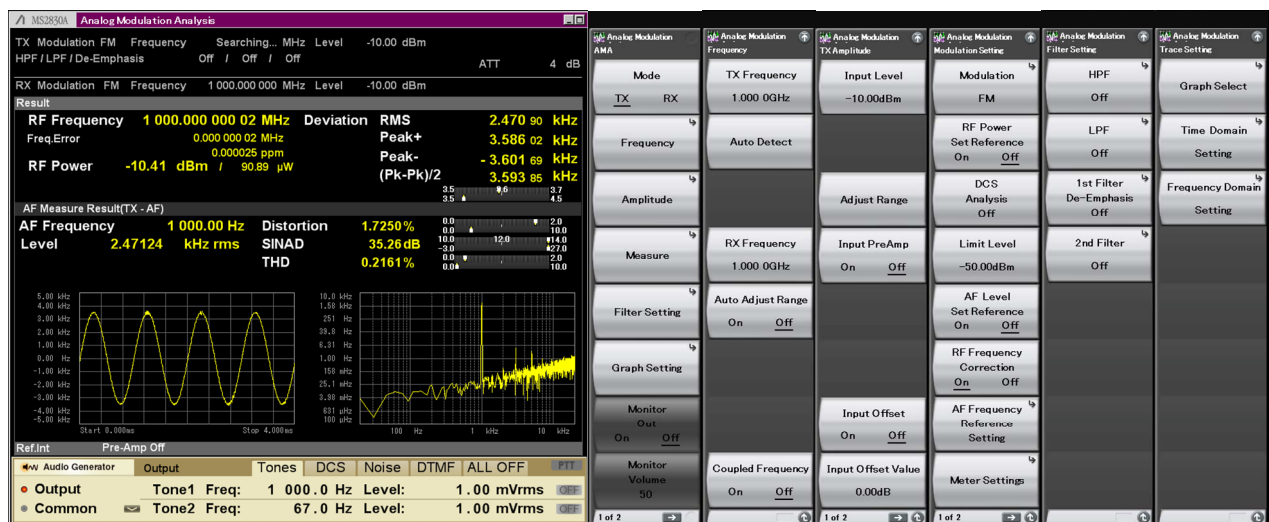


図 1.2.3-1 TX 測定モードのファンクションメニュー

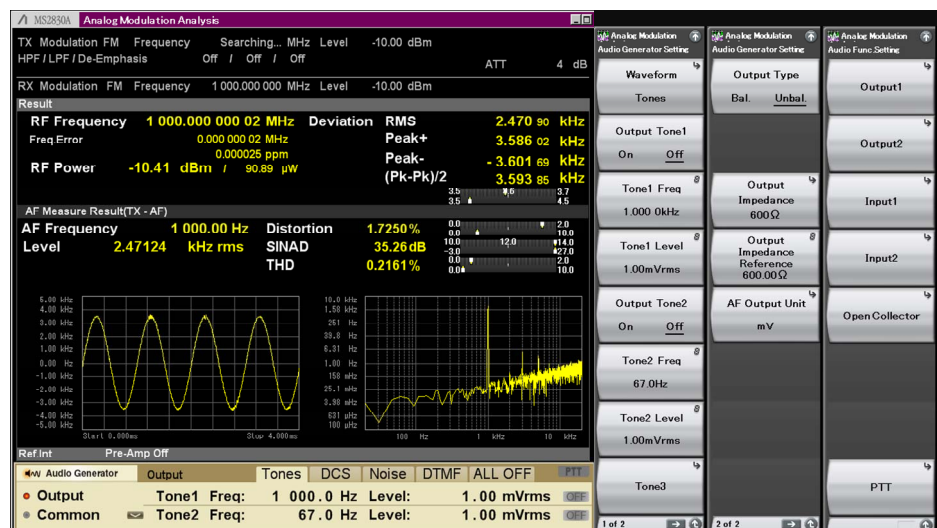


図 1.2.3-2 オーディオジェネレータ機能のファンクションメニュー

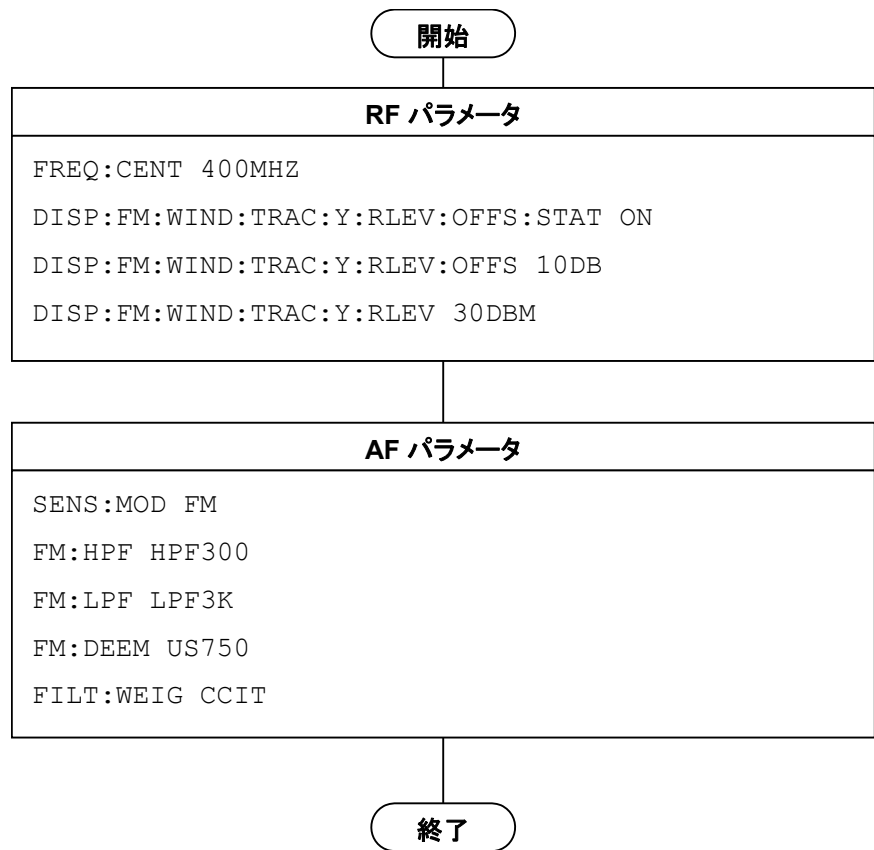


図 1.2.3-3 TX 測定の設定の流れとコマンド例

1.2.4 TX測定の実行

TX 測定の設定に従った測定を実行します。

- (1) 無線機の送信設定
無線機の信号出力を開始します。
- (2) 測定の実行
測定の実行コマンドを発行します。
- (3) 測定結果の読み出し
測定エラーステータスと測定結果を読み出します。

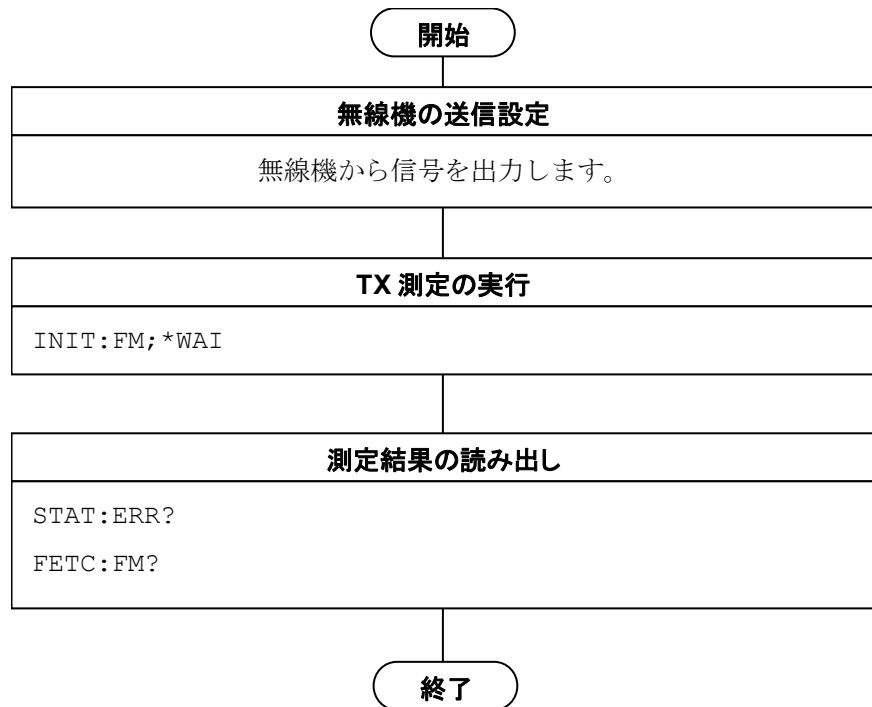


図 1.2.4-1 測定の実行 (TX 測定モード) の流れとコマンド例

1.2.5 RX測定の設定

RX 測定のための信号の設定を行います。

- (1) RF パラメータ
 - ・出力周波数
 - ・出力レベル
 - ・出力レベルオフセット
 - ・変調 ON
 - ・出力 ON
- (2) AF パラメータ
 - ・変調方式
 - ・AF1/AF2/AF3 出力の On/Off/User 波形
 - ・AF1/AF2/AF3 Tone 周波数
 - ・AF1/AF2/AF3 変調度
 - ・DCS の出力の On/Off
 - ・DCS の Code
 - ・DCS の変調度
 - ・ユーザ波形ファイル選択



図 1.2.5-1 RX 測定モードのファンクションメニュー



SG アプリケーション(MS2830A-029/129/088/188) と MS2830A-018/118 が搭載されている場合の RX モード画面

SG アプリケーションが搭載されていない場合の RX モード画面

図 1.2.5-2 オーディオアナライザ機能のファンクションメニュー



図 1.2.5-3 RX 測定の設定の流れとコマンド例

1.2.6 RX測定の実行

RX 測定に必要な信号設定は、「1.2.5 RX 測定の設定」で完了しています。
RX 測定では、RF レベルの設定を行いながら感度点を探します。

(1) 受信感度測定結果

MS2830A-018/118 未搭載の場合、または MS2840A の場合：

無線機の AF 出力を外部の Audio Analyzer など で SINAD 測定を行います。

MS2830A-018/118 が搭載されている場合：

MS2830A で SINAD, AF 周波数, AF レベルやひずみ率測定などを行います。

(2) 出力レベルの設定変更

受信感度試験の測定結果より、出力レベルの設定を変更します。

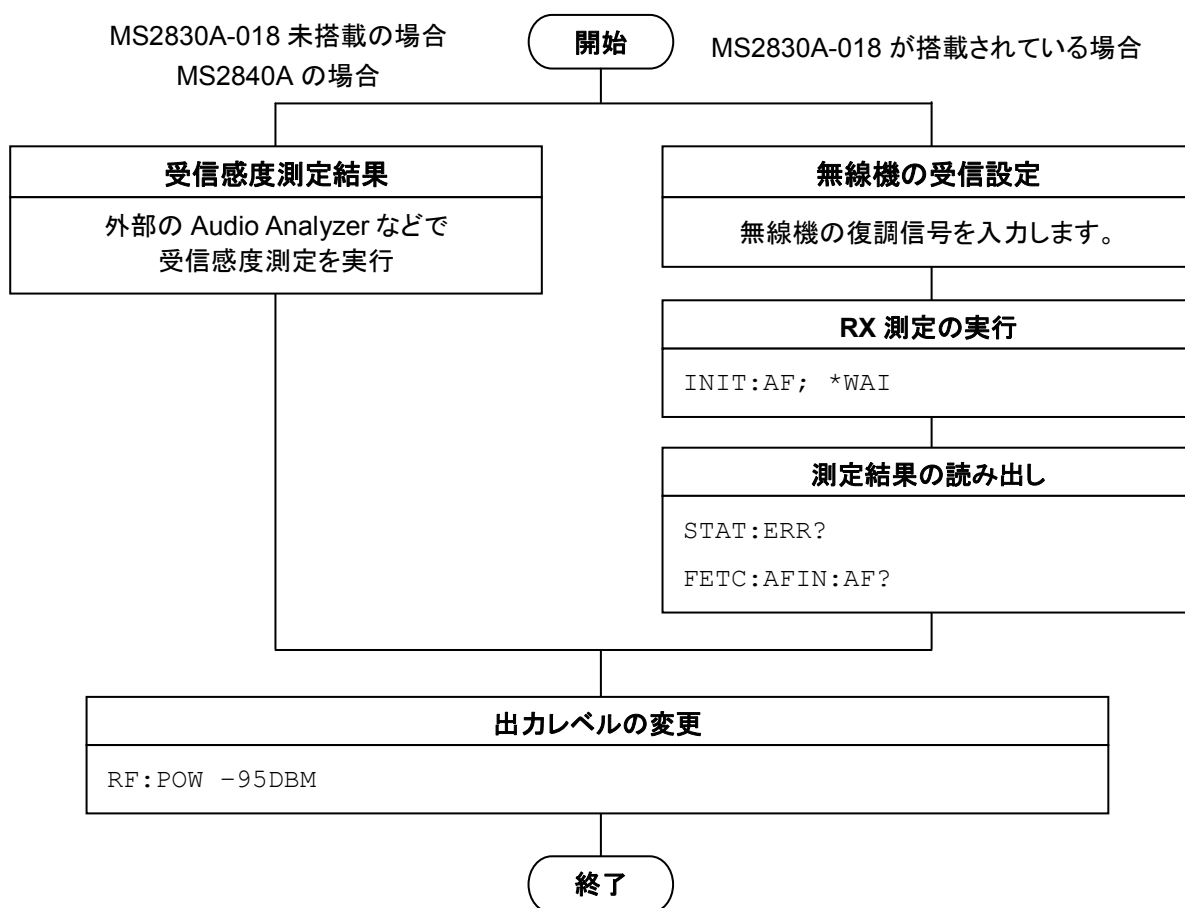


図 1.2.6-1 RX 測定の実行の流れとコマンド例

1.3 Native モードでの使用について

本器では、リモート制御コマンドの文法・書式の種類を「言語モード」と定義しています。本器の言語モードには、SCPI モードと Native モードがあります。

(1) SCPI モード

SCPI (ver1999.0) で定義された文法・書式に準拠したコマンドを処理するモードです。プログラミング時にロングフォーム・ショートフォーム形式の文字列や角括弧 ([]) 定義文字列のスキップなどが利用できます。

Configuration 画面において、コマンド SYST:LANG SCPI を送信すると、SCPI モードになります。

(2) Native モード

本器独自の定義形式によるコマンドを処理するモードです。特に明記がない限り、コマンドヘッダー部分は固定文字列です。アプリケーションのコマンドが SCPI モードだけで定義されている場合、読み替えルールに従って変換した文字列が Native モードにおけるコマンドになります。

注:

Native モードでは、STATus:QUEStionable レジスタ、および STATus:OPERation を使用することはできません。コマンドを読み替えルールに従って Native モードに変換した場合でも同様です。

Configuration 画面において、コマンド SYST:LANG NAT を送信すると、Native モードになります。

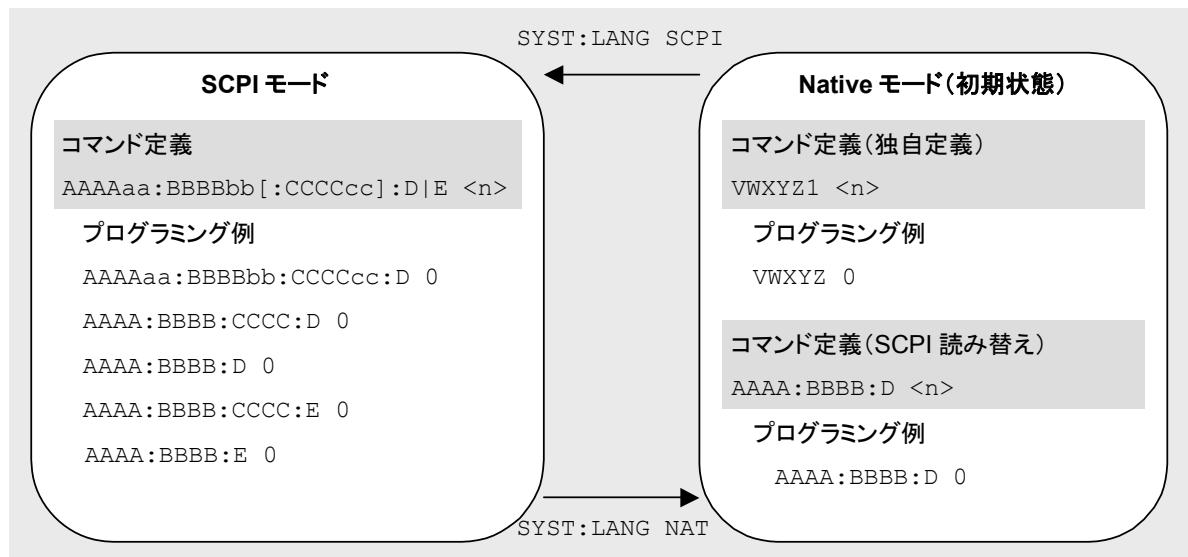


図 1.3-1 SCPI モードと Native モード

本アプリケーションは、SCPI モードのコマンドでのみ定義されています。本アプリケーションの制御を、Native モードで行う場合は、本書で定義されたコマンドを下記の①～⑤のルールに従って、Native モードに読み替えて使用してください。

読み替えルール

- ① SCPI コマンドのプログラムヘッダー中の数値パラメータを引数の先頭に移動します。ただし 1 種類の値しか取らないものは省略します。
- ② 複数のノードを選択できる場合は先頭のものを使用します。
- ③ 省略できる階層があれば省略します。
- ④ ロングフォーム表記をすべてショートフォーム表記にします。
- ⑤ 先頭の“:”は省略します。

例 1

:CALCulate:MARKer[1]|2[:SET]:CENTer

を Native モード用コマンドに読み替える

- ① プログラムヘッダー中の数値パラメータを引数の先頭に移動します。

:CALCulate:MARKer[1]|2[:SET]:CENTer

↓

:CALCulate:MARKer[:SET]:CENTer <integer>

(<integer>は 1 または 2 の数値を取る引数を表しています)

- ② 省略できる階層があれば省略します。

:CALCulate:MARKer[:SET]:CENTer <integer>

↓

:CALCulate:MARKer:CENTer <integer>

- ③ ロングフォーム表記をすべてショートフォーム表記にします。

:CALCulate:MARKer:CENTer <integer>

↓

:CALC:MARK:CENT <integer>

- ④ 先頭の“:”は省略します。

:CALC:MARK:CENT <integer>

↓

CALC:MARK:CENT <integer>

1.4 数値プログラムデータの設定について

SCPI モードでは、数値プログラムデータ（数値型パラメータ）の設定に対して、次のキャラクタプログラムを使用することができます。

(1) DEFault

数値プログラムデータに対して DEFault を指定すると、対象のパラメータは初期値に設定されます。

(2) MINimum

数値プログラムデータに対して MINimum を指定すると、対象のパラメータは最小値に設定されます。

(3) MAXimum

数値プログラムデータに対して MAXimum を指定すると、対象のパラメータは最大値に設定されます。

本アプリケーションにおいて、DEFault, MINimum, MAXimum が使用できる数値プログラムデータは、次の表記で示されたパラメータです。

<numeric_value>

<integer>

第2章 SCPI デバイスメッセージ

この章では、本アプリケーションの機能を実行する SCPI リモート制御コマンドの詳細な仕様を、機能別に説明します。IEEE488.2 共通デバイスメッセージおよびアプリケーション共通デバイスメッセージの詳細な仕様は、
『MS2690A/MS2691A/MS2692A および MS2830A/MS2840A/MS2850A シグナルアナライザ取扱説明書（本体 リモート制御編）』を参照してください。

2.1	Config 機能デバイスメッセージ	2-2
2.2	アプリケーション共通デバイスメッセージ	2-4
2.3	測定共通デバイスメッセージ	2-11
2.4	TX 測定	2-23
2.4.1	TX 測定結果	2-23
2.4.2	TX 測定パラメータ	2-31
2.4.3	オーディオジェネレータ機能	2-197
2.5	RX 測定	2-227
2.5.1	RX 測定結果	2-227
2.5.2	オーディオアナライザ機能	2-231
2.5.3	RX 測定パラメータ	2-360
2.6	外部機器制御用端子	2-390

2.1 Config 機能デバイスメッセージ

アプリケーションの起動・選択・初期化などのアプリケーションのセットアップに関するデバイスメッセージを表 2.1-1 に示します。

表 2.1-1 アプリケーションの選択

パラメータ	デバイスメッセージ
Load Application	:SYSTem:APPLication:LOAD <apl_name>
Unload Application	:SYSTem:APPLication:UNLoad <apl_name>

:SYSTem:APPLication:LOAD <apl_name>

Load Application

機能

アプリケーションを起動します。

コマンド

:SYSTem:APPLication:LOAD <apl_name>

パラメータ

<apl_name>	対象アプリケーション名
SIGANA	シグナルアナライザ
SPECT	スペクトラムアナライザ
SG	シグナルジェネレータ
AMA	アナログ測定ソフトウェア

詳細

本機能により、インストールされているアプリケーションが起動し、Application Switch メニューに登録されます。
標準アプリケーション以外を指定するパラメータは、各アプリケーションの取扱説明書（リモート制御編）を参照してください。

使用例

アプリケーション **Signal Analyzer** を起動する。
SYST:APPL:LOAD SIGANA

:SYSTem:APPLication:UNLoad <apl_name>

Unload Application

機能

アプリケーションを終了します。

コマンド

:SYSTem:APPLication:UNLoad <apl_name>

パラメータ

<apl_name>	対象アプリケーション名
SIGANA	シグナルアナライザ
SPECT	スペクトラムアナライザ
SG	シグナルジェネレータ
AMA	アナログ測定ソフトウェア

詳細

本機能により、起動中のアプリケーションが終了し、Application Switch メニューから削除されます。
標準アプリケーション以外を指定するパラメータは、各アプリケーションの取扱説明書（リモート制御編）を参照してください。

使用例

アプリケーション **Signal Analyzer** を終了する。
SYST:APPL:UNL SIGANA

2.2 アプリケーション共通デバイスメッセージ

本アプリケーションで利用できるアプリケーション共通デバイスメッセージを表 2.2-1 に示します。

表 2.2-1 アプリケーション共通デバイスメッセージ

パラメータ	デバイスメッセージ
Application Switch	:INSTrument[:SElect] SIGANA SPECT SG CONFIG AMA
	:INSTrument[:SElect]?
Application Status	:INSTrument:SYSTem SIGANA SPECT SG CONFig AMA, [ACTive] INACTive MINimum
	:INSTrument:SYSTem?
Select Measurement Mode	:DISPlay:MODE TX RX
	:DISPlay:MODE?
RF Frequency Couple State	:DISPlay:RF:COUPled:FREQuency ON OFF 1 0
	:DISPlay:RF:COUPled:FREQuency?

:INSTrument[:SElect] SIGANA|SPECT|SG|CONFIG|AMA

Application Switch

機能

操作・制御対象のアプリケーションを切り替えます。

コマンド

```
:INSTrument[:SElect] <apl_name>
```

パラメータ

<apl_name>	対象アプリケーション名
SIGANA	シグナルアナライザ
SPECT	スペクトラムアナライザ
SG	シグナルジェネレータ
CONFIG	Config
AMA	アナログ測定ソフトウェア

詳細

本機能は、操作・制御対象のアプリケーションを切り替えるときに使用します。
ステータスが CURRENT になっているアプリケーションが操作対象です。

使用例

操作対象をシグナルアナライザに切り替える。

```
INST SIGANA
```

:INSTrument[:SElect]?

Application Switch Query

機能

操作・制御対象のアプリケーションを読み出します。

クエリ

:INSTrument[:SElect]?

レスポンス

<apl_name>

パラメータ

<apl_name>	対象アプリケーション名
SIGANA	シグナルアナライザ
SPECT	スペクトラムアナライザ
SG	シグナルジェネレータ
CONFIG	Config
AMA	アナログ測定ソフトウェア

詳細

本機能は、操作・制御対象のアプリケーションを切り替えるときに使用します。
ステータスが CURRENT になっているアプリケーションが操作対象です。

使用例

操作・制御対象のアプリケーションを読み出す。
INST?
> AMA

:INSTrument:SYSTem
SIGANA|SPECT|SG|CONFIg|AMA,[ACTive]|INACTive|MINimum
Application Status

機能
アプリケーションの状態を設定します。

コマンド
:INSTrument:SYSTem <apl_name>,<window>

パラメータ	<apl_name>	対象アプリケーション名
	SIGANA	シグナルアナライザ
	SPECT	スペクトラムアナライザ
	SG	シグナルジェネレータ
	CONFIg	Config
	AMA	アナログ測定ソフトウェア
	<window>	アプリケーションのウィンドウ状態
	ACTive	操作可能な状態（最前面に表示される）
	INACTive	アクティブではない状態
	MINimum	最小化された状態
	省略時	ACT と同じ

詳細
本機能は、操作・制御対象のアプリケーションを切り替えるときに使用します。

使用例
Spectrum Analyzer のウィンドウ状態を Active に切り替える。
INST:SYST SPECT,ACT

:INSTrument:SYSTem?

Application Status Query

機能

アプリケーションの状態を読み出します。

クエリ

:INSTrument:SYSTem? <apl_name>

レスポンス

<status>,<window>

パラメータ

<apl_name>	対象アプリケーション名
SIGANA	シグナルアナライザ
SPECT	スペクトラムアナライザ
SG	シグナルジェネレータ
CONFIG	Config
AMA	アナログ測定ソフトウェア
<status>	アプリケーションの状態
CURR	実行され、操作対象となっている状態
RUN	実行されているが、操作対象でない状態
IDLE	起動しているが、実行されていない状態
UNL	起動されていない状態
<window>	アプリケーションのウィンドウ状態
ACT	操作可能な状態（最前面に表示される）
INAC	アクティブではない状態
MIN	最小化された状態
NON	非表示

詳細

本機能は、操作・制御対象のアプリケーションを切り替えるときに使用します。

使用例

Spectrum Analyzer の状態を読み出す。

```
INST:SYST? SPECT
```

```
> CURR,ACT
```


:DISPlay:MODE TX|RX

Select Measurement Mode

機能測定モードを **TX** 測定モードまたは **RX** 測定モードに切り替えます。**コマンド****:DISPlay:MODE <mode>****パラメータ**

<mode>	測定モード
TX	TX 測定モード
RX	RX 測定モード
初期値	TX

詳細

送信測定を行う場合には測定モードを **TX** に設定します。
 受信測定を行う場合には測定モードを **RX** に設定します。

使用例

測定モードを **TX** 測定モードに設定する。
DISP:MODE TX

:DISPlay:MODE?

Select Measurement Mode Query

機能

測定モードを読み出します。

クエリ**:DISPlay:MODE?****レスポンス**

<mode>

パラメータ

<mode>	測定モード
TX	TX 測定モード
RX	RX 測定モード

使用例

測定モードを読み出す。
DISP:MODE?
 > TX

:DISPlay:RF:COUPled:FREQuency ON|OFF|1|0

RF Frequency Couple State

機能

TXとRXの周波数設定を同期させます。

コマンド

```
:DISPlay:RF:COUPled:FREQuency <switch>
```

パラメータ

<switch>	TXとRXの周波数同期の On/Off
OFF 0	同期を Off にする
ON 1	同期を On にする
初期値	OFF

詳細

本設定が ON の場合, TX あるいは RX の周波数を設定すると TX と RX 両方の周波数が同一の周波数設定値に変更されます。
設定を OFF から ON に変更した時には, TX の周波数設定値が RX 周波数として設定されている設定値に変更されます。

使用例

周波数設定の同期を ON に設定する。
DISP:RF:COUP:FREQ ON

:DISPlay:RF:COUPled:FREQuency?

RF Frequency Couple State Query

機能

TXとRXの周波数設定の同期設定を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:RF:COUPled:FREQuency?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	TXとRXの周波数同期の On/Off
0	同期設定が Off
1	同期設定が On

使用例

周波数設定の同期設定を読み出す。
DISP:RF:COUP:FREQ?
> 1

2.3 測定共通デバイスメッセージ

本アプリケーションで利用できる TX/RX 測定共通デバイスメッセージを表 2.3-1 に示します。

表 2.3-1 測定共通デバイスメッセージ

パラメータ	デバイスメッセージ
Measurement Mode	<code>:INITiate:CONTinuous OFF ON 0 1</code>
	<code>:INITiate:CONTinuous?</code>
Continuous Measurement	<code>:INITiate:MODE:CONTinuous</code>
Single Measurement	<code>:INITiate:MODE:SINGLE</code>
Initiate	<code>:INITiate[:IMMediate]</code>
Wave Pattern Reproduction Mode	<code>[[:SOURce]:OUTPut:WAVEform:PLAYmode <mode></code>
	<code>[[:SOURce]:OUTPut:WAVEform:PLAYmode?</code>
Wave Pattern Reproduction Restart	<code>[[:SOURce]:OUTPut:WAVEform:REStart</code>
AF Frequency Reference State	<code>[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence:STATe ON OFF 1 0</code>
	<code>[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence:STATe?</code>
AF Reference Frequency	<code>[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence <freq></code>
	<code>[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence?</code>
Unit of AF Frequency Reference	<code>[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence:UNIT PPM PERCent DELTA</code>
	<code>[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence:UNIT?</code>
AF Level Set Reference	<code>[[:SENSe]:AF:LEVel:REFeRence:STATe <switch></code>
	<code>[[:SENSe]:AF:LEVel:REFeRence:STATe?</code>
AF Level Reference	<code>[[:SENSe]:AF:LEVel:REFeRence:VALue <level></code>
	<code>[[:SENSe]:AF:LEVel:REFeRence:VALue?</code>
AF Level Mode	<code>[[:SENSe]:AF:LEVel:MODE TONE TOTAl</code>
	<code>[[:SENSe]:AF:LEVel:MODE?</code>

:INITiate:CONTinuous OFF|ON|0|1

Measurement Mode

機能

測定モードを設定します。

コマンド

```
:INITiate:CONTinuous <switch>
```

パラメータ

<switch>	測定モード
OFF 0	シングル測定
ON 1	連続測定
初期値	ON

詳細

On 設定時は連続測定を開始します。Off 設定時は測定がシングル状態になり、測定は開始しません。

使用例

連続測定を実行する。
INIT:CONT ON

:INITiate:CONTinuous?

Measurement Mode Query

機能

測定モードを読み出します。

コマンド

```
:INITiate:CONTinuous?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	測定モード
0	シングル測定
1	連続測定

使用例

測定モードを読み出す。
INIT:CONT?
> 1

:INITiate:MODE:CONTinuous

Continuous Measurement

機能

連続測定を開始します。

コマンド

```
:INITiate:MODE:CONTinuous
```

使用例

連続測定を実行する。
INIT:MODE:CONT

:INITiate:MODE:SINGle

Single Measurement

機能

シングル測定を開始します。

コマンド

```
:INITiate:MODE:SINGle
```

使用例

シングル測定を実行する。
INIT:MODE:SING

:INITiate[:IMMediate]

Initiate

機能

現在の測定モード測定を開始します。

コマンド

```
:INITiate[:IMMediate]
```

使用例

測定を開始する。
INIT

[[:SOURce]:OUTPut:WAVeform:PLAYmode <mode>

Wave Pattern Reproduction Mode

機能

波形再生モードを設定します。

コマンド

```
[[:SOURce]:OUTPut:WAVeform:PLAYmode <mode>
```

パラメータ

<mode>	波形再生モード
ONCE	1 度だけ再生
REPeat	繰り返し再生 (初期値)

使用例

波形再生モードを ONCE に設定する。

```
OUTP:WAV:PLAY ONCE
```

[[:SOURce]:OUTPut:WAVeform:PLAYmode?

Wave Pattern Reproduction Mode Query

機能

波形再生モードを読み出します。

クエリ

```
[[:SOURce]:OUTPut:WAVeform:PLAYmode?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	波形再生モード
ONCE	1 度だけ再生
REP	繰り返し再生

使用例

波形再生モードを読み出す。

```
OUTP:WAV:PLAY?
```

```
> ONCE
```

[:SOURce]:OUTPut:WAVeform:REStart

Wave Pattern Reproduction Restart

機能

波形再生をリスタートします。

コマンド

```
[ :SOURce]:OUTPut:WAVeform:REStart
```

使用例

波形再生をリスタートする。

```
OUTP:WAV:REST
```

[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence:STATe ON|OFF|1|0

AF Frequency Reference State

機能

AF Frequency Reference の有効・無効を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence:STATe <switch>
```

パラメータ

<switch>	AF Frequency Reference の有効・無効
OFF 0	無効 (初期値)
ON 1	有効

使用例

AF Frequency Reference を有効にする。

```
AF:FREQ:REF:STAT ON
```

[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence:STATe?

AF Frequency Reference State Query

機能

AF Frequency Reference の有効・無効を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence:STATe?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	AF Frequency Reference の有効・無効
0	無効
1	有効

使用例

RAF Frequency Reference の状態を読み出す。

```
AF:FREQ:REF:STAT?
```

```
> 1
```


[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence <freq>

AF Reference Frequency

機能

AF Reference Frequency (基準周波数) を設定します。

コマンド

[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence <freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	20 Hz～60 kHz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	HZ, KHZ, KZ
	省略した場合は HZ として扱います。
初期値	1 kHz

詳細

AF Frequency Reference が ON のとき設定できます。

使用例

AF Reference Frequency を 400 Hz に設定する。

AF:FREQ:REF 400HZ

[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence?

AF Reference Frequency Query

機能

AF Reference Frequency を読み出します。

クエリ

[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	20 Hz～60 kHz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

AF Reference Frequency を読み出す。

AF:FREQ:REF?

> 400.0

[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence:UNIT PPM|PERCent|DELTa

Unit of AF Frequency Reference

機能

AF Frequency Reference の単位を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence:UNIT <unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
PPM	ppm (初期値)
PERCent	%
DELTa	差分 (Hz)

詳細

AF Frequency Reference が ON のとき設定できます。

使用例

AF Frequency Reference の単位を%に設定する。
`AF:FREQ:REF:UNIT PERC`

[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence:UNIT?

Unit of AF Frequency Reference Query

機能

AF Frequency Reference の単位を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:AF:FREQuency:REFeRence:UNIT?
```

レスポンス

```
<unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
PPM	ppm
PERC	%
DELT	差分 (Hz)

使用例

AF Frequency Reference の単位を読み出す。
`AF:FREQ:REF:UNIT?`
`> PERC`

[:SENSe]:AF:LEVel:REFeRence:STATe <switch>

AF Level Set Reference

機能

AF Level の相対値表示の有効・無効を設定します。

コマンド

[:SENSe]:AF:LEVel:REFeRence:STATe <switch>

パラメータ

<switch>	AF Level の相対値表示 On/Off
OFF 0	AF Level の相対値表示 Off
ON 1	AF Level の相対値表示 On
初期値	OFF

詳細

On にしたの時の AF Level の測定結果を基準値として保存し、以後の測定結果は相対値で表示します。

On に設定した時点で有効な AF Level の測定結果がない場合、本コマンドはエラーとなります。

使用例

AF Level の相対値表示を On に設定する。

```
AF:LEV:REF:STAT ON
```

[:SENSe]:AF:LEVel:REFeRence:STATe?

AF Level Set Reference Query

機能

AF Level の相対値表示の設定を読み出します。

クエリ

[:SENSe]:AF:LEVel:REFeRence:STATe?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	AF Level の相対値表示 On/Off
0	AF Level の相対値表示 Off
1	AF Level の相対値表示 On

使用例

AF Level の相対値表示の設定を読み出す。

```
AF:LEV:REF:STAT?
```

```
> 0
```

[:SENSe]:AF:LEVel:REFeRence:VALue <level>

AF Level Reference Value

機能

AF Level の相対値表示の計算で使用する AF Level 基準値を設定します。

コマンド

[:SENSe]:AF:LEVel:REFeRence:VALue <level>

パラメータ

<level> AF Level 基準値

範囲と設定分解能 (Mode = Tx 時)

Mode	Modulation	下限値	上限値	単位	分解能
Tx	FM	0.01	200 000.00	Hz	0.01 Hz
	AM	0.00001	100.00000	%	0.00001%
	PM	0.00001	5000.00000	rad	0.00001 rad.

範囲と設定分解能 (Mode = Rx 時)

Mode	AF Level Unit	下限値	上限値	単位	分解能
Rx	Vrms	0.001000	100.000000	Vrms	0.000001 Vrms
	dBμ	-67.78	32.22	dBμ	0.01 dBμ
	dBv	-60.00	40.00	dBV	0.01 dBV
	dBm	-120.00	90.00	dBm	0.01 dBm
	W	0.000000001	10000	W	0.000000001 W

サフィックスコード HZ, KHZ, KZ, MHZ, MZ, GHZ, GZ,
%, RAD, VRMS, DBU, DBV, DBM,
W, MW, UW, NW
省略した場合は現在のパラメータ設定に対応した単位
に従います。

詳細

AF Level Set Reference = On のときに有効です。
現在のパラメータ設定に対応した単位以外は受け付けません。

使用例

AF Level の相対値表示の計算で使用する AF Level 基準値を 1 kHz に設定する。

AF:LEV:REF:VAL 1KHZ

[:SENSe]:AF:LEVel:REFerence:VALue?

AF Level Reference Value Query

機能

AF Level の相対値表示の計算で使用する AF Level 基準値を読み出します。

クエリ

[:SENSe]:AF:LEVel:REFerence:VALue?

レスポンス

<level>

パラメータ

<level> AF Level 基準値

分解能 (Mode = Tx 時)

Mode	Modulation	単位	分解能
Tx	FM	Hz	0.01 Hz
	AM	%	0.00001%
	PM	rad	0.00001 rad.

分解能 (Mode = Rx 時)

Mode	AF Level Unit	単位	分解能
Rx	Vrms	Vrms	0.000001 Vrms
	dBμ	dBμ	0.01 dBμ
	dBv	dBV	0.01 dBV
	dBm	dBm	0.01 dBm
	W	W	0.000000001 W

詳細

AF Level Set Reference が ON の場合のみ有効です。

OFF の場合は無効値 (-999.0) を返します。

現在のパラメータに対応した分解能で値を読み出します。ただし、W 単位は指数形式で出力されます。

使用例

AF Level の相対値表示の計算で使用する AF Level 基準値を読み出す。

AF:LEV:REF:VAL?

> 1000.00

[[:SENSe]:AF:LEVel:MODE TONE|TOTa]

AF Level Mode

機能

AF Level の測定モードを設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:AF:LEVel:MODE <switch>
```

パラメータ

<switch>	AF Level の測定モード
TONE	ピーク周波数のレベルを表示する
TOTa	全帯域のレベルを表示する
初期値	TONE

詳細

TONE に設定した場合, AF Frequency に表示されている周波数の AF Level を表示します。TOTa に設定した場合, AF Frequency は表示されません。

使用例

AF Level の測定モードを全帯域のレベル表示に設定する。

```
AF:LEV:MODE TOT
```

[[:SENSe]:AF:LEVel:MODE?

AF Level Mode Query

機能

AF Level の測定モードの設定を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:AF:LEVel:MODE?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	AF Level の測定モード
TONE	ピーク周波数のレベルを表示する
TOT	全帯域のレベルを表示する

使用例

AF Level の測定モードの設定を読み出す。

```
AF:LEV:MODE?
```

```
> TOT
```

2.4 TX 測定

TX 測定に関するデバイスメッセージは、測定モードが TX 測定モードのときに有効です。

注:

本節では TX 測定の各変調方式に対応したコマンドをまとめて記載しています。

リモート制御を行う場合は、変調方式を指定してから TX 測定のコマンド制御を行うようにしてください。

2.4.1 TX測定結果

TX 測定結果に関するデバイスメッセージを表 2.4.1-1 に示します。

表 2.4.1-1 TX 測定結果デバイスメッセージ

機能	デバイスメッセージ
Fetch	:FETCh:AM FM PM[n]?
Read	:READ:AM FM PM[n]?
Measure	:MEASure:AM FM PM[n]?

表 2.4.1-1 のパラメータ n に対するレスポンスを表 2.4.1-2 に示します。

表 2.4.1-2 TX 測定結果のレスポンス

N	デバイスメッセージ
1 または省略時	次の順にコンマ(,)区切りで返します。変調方式ごとに測定結果が異なります。 —FM 変調時— 1. RF 周波数 [Hz] 2. RF 周波数エラー [Hz] 3. 送信電力[dBm]/送信電力 [dB]*¹ 4. 送信電力[W]/送信電力 [%]*¹ 5. 送信電力(Reference) [dBm] 6. Deviation (Peak+) [Hz] 7. Deviation (Peak-) [Hz] 8. Deviation (Pk-Pk)/2 [Hz] 9. Deviation(RMS) [Hz] 10. AF Frequency [Hz] 11. AF Level (Tone) [Hz rms]/ AF Level (Tone) [dBr]*² 12. AF Level(Reference) [Hz rms] 13. Distortion [%] 14. Distortion [dB] 15. DCS Code 16. DCS Code 17. DCS Code 18. DCS Code 19. DCS Code 20. DCS Code 21. DCS Code 22. RF 周波数エラー [ppm] 23. AF 周波数エラー [Hz] 24. AF 周波数エラー [%] 25. AF 周波数エラー [ppm] 26. AF Level (Total) [Hz rms] / AF Level(Total) [dBr]*² 27. SINAD [%] 28. SINAD [dB] 29. THD [%] 30. THD [dB] 31. Deviation (Peak+) Max. Hold [Hz] *³ 32. Deviation (Peak-) Max. Hold [Hz] *³ 33. Deviation (Pk-Pk)/2 Max. Hold [Hz] *³ 34. Deviation(RMS) Max. Hold [Hz] *³

*1: RF Power Set Reference が Off のときは, 3. 送信電力 [dBm], 4. 送信電力 [W] の結果を返します。RF Power Set Reference が On のときは, 3. 送信電力 [dB], 4. 送信電力 [%] の結果を返します。

*2: AF Level Set Reference が Off のときは AF Level [Hz rms], On のときは, 相対値 (AF Level [dBr]) の結果を返します。

*3: TX Mode の Average が Off のときは無効です。

表 2.4.1-2 TX 測定結果のレスポンス (続き)

N	デバイスメッセージ
1 または省略時	—AM 変調時— - RF 周波数 [Hz] - RF 周波数エラー [Hz] - 送信電力 [dBm]/送信電力 [dB]*¹ - 送信電力 [W]/送信電力 [%]*¹ - 送信電力 (Reference) [dBm] - Modulation Depth (Peak+) [%] - Modulation Depth (Peak-) [%] - Modulation Depth (Pk-Pk)/2 [%] - Modulation Depth (RMS) [%] - AF Frequency [Hz] - AF Level (Tone) [% rms] / AF Level(Tone) [dBr]*² - Distortion [%] - Distortion [dB] - DCS Code - DCS Code - DCS Code - DCS Code - DCS Code - DCS Code - DCS Code - RF 周波数エラー [ppm] - AF 周波数エラー [Hz] - AF 周波数エラー [%] - AF 周波数エラー [ppm] - AF Level (Total)[% rms] / AF Level(Total) [dBr]*² - SINAD [%] - SINAD [dB] - THD [%] - THD [dB] - Modulation Depth (Peak+) Max. Hold [%]*³ - Modulation Depth (Peak-) Max. Hold [%]*³ - Modulation Depth (Pk-Pk)/2 Max. Hold [%]*³ - Modulation Depth (RMS) Max. Hold [%]*³

表 2.4.1-2 TX 測定結果のレスポンス (続き)

N	デバイスメッセージ
1 または省略時	—φM 変調時— 1. RF 周波数 [Hz] 2. RF 周波数エラー [Hz] 3. 送信電力 [dBm]/送信電力 [dB]*¹ 4. 送信電力 [W]/送信電力 [%]*¹ 5. 送信電力 (Reference) [dBm] 6. Radian (Peak+) [rad] 7. Radian (Peak-) [rad] 8. Radian (Pk-Pk)/2 [rad] 9. Radian (RMS) [rad] 10. AF Frequency [Hz] 11. AF Level (Tone)[rad rms] / AF Level (Tone) [dBr]*² 12. Distortion [%] 13. Distortion [dB] 14. DCS Code 15. DCS Code 16. DCS Code 17. DCS Code 18. DCS Code 19. DCS Code 20. DCS Code 21. RF 周波数エラー [ppm] 22. AF 周波数エラー [Hz] 23. AF 周波数エラー [%] 24. AF 周波数エラー [ppm] 25. AF Level (Total) [rad rms] / AF Level(Total) [dBr]*² 26. SINAD[%] 27. SINAD[dB] 28. THD[%] 29. THD[dB] 30. Radian (Peak+) Max. Hold [rad] *³ 31. Radian (Peak-) Max. Hold [rad] *³ 32. Radian (Pk-Pk)/2 Max. Hold [rad] *³ 33. Radian (RMS) Max. Hold [rad] *³
6	Time Domain のグラフデータをコンマ (,) 区切りで返します。 データ数:(128 × Time Range 設定値 [ms]) + 1 FM, Wide FM 変調時:データの単位は Hz になります。 AM 変調時:データの単位は%になります。 φM 変調時:データの単位は rad になります。

表 2.4.1-2 TX 測定結果のレスポンス (続き)

N	デバイスメッセージ
7	Frequency Domain のグラフデータをコンマ (,) 区切りで返します。 データ数: 4096/16384 FM, Wide FM 変調時: データの単位は Hz になります。 AM 変調時: データの単位は % になります。 φM 変調時: データの単位は rad になります。
9	次の順にコンマ (,) 区切りで返します。変調方式ごとに測定結果が異なります。 —FM 変調時— 1. Distortion Deflection Judge^{*4} 2. Distortion Deflection Count^{*5} 3. Distortion Deflection Minimum [%] 4. Distortion Deflection Minimum [dB] 5. Distortion Deflection Maximum [%] 6. Distortion Deflection Maximum [dB] 7. SINAD Deflection Judge^{*4} 8. SINAD Deflection Count^{*5} 9. SINAD Deflection Minimum [%] 10. SINAD Deflection Minimum [dB] 11. SINAD Deflection Maximum [%] 12. SINAD Deflection Maximum [dB] 13. THD Deflection Judge^{*4} 14. THD Deflection Count^{*5} 15. THD Deflection Minimum [%] 16. THD Deflection Minimum [dB] 17. THD Deflection Maximum [%] 18. THD Deflection Maximum [dB] 19. Deviation Deflection Judge^{*4} 20. Deviation Deflection Count^{*5} 21. Deviation Deflection Minimum [%] 22. Deviation Deflection Minimum [Hz] 23. Deviation Deflection Maximum [%] 24. Deviation Deflection Maximum [Hz]

*4: OK の場合は 1, NG の場合は -1 を返します。Deflection Count で設定した回数に達していないときは 0 を返します。Deflection View = Off の場合は無効です。

*5: Deflection の計算に使用した測定の回数を返します。Deflection View = Off の場合は無効です。

表 2.4.1-2 TX 測定結果のレスポンス (続き)

N	デバイスメッセージ
9	—AM またはϕM 変調時— 1. Distortion Deflection Judge^{*4} 2. Distortion Deflection Count^{*5} 3. Distortion Deflection Minimum [%] 4. Distortion Deflection Minimum [dB] 5. Distortion Deflection Maximum [%] 6. Distortion Deflection Maximum [dB] 7. SINAD Deflection Judge^{*4} 8. SINAD Deflection Count^{*5} 9. SINAD Deflection Minimum [%] 10. SINAD Deflection Minimum [dB] 11. SINAD Deflection Maximum [%] 12. SINAD Deflection Maximum [dB] 13. THD Deflection Judge^{*4} 14. THD Deflection Count^{*5} 15. THD Deflection Minimum [%] 16. THD Deflection Minimum [dB] 17. THD Deflection Maximum [%] 18. THD Deflection Maximum [dB]

:FETCh:AM|FM|PM[n]?

Measurement Result Query

機能

TX 測定の測定結果を読み出します。

クエリ

:FETCh:AM|FM|PM[n]

レスポンス

表 2.4.1-2 を参照してください。

使用例

FM 変調時の TX 測定の測定結果を読み出す。

FETC:FM?

:READ:AM|FM|PM[n]?

Measurement Result Query

機能

現在の設定値でシングル測定を実行したあと、TX 測定の測定結果を読み出します。

クエリ

:READ:AM|FM|PM[n]?

レスポンス

表 2.4.1-2 を参照してください。

使用例

測定を実行し、FM 変調時の TX 測定の測定結果を読み出す。

READ:FM?

:MEASure:AM|FM|PM[n]?

Measurement Result Query

機能

現在の設定値でシングル測定を実行したあと、TX 測定の測定結果を読み出します。

クエリ

:MEASure:AM|FM|PM[n]?

レスポンス

表 2.4.1-2 を参照してください。

使用例

測定を実行し、FM 変調時の TX 測定の測定結果を読み出す。
MEAS:FM?

2.4.2 TX測定パラメータ

TX 測定（無線信号測定）のパラメータ設定のデバイスメッセージを表 2.4.2-1 に示します。

表 2.4.2-1 TX 測定のパラメータ設定に関するデバイスメッセージ

パラメータ	デバイスメッセージ
Center Frequency of TX Measurement	<code>[:SENSe]:FREQuency:CENTer <freq></code>
	<code>[:SENSe]:FREQuency:CENTer?</code>
Auto detect Center Frequency of TX Measurement	<code>[:SENSe]:FREQuency:AUTOdetect</code>
Auto Adjust Range after find RF signal by Auto Detect	<code>[:SENSe]:FREQuency:AUTOdetect:ADJustrange <switch></code>
	<code>[:SENSe]:FREQuency:AUTOdetect:ADJustrange?</code>
Preamp	<code>[:SENSe]:POWer[:RF]:GAIN[:STATe] <switch></code>
	<code>[:SENSe]:POWer[:RF]:GAIN[:STATe]?</code>
Input Level	<code>:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel <real></code>
	<code>:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel?</code>
Input Level(W) Query	<code>:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:WATT?</code>
Input Level Offset State	<code>:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:OFFSet:STATe ON OFF 1 0</code>
	<code>:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:OFFSet:STATe?</code>
Input Level Offset	<code>:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:OFFSet <real></code>
	<code>:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:OFFSet?</code>
Output Level*	<code>[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate][:AMPLitude] <level></code>
	<code>[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate][:AMPLitude]?</code>
Output Level (W) Query*	<code>[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate][:AMPLitude]:WATT?</code>
Output Level Offset State*	<code>[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet:STATe ON OFF 1 0</code>
	<code>[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet:STATe?</code>
Output Level Offset*	<code>[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet <level></code>
	<code>[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet?</code>
Output Level Unit*	<code>[:SOURce]:UNIT:POWer <unit></code>
	<code>[:SOURce]:UNIT:POWer?</code>

*：表 2.5.3-1 の同じパラメータと同じ機能となります。表 2.5.3-1 を参照してください。

表 2.4.2-1 TX 測定のパラメータ設定に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
AF Measure Time Domain Graph State	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:TIME ON OFF 1 0
	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:TIME?
AF Measure Frequency Domain Graph State	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:FREQuency ON OFF 1 0
	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:FREQuency?
Y Axis Scale Mode of AF Measure Graph	:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:MODE AUTO FIXed
	:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:MODE?
Minimum Y Axis Scale Range of AF Measure Graph	:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:AUTO:MINimumrange 500 5K 10K 50K 100K 500K
	:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:FIXed:RANGE?
Y Axis Scale Range of AF Measure Graph	:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:FIXed:RANGE 500 1K 2_5K 5K 10K 25K 50K 100K 250K 500K 1M
	:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:FIXed:RANGE?
Y Axis Top Level of Frequency Domain Graph	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:TOP:LOG <level>
	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:TOP:LOG ?
Y Axis Bottom Level of Frequency Domain Graph	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:BOTTom: LOG <level>
	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:BOTTom: LOG?
Window Function of Frequency Domain Graph	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:WINDowfunction RECTangular HANN BLACKmanharris HAMMING FLATtop
	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:WINDowfunction?
X Axis Scale of Frequency Domain Graph	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:UNIT LINear LOG
	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:UNIT?
X Axis (Linear) Min. Frequency of Frequency Domain Graph	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARTfreq:LINear <freq>
	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARTfreq:LINear?
X Axis (Log) Min. Frequency of Frequency Domain Graph	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARTfreq:LOG <range>
	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARTfreq:LOG?

表 2.4.2-1 TX 測定のパラメータ設定に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
X Axis (Linear) Max. Frequency of Frequency Domain Graph	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfre q:LINear <freq>
	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfre q:LINear?
X Axis (Log) Max. Frequency of Frequency Domain Graph	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfre q:LOG <range>
	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfre q:LOG?
Display Mode of TX Measurement	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:MODE ALL CARRier MODulation
	:DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:MODE?
RF Frequency (Hz) Resolution for Carrier Display Mode	:DISPlay:AM FM PM:RF:FREQuency:VIEW[1]:RESolution <resolution>
	:DISPlay:AM FM PM:RF:FREQuency:VIEW[1]:RESolution?
RF Power Unit for Carrier Display Mode	:DISPlay:AM FM PM:RF:POWer:VIEW[1]:UNIT WATT MWATt DBM
	:DISPlay:AM FM PM:RF:POWer:VIEW[1]:UNIT?
RF Power (W/mW) Resolution for Carrier Display Mode	:DISPlay:AM FM PM:RF:POWer:VIEW[1]:RESolution <resolution>
	:DISPlay:AM FM PM:RF:POWer:VIEW[1]:RESolution?
Deviation Type for Modulation Display Mode	:DISPlay:AM FM PM:DVPP:VIEW[1]:TYPE RMS PLUS MINus P2P
	:DISPlay:AM FM PM:DVPP:VIEW[1]:TYPE?
Deviation(Hz) Resolution for Modulation Display Mode	:DISPlay:AM FM PM:DVPP:VIEW[1]:RESolution <resolution>
	:DISPlay:AM FM PM:DVPP:VIEW[1]:RESolution?
AF Level(Hz rms) Resolution for Modulation Display Mode	:DISPlay:AM FM PM:AF:LEVel:VIEW[1]:RESolution <resolution>
	:DISPlay:AM FM PM:AF:LEVel:VIEW[1]:RESolution?
AF Level (dBr) Resolution for Modulation Display Mode	:DISPlay:AM FM PM:AF:LEVel:DBR:VIEW[1]:RESolution <resolution>
	:DISPlay:AM FM PM:AF:LEVel:DBR:VIEW[1]:RESolution?
Distortion Type for Modulation Display Mode	:DISPlay:AM FM PM:DISTortion:VIEW[1]:TYPE DISTortion SINad THD
	:DISPlay:AM FM PM:DISTortion:VIEW[1]:TYPE?
Distortion (%) Resolution for Modulation Display Mode	:DISPlay:AM FM PM:DISTortion:VIEW[1]:RESolution <resolution>
	:DISPlay:AM FM PM:DISTortion:VIEW[1]:RESolution?

表 2.4.2-1 TX 測定のパラメータ設定に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
Modulation scheme of TX Measurement	<code>:SENSe:MODulation FM WFM AM PM</code>
	<code>:SENSe:MODulation?</code>
High Pass Filter	<code>[:SENSe] :AM FM PM:HPFilter OFF HPF50 HPF300 HPF400 HPF30K HPFL20 HPFL1</code>
	<code>[:SENSe] :AM FM PM:HPFilter?</code>
Low Pass Filter	<code>[:SENSe] :AM FM PM:LPFilter OFF LPF300 LPF3K LPF15K LPF20K</code>
	<code>[:SENSe] :AM FM PM:LPFilter?</code>
De-Emphasis Filter	<code>[:SENSe] :FM:DEEMphasis OFF US750 US500 US75 US50 US25</code>
	<code>[:SENSe] :FM:DEEMphasis?</code>
Band Pass Filter	<code>[:SENSe] :FILTer:WEIGhting OFF CCITt CMESsage 468 ARM AWEight</code>
	<code>[:SENSe] :FILTer:WEIGhting?</code>
Average Mode	<code>[:SENSe] :AM FM PM:AVERage[:STATE] ON OFF 1 0</code>
	<code>[:SENSe] :AM FM PM:AVERage[:STATE]?</code>
Average Count	<code>[:SENSe] :AM FM PM:AVERage:COUNT <integer></code>
	<code>[:SENSe] :AM FM PM:AVERage:COUNT?</code>
Maker Mode	<code>:CALCulate:AM FM PM:MARKer:MODE DELTa NORMal OFF</code>
	<code>:CALCulate:AM FM PM:MARKer:MODE?</code>
Maker X Axis Position	<code>:CALCulate:AM FM PM:MARKer[1] 2:X <time></code>
	<code>:CALCulate:AM FM PM:MARKer[1] 2:X?</code>
Maker Mode of Frequency Domain Graph	<code>:CALCulate:AM FM PM:MARKer:FREQuency:MODE DELTa NORMal OFF</code>
	<code>:CALCulate:AM FM PM:MARKer:FREQuency:MODE?</code>
Maker X Axis Position of Frequency Domain Graph	<code>:CALCulate:AM FM PM:MARKer[1] 2:FREQuency:X <freq></code>
	<code>:CALCulate:AM FM PM:MARKer[1] 2:FREQuency:X?</code>
Peak Search of Frequency Domain Graph	<code>:CALCulate:AM FM PM:MARKer[1] 2:FREQuency:X:PEAK</code>
Next Peak Search of Frequency Domain Graph	<code>:CALCulate:AM FM PM:MARKer[1] 2:FREQuency:X:NEXTpeak</code>
Graph Indication Range	<code>:CALCulate:AM FM PM:RANGe[1]:X <time></code>
	<code>:CALCulate:AM FM PM:RANGe[1]:X?</code>

表 2.4.2-1 TX 測定のパラメータ設定に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
RF Power Set Reference	<code>[:SENSe]:RF:POWer:REFeRence:STATe <switch></code>
	<code>[:SENSe]:RF:POWer:REFeRence:STATe?</code>
Set Reference Query	<code>[:SENSe]:RF:POWer:REFeRence?</code>
DCS Code Analysis	<code>[:SENSe]:FM:DCSQuelch:CODE:ANALysis INVerted ON NORMAl OFF 2 1 0</code>
	<code>[:SENSe]:FM:DCSQuelch:CODE:ANALysis?</code>
Input Level Adjustment	<code>[:SENSe]:POWer[:RF]:RANGe:AUTO ONCE</code>
Set Reference Query	<code>[:SENSe]:AF:LEVel:REFeRence?</code>
RF Frequency Correction	<code>[:SENSe]:FREQuency:CORRection <switch></code>
	<code>[:SENSe]:FREQuency:CORRection?</code>
Measurement RF Power Limit	<code>[:SENSe]:RF:POWer:REFeRence:LIMit <real></code>
	<code>[:SENSe]:RF:POWer:REFeRence:LIMit?</code>
Distortion Meter State	<code>:DISPlay:AM FM PM:METer:DISToRtion ON OFF 1 0</code>
	<code>:DISPlay:AM FM PM:METer:DISToRtion?</code>
SINAD Meter State	<code>:DISPlay:AM FM PM:METer:SINAd ON OFF 1 0</code>
	<code>:DISPlay:AM FM PM:METer:SINAd?</code>
THD Meter State	<code>:DISPlay:AM FM PM:METer:THD ON OFF 1 0</code>
	<code>:DISPlay:AM FM PM:METer:THD?</code>
Deviation Meter State	<code>:DISPlay:FM:METer:DVPP ON OFF 1 0</code>
	<code>:DISPlay:FM:METer:DVPP?</code>
Distortion Deflection Judge	<code>:DISPlay:AM FM PM:METer:DISToRtion:JUDGe ON OFF 1 0</code>
	<code>:DISPlay:AM FM PM:METer:DISToRtion:JUDGe?</code>
SINAD Deflection Judge	<code>:DISPlay:AM FM PM:METer:SINAd:JUDGe ON OFF 1 0</code>
	<code>:DISPlay:AM FM PM:METer:SINAd:JUDGe?</code>
THD Deflection Judge	<code>:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:JUDGe ON OFF 1 0</code>
	<code>:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:JUDGe?</code>
Deviation Deflection Judge	<code>:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe ON OFF 1 0</code>
	<code>:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe?</code>

表 2.4.2-1 TX 測定のパラメータ設定に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
Reference of Distortion Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:REFeRence:DB MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:REFeRence:DB?
Reference of Distortion Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:REFeRence:PERCent MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:REFeRence:PERCent?
Reference of SINAD Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:REFeRence:DB MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:REFeRence:DB?
Reference of SINAD Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:REFeRence:PERCent MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:REFeRence:PERCent?
Reference of THD Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:REFeRence:DB MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:REFeRence:DB?
Reference of THD Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:REFeRence:PERCent MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:REFeRence:PERCent?
Reference of Deviation Meter (Hz)	:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:HZ MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:HZ?
Reference of Deviation Meter (%)	:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:PERCent MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:PERCent?
Reference Value of Distortion Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:REFeRence:VALue:DB <ref_val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:REFeRence:VALue:DB?
Reference Value of Distortion Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:REFeRence:VALue:PERCent <ref_val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:REFeRence:VALue:PERCent?
Reference Value of SINAD Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:REFeRence:VALue:DB <ref_val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:REFeRence:VALue:DB?
Reference Value of SINAD Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:REFeRence:VALue:PERCent <ref_val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:REFeRence:VALue:PERCent?

表 2.4.2-1 TX 測定のパラメータ設定に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
Reference Value of THD Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:REFeRence:VALue:DB <ref_val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:REFeRence:VALue:DB?
Reference Value of THD Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:REFeRence:VALue:DB <ref_val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:REFeRence:VALue:DB?
Reference Value of Deviation Meter (Hz)	:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:VALue:HZ <ref_val>
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:VALue:HZ?
Reference Value of Deviation Meter (%)	:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:VALue:PERCent <ref_val>
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:VALue:PERCent?
Range1 of Distortion Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:RNG1:DB <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:RNG1:DB?
Range1 of Distortion Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:RNG1:PERCent <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:RNG1:PERCent?
Range2 of Distortion Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:RNG2:DB <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:RNG2:DB?
Range2 of Distortion Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:RNG2:PERCent <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:RNG2:PERCent?
Pass Range of Distortion Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:JUDGe:RANGe:DB <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:JUDGe:RANGe:DB?
Pass Range of Distortion Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:JUDGe:RANGe:PERCent <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:JUDGe:RANGe:PERCent?
Range1 of SINAD Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:RNG1:DB <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:RNG1:DB?
Range1 of SINAD Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:RNG1:PERCent <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:RNG1:PERCent?
Range2 of SINAD Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:RNG2:DB <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:RNG2:DB?
Range2 of SINAD Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:RNG2:PERCent <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:RNG2:PERCent?

表 2.4.2-1 TX 測定のパラメータ設定に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
Pass Range of SINAD Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:JUDGe:RANGe:DB <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:JUDGe:RANGe:DB?
Pass Range of SINAD Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:JUDGe:RANGe:PERCent <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:JUDGe:RANGe:PERCent?
Range1 of THD Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:RNG1:DB <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:RNG1:DB?
Range1 of THD Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:RNG1:PERCent <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:RNG1:PERCent?
Range2 of THD Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:RNG2:DB <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:RNG2:DB?
Range2 of THD Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:RNG2:PERCent <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:RNG2:PERCent?
Pass Range of THD Meter (dB)	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:JUDGe:RANGe:DB <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:JUDGe:RANGe:DB?
Pass Range of THD Meter (%)	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:JUDGe:RANGe:PERCent <val>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:JUDGe:RANGe:PERCent?
Range1 of Deviation Meter (Hz)	:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG1:HZ <val>
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG1:HZ?
Range1 of Deviation Meter (%)	:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG1:PERCent <val>
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG1:PERCent?
Range2 of Deviation Meter (Hz)	:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG2:HZ <val>
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG2:HZ?
Range2 of Deviation Meter (%)	:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG2:PERCent <val>
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG2:PERCent?
Pass Range of Deviation Meter (Hz)	:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe:RANGe:HZ <val>
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe:RANGe:HZ?
Pass Range of Deviation Meter (%)	:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe:RANGe:PERCent <val>
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe:RANGe:PERCent?

表 2.4.2-1 TX 測定のパラメータ設定に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
Deviation Reference of Deviation Meter	:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence <val>
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence?
Deflection View of Distortion Meter	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:DEFLection ON OFF 1 0
	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:DEFLection?
Deflection View of SINAD Meter	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:DEFLection ON OFF 1 0
	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:DEFLection?
Deflection View of THD Meter	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:DEFLection ON OFF 1 0
	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:DEFLection?
Deflection View of Deviation Meter	:DISPlay:FM:METer:DVPP:DEFLection ON OFF 1 0
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:DEFLection?
Deflection Count of Distortion Meter	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:DEFLection:COUNT <count>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:DEFLection:COUNT?
Deflection Count of SINAD Meter	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:DEFLection:COUNT <count>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:DEFLection:COUNT?
Deflection Count of THD Meter	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:DEFLection:COUNT <count>
	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:DEFLection:COUNT?
Deflection Count of Deviation Meter	:DISPlay:FM:METer:DVPP:DEFLection:COUNT <count>
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:DEFLection:COUNT?
Unit of Distortion Meter	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:UNIT DB PERCent
	:DISPlay:AM FM PM:METer:DISTortion:UNIT?
Unit of SINAD Meter	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:UNIT DB PERCent
	:DISPlay:AM FM PM:METer:SINad:UNIT?
Unit of THD Meter	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD: UNIT DB PERCent
	:DISPlay:AM FM PM:METer:THD:UNIT?
Unit of Deviation Meter	:DISPlay:FM:METer:DVPP:UNIT HZ PERCent
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:UNIT?
Type of Deviation Meter	:DISPlay:FM:METer:DVPP:TYPE RMS PLUS MINus P2P
	:DISPlay:FM:METer:DVPP:TYPE?

表 2.4.2-1 TX 測定のパラメータ設定に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
Signal Frequency of Distortion	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:SIGNAL PEAK MANual GENerator</code>
	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:SIGNAL?</code>
Manual Frequency of Distortion	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:SIGNAL:MANual <freq></code>
	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:SIGNAL:MANual?</code>
Start Frequency of Distortion	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:START <freq></code>
	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:START?</code>
Stop Frequency of Distortion	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:STOP <freq></code>
	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:STOP?</code>
Signal Frequency of SINAD	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:SINad:FREQuency:SIGNAL PEAK MANual GENerator</code>
	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:SINad:FREQuency:SIGNAL?</code>
Manual Frequency of SINAD	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:SINad:FREQuency:SIGNAL:MANual <freq></code>
	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:SINad:FREQuency:SIGNAL:MANual?</code>
Start Frequency of SINAD	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:SINad:FREQuency:START <freq></code>
	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:SINad:FREQuency:START?</code>
Stop Frequency of SINAD	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:SINad:FREQuency:STOP <freq></code>
	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:SINad:FREQuency:STOP?</code>
Signal Frequency of THD	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:THD:FREQuency:SIGNAL PEAK MANual GENerator</code>
	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:THD:FREQuency:SIGNAL?</code>
Manual Frequency of THD	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:THD:FREQuency:SIGNAL:MANual <freq></code>
	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:THD:FREQuency:SIGNAL:MANual?</code>
Start Frequency of THD	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:THD:FREQuency:START <freq></code>
	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:THD:FREQuency:START?</code>
Stop Frequency of THD	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:THD:FREQuency:STOP <freq></code>
	<code>[[:SENSe]:AM FM PM:DISTortion:THD:FREQuency:STOP?</code>

表 2.4.2-1 TX 測定のパラメータ設定に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
Demodulation Monitor	<code>[:SENSe]:SPEaker[:STATe] <switch></code>
	<code>[:SENSe]:SPEaker[:STATe]?</code>
Speaker/ Headphone Output	<code>[:SENSe]:SPNHeadphone[:STATe] ON OFF 1 0</code>
	<code>[:SENSe]:SPNHeadphone[:STATe]?</code>
Demodulation Monitor Volume	<code>[:SENSe]:SPEaker:VOLume <vol></code>
	<code>[:SENSe]:SPEaker:VOLume?</code>
Initiate FM	<code>:INITiate:FM</code>
Initiate Wide FM	<code>:INITiate:WFM</code>
Initiate AM	<code>:INITiate:AM</code>
Initiate ϕ M	<code>:INITiate:PM</code>

[[:SENSe]:FREQuency:CENTer <freq>

Center Frequency of TX Measurement

機能

TX 測定を中心周波数を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:FREQuency:CENTer <freq>
```

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	100 kHz～3.7 GHz (MS2830A-040) 100 kHz～6.1 GHz (MS2830A-041) 100 kHz～13.6 GHz (MS2830A-043) 100 kHz～3.7 GHz (MS2840A-040) 100 kHz～6.1 GHz (MS2840A-041) 100 kHz～27 GHz (MS2840A-044) 100 kHz～45 GHz (MS2840A-046)
分解能	1 Hz
サフィックスコード	HZ,KHZ,KZ,MHZ,MZ,GHZ,GZ
初期値	1 GHz

詳細

TX 測定時の RF 測定周波数を設定します。

使用例

TX 測定を中心周波数を 400 MHz に設定する。

```
FREQ:CENT 400MHZ
```

[[:SENSe]:FREQuency:CENTer?

Center Frequency of TX Measurement Query

機能

TX 測定の中心周波数を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:FREQuency:CENTer?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	100 kHz～3.7 GHz (MS2830A-040)
	100 kHz～6.1 GHz (MS2830A-041)
	100 kHz～13.6 GHz (MS2830A-043)
	100 kHz～3.7 GHz (MS2840A-040)
	100 kHz～6.1 GHz (MS2840A-041)
	100 kHz～27 GHz (MS2840A-044)
	100 kHz～45 GHz (MS2840A-046)
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

TX 測定の中心周波数を読み出す。

FREQ:CENT?
> 400000000

[[:SENSe]:FREQuency:AUTOdetect

Auto detect Center Frequency of TX Measurement

機能

入力信号のピークレベルの周波数を検出し、TX 測定の中心周波数に設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:FREQuency:AUTOdetect
```

詳細

周波数を検出後、測定を実施します。連続測定実施中に実行した場合は、実行後も連続測定が継続されます。

使用例

入力信号のピークレベルの周波数を、TX 測定の中心周波数に設定する。
FREQ:AUTO

[:SENSe]:FREQuency:AUTOdetect:ADJustrange <switch>

Auto Adjust Range after find RF signal by Auto Detect

機能

Auto Adjust Range の On/Off を設定します。

コマンド

[:SENSe]:FREQuency:AUTOdetect:ADJustrange <switch>

パラメータ

<switch>	Auto Adjust Range の On/Off
ON 1	Auto Adjust Range を On にする
OFF 0	Auto Adjust Range を Off にする
初期値	OFF

詳細

Auto Detect により信号をサーチ後、自動的に Adjust Range を実施します。

使用例

Auto Adjust Range を On に設定する。

FREQ:AUTO:ADJ ON

[:SENSe]:FREQuency:AUTOdetect:ADJustrange?

Auto Adjust Range after find RF signal by Auto Detect Query

機能

Auto Adjust Range の On/Off を読み出します。

クエリ

[:SENSe]:FREQuency:AUTOdetect:ADJustrange?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	Auto Adjust Range の On/Off
1	Auto Adjust Range が On
0	Auto Adjust Range が Off

使用例

Auto Adjust Range の設定を読み出す。

FREQ:AUTO:ADJ?

> 1

`[[:SENSe]:POWer[:RF]:GAIN[:STATe] <switch>`

Preamp

機能

プリアンプの On/Off を設定します。

コマンド

`[[:SENSe]:POWer[:RF]:GAIN[:STATe] <switch>`

パラメータ

<code><switch></code>	プリアンプの On/Off
<code>ON 1</code>	プリアンプを On にする
<code>OFF 0</code>	プリアンプを Off にする
初期値	OFF

詳細

MS2830A-008/108, MS2840A-008/108/068/168/069/169 プリアンプが未搭載時は常に OFF となり、本コマンドは無効となります。

使用例

プリアンプを On に設定する。
`POW:GAIN ON`

`[[:SENSe]:POWer[:RF]:GAIN[:STATe]?`

Preamp Query

機能

プリアンプの On/Off を読み出します。

クエリ

`[[:SENSe]:POWer[:RF]:GAIN[:STATe]?`

レスポンス

`<switch>`

パラメータ

<code><switch></code>	プリアンプの On/Off
<code>1</code>	プリアンプ On
<code>0</code>	プリアンプ Off

使用例

プリアンプの設定を読み出す。
`POW:GAIN?`
`> 1`

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel <real>

Input Level

機能

RF 信号の入力レベルを設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel <real>

パラメータ

<real>	入力レベル
範囲	プリアンプが Off の場合 (−60.0 + Level Offset)~(30.0 dBm + Level Offset) プリアンプが On の場合 (−80.0 + Level Offset)~(10.0 dBm + Level Offset)
分解能	0.01 dB
単位	1 dBm
サフィックスコード	DBM 省略した場合は dBm として扱います。
初期値	−10.00 dBm

詳細

TX 測定時に本器へ入力する RF 信号の入力レベルを設定します。入力レベルの設定に応じてアッテネータを自動的に設定します。
AM, FM, PM 共通の設定となります。

使用例

入力レベルを 10 dBm に設定する。
DISP:FM:WIND:TRAC:Y:RLEV 10

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel?

Input Level Query

機能

RF 信号の入力レベル設定値を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel?
```

レスポンス

<real>

パラメータ

<real>	入力レベル
範囲	プリアンプが Off の場合 (-60.0 + Level Offset) ~ (30.0 dBm + Level Offset) プリアンプが On の場合 (-80.0 + Level Offset) ~ (10.0 dBm + Level Offset)
分解能	0.01 dB
サフィックスコード	なし dBm 単位の値を返します。

使用例

```
入力レベル設定値を読み出す。
DISP:FM:WIND:TRAC:Y:RLEV?
> 10.00
```

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:WATT?

Input Level(W) Query

機能

RF 信号の入力レベル設定値 (W) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:WATT?
```

レスポンス

<real>

パラメータ

<real>	入力レベル
範囲	0.031 ~ 1000 mW
サフィックスコード	なし W 単位の値を返します。

使用例

```
入力レベル設定値 (W) を読み出す。
DISP:FM:WIND:TRAC:Y:RLEV:WATT?
> 0.001000000000000000000000000000
```


:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:OFFSet:STATe
ON|OFF|1|0

Input Level Offset State

機能

入力レベルのオフセット機能の有効・無効を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:OFFSet:STATe <switch>
```

パラメータ

<switch>	入力レベルオフセット機能の有効・無効
OFF 0	無効にする（初期値）
ON 1	有効にする

詳細

AM, FM, PM 共通の設定となります。

使用例

入力レベルのオフセット値を有効にする。

```
DISP:FM:WIND:TRAC:Y:RLEV:OFFS:STAT ON
```

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:OFFSet:STATe?

Input Level Offset State Query

機能

入力レベルのオフセット機能の有効・無効を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:OFFSet:STATe?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	入力レベルオフセット機能の有効・無効
0	無効
1	有効

使用例

入力レベルオフセット機能の設定値を読み出す。

```
DISP:FM:WIND:TRAC:Y:RLEV:OFFS:STAT?
> 1
```

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:OFFSet <real>

Input Level Offset

機能

入力レベルのオフセット値を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:OFFSet
<real>
```

パラメータ

<real>	オフセット値
範囲	-100.00～100.00 dB
分解能	0.01 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	0.00 dB

詳細

測定対象と本器の間の接続による電力損失の補正を行う場合に設定します。
AM, FM, PM 共通の設定となります。

使用例

電力損失が 10 dB ある場合に, 入力レベルのオフセット値を+10 dB に設定する。
DISP:FM:WIND:TRAC:Y:RLEV:OFFS 10

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:OFFSet?

Input Level Offset Query

機能

入力レベルのオフセット値を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:RLEVel:OFFSet?

```

レスポンス

<real>

パラメータ

<real>	オフセット値
範囲	-100.00～100.00 dB
分解能	0.01 dB
サフィックスコードなし。	dB 単位の値を返します。

使用例

入力レベルオフセット値を読み出す。
DISP:FM:WIND:TRAC:Y:RLEV:OFFS?
> 10.00

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:TIME ON|OFF|1|0
AF Measure Time Domain Graph State

機能	AF Measure 結果の Time Domain グラフ表示の On/Off を設定します。	
コマンド	DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:TIME<switch>	
パラメータ	<switch> ON 1 OFF 0	Time Domain グラフ表示の On/Off On (初期値) Off
使用例	Time Domain グラフ表示を On にする。 DISP:FM:WIND:TRAC:ANAL:MODE:TIME ON	

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:TIME?
AF Measure Time Domain Graph State Query

機能	AF Measure 結果の Time Domain グラフ表示の On/Off を読み出します。	
クエリ	DISPlay:AM FM PM:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:TIME?	
レスポンス	<switch>	
パラメータ	<switch> 1 0	Time Domain グラフ表示の On/Off On Off
使用例	Time Domain グラフ表示の状態を読み出す。 DISP:FM:WIND:TRAC:ANAL:MODE:TIME? > 1	

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:FREQuency ON|OFF|1|0

AF Measure Frequency Domain Graph State

機能

AF Measure 結果の Frequency Domain グラフ表示の On/Off を設定します。

コマンド

```
DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:FREQuency
<switch>
```

パラメータ

<switch>	Frequency Domain グラフ表示の On/Off
OFF 0	Off (初期値)
ON 1	On

使用例

Frequency Domain グラフ表示を On にする。
DISP:FM:WIND:TRAC:ANAL:MODE:FREQ ON

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:FREQuency?

AF Measure Frequency Domain Graph State Query

機能

AF Measure 結果の Frequency Domain グラフ表示の On/Off を読み出します。

クエリ

```
DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:FREQuency
?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	Frequency Domain グラフ表示の On/Off
1	On
0	Off

使用例

Frequency Domain グラフ表示の状態を読み出す。
DISP:FM:WIND:TRAC:ANAL:MODE:FREQ?
> 1

:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:MODE AUTO|FIXed

Y Axis Scale Mode of AF Measure Graph

機能

AF Measure 結果グラフの Y 軸（縦軸）スケールモードをオートスケールまたは固定スケールに設定します。

コマンド

```
:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:MODE <mode>
```

パラメータ

<mode>	Y 軸スケールモード
AUTO	オートスケール（初期値）
FIXed	固定スケール

詳細

Time Domain グラフ表示が On のときに設定できます。
変調方式が FM または WFM のときのみ設定できます。

使用例

AF Measure 結果グラフの Y 軸スケールを固定スケールにする。
DISP:FM:WIND:TRAC:Y:MODE FIX

:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:MODE?

Y Axis Scale Mode of AF Measure Graph Query

機能

AF Measure 結果グラフの Y 軸（縦軸）スケールモードを読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:MODE?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	Y 軸スケールモード
AUTO	オートスケール
FIX	固定スケール

使用例

AF Measure 結果グラフの Y 軸スケールモード設定を読み出す。
DISP:FM:WIND:TRAC:Y:MODE?
> FIX

:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:AUTO:MINimumrange

500|5K|10K|50K|100K|500K

Minimum Y Axis Scale Range of AF Measure Graph

機能

AF Measure 結果グラフの Y 軸（縦軸）スケールの最小レンジを設定します。

コマンド

```
:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:AUTO:MINimumrange
<range>
```

パラメータ

<range>	Y 軸スケールの最小レンジ
500	±500 Hz
5K	±5 kHz (初期値)
10K	±10 kHz
50K	±50 kHz
100K	±100 kHz
500K	±500 kHz

詳細

Time Domain グラフ表示が On のときに有効です。
変調方式が FM または WFM のときのみ設定できます。

使用例

AF Measure 結果グラフの Y 軸スケールの最小レンジを 500 Hz に設定する。
DISP:FM:WIND:TRAC:Y:AUTO:MIN 500

:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:AUTO:MINimumrange?

Minimum Y Axis Scale Range of AF Measure Graph Query

機能

AF Measure 結果グラフの Y 軸（縦軸）スケールの最小レンジの設定値を読み出します。

クエリ

:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:AUTO:MINimumrange?

レスポンス

<range>

パラメータ

<range>	Y 軸スケールの最小レンジ
500	±500 Hz
5K	±5 kHz
10K	±10 kHz
50K	±50 kHz
100K	±100 kHz
500K	±500 kHz

使用例

AF Measure 結果グラフの Y 軸スケールの最小レンジの設定を読み出す。

```
DISP:FM:WIND:TRAC:Y:AUTO:MIN?  
> 500
```

```
:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:FIXed:RANGe
```

```
500|1K|2_5K|5K|10K|25K|50K|100K|250K|500K|1M
```

Y Axis Scale Range of AF Measure Graph

機能

AF Measure 結果グラフの Y 軸（縦軸）スケールが固定モードの場合のレンジ幅を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:FIXed:RANGe <range>
```

パラメータ

<range>	Y 軸スケールのレンジ幅
500	±500 Hz
1K	±1 kHz
2_5K	±2.5 kHz
5K	±5 kHz (初期値)
10K	±10 kHz
25K	±25 kHz
50K	±50 kHz
100K	±100 kHz
250K	±250 kHz
500K	±500 kHz
1M	±1 MHz

詳細

Time Domain グラフ表示が On のときに有効です。
変調方式が FM または WFM のときのみ設定できます。

使用例

AF Measure 結果グラフの Y 軸スケールのレンジ幅を 500 Hz に設定する。
DISP:FM:WIND:TRAC:Y:FIX:RANG 500

:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:FIXed:RANGe?

Y Axis Scale Range of AF Measure Graph Query

機能

AF Measure 結果グラフの Y 軸(縦軸)スケールが固定レンジの場合のレンジ幅の設定値を読み出します。

クエリ

:DISPlay:FM:WINDow[1]:TRACe:Y[:SCALe]:FIXed:RANGe?

レスポンス

<range>

パラメータ

<range>	Y 軸スケールのレンジ幅
500	±500 Hz
1K	±1 kHz
2_5K	±2.5 kHz
5K	±5 kHz
10K	±10 kHz
25K	±25 kHz
50K	±50 kHz
100K	±100 kHz
250K	±250 kHz
500K	±500 kHz
1M	±1 MHz

使用例

AF Measure 結果グラフの Y 軸スケールのレンジ幅を読み出す。
DISP:FM:WIND:TRAC:Y:FIX:RANG?
> 500

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:TOP:LOG
<level>

Y Axis Top Level of Frequency Domain Graph

機能

Frequency Domain グラフ表示の Y 軸の上限値を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:T  
OP:LOG <level>
```

パラメータ

<level>	Top Level
範囲	FM 変調の場合: (Bottom Level の設定値 × 1.4125375) ~ 1000 kHz AM 変調の場合: (Bottom Level の設定値 × 1.4125375) ~ 100 % φM 変調の場合: (Bottom Level の設定値 × 1.4125375) ~ 1000 rad
分解能	FM 変調の場合: 0.0001 Hz AM 変調の場合: 0.0001 % φM 変調の場合: 0.0001 rad
初期値	FM 変調の場合: 5 kHz AM 変調の場合: 100 % φM 変調の場合: 5 rad
サフィックスコード	%, Hz, RAD

詳細

Frequency Domain グラフ表示が On のときに有効です。
Top Level の設定範囲は以下の条件を満たす必要があります。

- $\text{Top Level} \geq (\text{Bottom Level} \times 1.4125375)$
- $(\text{Top Level} - \text{Bottom Level}) \geq 3 \text{ dB}$

使用例

FM 変調の Frequency Domain グラフの Y 軸の上限値を 1 kHz に設定する。
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:Y:TOP:LOG 1000

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:TOP:LOG
?

Y Axis Top Level of Frequency Domain Graph Query

機能

Frequency Domain グラフ表示の Y 軸の上限値を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:T  
OP:LOG?
```

レスポンス

```
<level>
```

パラメータ

<level>	Top Level
範囲	FM 変調の場合: 0.0001 Hz~1000 kHz AM 変調の場合: 0.0001~1000% φM 変調の場合: 0.0001~1000 rad
分解能	FM 変調の場合: 0.0001 Hz AM 変調の場合: 0.0001% φM 変調の場合: 0.0001 rad

使用例

FM 変調の Frequency Domain グラフの Y 軸の上限値を読み出す。

```
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:Y:TOP:LOG?  
> 1000.0
```

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:BOTTom:LOG <level>

Y Axis Bottom Level of Frequency Domain Graph

機能

Frequency Domain グラフ表示の Y 軸の下限値を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:BOTTom:LOG <level>

パラメータ

<level>	Bottom Level
範囲	FM 変調の場合: 0.0001 Hz～(Top Level の設定値/1.4125375) kHz AM 変調の場合: 0.0001～(Top Level の設定値/1.4125375) % φM 変調の場合: 0.0001～(Top Level の設定値/1.4125375) rad
分解能	FM 変調の場合: 0.0001 Hz AM 変調の場合: 0.0001% φM 変調の場合: 0.0001 rad
初期値	FM 変調の場合: 0.0001 Hz AM 変調の場合: 0.0001% φM 変調の場合: 0.0001 rad
サフィックスコード	%, Hz, RAD

詳細

Frequency Domain グラフ表示が On のときに有効です。

Bottom Level の設定範囲は以下の条件を満たす必要があります。

- Bottom Level $\leq$ (Top Level $\times$ 1.4125375)
- (Top Level - Bottom Level) $\geq$ 3 dB

使用例

FM 変調の Frequency Domain グラフの Y 軸の下限値を 0.001 kHz に設定する。

DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:Y:BOTT:LOG 1

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:BOTTom:LOG?

Y Axis Bottom Level of Frequency Domain Graph Query

機能

Frequency Domain グラフ表示の Y 軸の下限值を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:BOTTom:LOG?

レスポンス

<level>

パラメータ

<level>	Bottom Level
範囲	FM 変調の場合: 0.0001 Hz～(Top Level の設定値/1.4125375) kHz AM 変調の場合: 0.0001～(Top Level の設定値/1.4125375) % φM 変調の場合: 0.0001～(Top Level の設定値/1.4125375) rad
分解能	FM 変調の場合: 0.0001 Hz AM 変調の場合: 0.0001% φM 変調の場合: 0.0001 rad

使用例

FM 変調の Frequency Domain グラフの Y 軸の下限值を読み出す。
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:Y:BOTT:LOG?
> 1.0

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:WINDowfunction RECTangular|HANN|BLACkmanharris|HAMMing|FLATtop

Window Function of Frequency Domain Graph

機能

Frequency Domain グラフの窓関数を設定します。

コマンド

```
DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:WINDowfunction <window>
```

パラメータ

<window>	窓関数
RECTangular	Rectangular window
HANN	Hann window
BLACkmanharris	Blackman-Harris window
HAMMing	Hamming window
FLATtop	Flat-top window
初期値	HANN

詳細

Frequency Domain グラフ表示が On のときに有効です。

使用例

Frequency Domain グラフの窓関数を Rectangular に設定する。
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:WIND RECT

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:WINDowfunction?

Window Function of Frequency Domain Graph Query

機能

Frequency Domain グラフの窓関数を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:WINDowfunction?

レスポンス

<window>

パラメータ

<window>	窓関数
RECT	Rectangular window
HANN	Hann window
BLAC	Blackman-Harris window
HAMM	Hamming window
FLAT	Flat-top window
初期値	HANN

使用例

Frequency Domain グラフの窓関数を読み出す。
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:WIND?
> RECT

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:UNIT LINear|LOG

X Axis Scale of Frequency Domain Graph

機能

Frequency Domain グラフの X 軸（横軸）をリニアスケールまたはログスケールに設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:U  
NIT <mode>
```

パラメータ

<mode>	X 軸スケール
LINear	リニアスケール
LOG	ログスケール（初期値）

詳細

Frequency Domain グラフ表示が On のときに有効です。

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸スケールをリニアスケールにする。
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:X:UNIT LIN

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:UNIT?

X Axis Scale of Frequency Domain Graph Query

機能

Frequency Domain グラフの X 軸（縦軸）スケールモードを読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:U  
NIT?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	X 軸スケール
LIN	リニアスケール
LOG	ログスケール

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸スケールを読み出す。
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:X:UNIT?
> LIN

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARTfreq
:LINear <freq>

X Axis (Linear) Min. Frequency of Frequency Domain Graph

機能

Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最小値 (周波数) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:S
TARTfreq:LINear <freq>

パラメータ

<freq>	X 軸の最小周波数
範囲	10～49950 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	HZ
	省略した場合は Hz として扱います。
初期値	10 Hz

詳細

Frequency Domain グラフ表示が On, かつ X 軸スケールがリニアスケールのときに有効です。

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最小値を 100 Hz に設定する。
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:X:STAR:LIN 100

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARtfreq
:LINear?

X Axis (Linear) Min. Frequency of Frequency Domain Graph Query

機能

Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最小値 (周波数) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:S
TARtfreq:LINear?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	X 軸の最小周波数
範囲	10～49950 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最小値を読み出す。
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:X:STAR:LIN?
> 100

```
:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARTfreq
:LOG <range>
```

X Axis (Log) Min. Frequency of Frequency Domain Graph

機能

Frequency Domain グラフの X 軸 (ログスケール) の最小値 (周波数) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:S
TARTfreq:LOG <range>
```

パラメータ

<range>	X 軸の最小周波数
10HZ	10 Hz (初期値)
20HZ	20 Hz
30HZ	30 Hz
50HZ	50 Hz
100HZ	100 Hz
200HZ	200 Hz
300HZ	300 Hz
500HZ	500 Hz
1KHZ	1 kHz
2KHZ	2 kHz
3KHZ	3 kHz
5KHZ	5 kHz
10KHZ	10 kHz
20KHZ	20 kHz
30KHZ	30 kHz

詳細

Frequency Domain グラフ表示が On, かつ X 軸スケールがログスケールのときに有効です。

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸 (ログスケール) の最小値を 100 Hz に設定する。

```
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:X:STAR:LOG 100HZ
```

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARTfreq
:LOG?

X Axis (Log) Min. Frequency of Frequency Domain Graph Query

機能

Frequency Domain グラフの X 軸（ログスケール）の最小値（周波数）を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:S
TARTfreq:LOG?

レスポンス

<range>

パラメータ

<range>	X 軸の最小周波数
10HZ	10 Hz
20HZ	20 Hz
30HZ	30 Hz
50HZ	50 Hz
100HZ	100 Hz
200HZ	200 Hz
300HZ	300 Hz
500HZ	500 Hz
1KHZ	1 kHz
2KHZ	2 kHz
3KHZ	3 kHz
5KHZ	5 kHz
10KHZ	10 kHz
20KHZ	20 kHz
30KHZ	30 kHz

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸（ログスケール）の最小値を読み出す。

```
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:X:STAR:LOG?
> 100HZ
```

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:
LINear <freq>

X Axis (Linear) Max. Frequency of Frequency Domain Graph

機能 Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最大値 (周波数) を設定します。

コマンド :DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:LINear <freq>

パラメータ

<freq>	X 軸の最大周波数
範囲	60～50000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	HZ
	省略した場合は Hz として扱います。
初期値	20000 Hz

詳細 Frequency Domain グラフ表示が On, かつ X 軸スケールがリニアスケールのときに有効です。

使用例 Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最大値を 10000 Hz に設定する。
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:X:STOP:LIN 10000

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:
LINear?

X Axis (Linear) Max. Frequency of Frequency Domain Graph Query

機能

Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最大値 (周波数) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:S
TOPfreq:LINear?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	X 軸の最大周波数
範囲	60～50000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最大値を読み出す。
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:X:STOP:LIN?
> 10000

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:
LOG <range>

X Axis (Log) Max. Frequency of Frequency Domain Graph

機能 Frequency Domain グラフの X 軸（ログスケール）の最大値（周波数）を設定します。

コマンド :DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:S
TOPfreq:LOG <range>

パラメータ	<range>	X 軸の最大周波数
	20HZ	20 Hz
	30HZ	30 Hz
	50HZ	50 Hz
	100HZ	100 Hz
	200HZ	200 Hz
	300HZ	300 Hz
	500HZ	500 Hz
	1KHZ	1 kHz
	2KHZ	2 kHz
	3KHZ	3 kHz
	5KHZ	5 kHz
	10KHZ	10 kHz
	20KHZ	20 kHz (初期値)
	30KHZ	30 kHz
	50KHZ	50 kHz

詳細 Frequency Domain グラフ表示が On, かつ X 軸スケールがログスケールのときに有効です。

使用例 Frequency Domain グラフの X 軸（ログスケール）の最大値を 1 kHz に設定する。
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:X:STOP:LOG 1KHZ

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:
LOG?

X Axis (Log) Max. Frequency of Frequency Domain Graph Query

機能

Frequency Domain グラフの X 軸（ログスケール）の最大値（周波数）を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:S
TOPfreq:LOG?

レスポンス

<range>

パラメータ

<range>	X 軸の最小周波数
20HZ	20 Hz
30HZ	30 Hz
50HZ	50 Hz
100HZ	100 Hz
200HZ	200 Hz
300HZ	300 Hz
500HZ	500 Hz
1KHZ	1 kHz
2KHZ	2 kHz
3KHZ	3 kHz
5KHZ	5 kHz
10KHZ	10 kHz
20KHZ	20 kHz
30KHZ	30 kHz
50KHZ	50 kHz

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸（ログスケール）の最大値を読み出す。
DISP:FM:WIND:TRAC:FREQ:X:STOP:LOG?
> 1KHZ

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:MODE ALL|CARRier|MODulation

Display Mode of TX Measurement

機能

TX 測定の測定画面の表示状態を設定します。

コマンド**:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:MODE <display>****パラメータ**

<display>	TX 測定の画面表示
ALL	全測定項目を表示
CARRier	Carrier 系測定項目のみ表示
MODulation	変調系測定項目のみ表示
初期値	ALL

詳細

測定モードが TX 測定モードのときに有効です。

使用例**Carrier** 系の測定項目のみを表示する。

DISP:FM:WIND:TRAC:MODE CARR

:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:MODE?

Display Mode of TX Measurement Query

機能

TX 測定の測定画面の表示状態を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AM|FM|PM:WINDow[1]:TRACe:MODE?****レスポンス**

<display>

パラメータ

<display>	TX 測定の画面表示
ALL	全測定項目を表示
CARR	Carrier 系測定項目のみ表示
MOD	変調系測定項目のみ表示

使用例

TX 測定の測定画面の表示状態を読み出す。

DISP:FM:WIND:TRAC:MODE?

> CARR

:DISPlay:AM|FM|PM:RF:FREQuency:VIEW[1]:RESolution <resolution>

RF Frequency(Hz) Resolution for Carrier Display Mode

機能

Carrier 系測定項目のみ表示時の RF Frequency / Freq.Error の表示分解能を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:RF:FREQuency:VIEW[1]:RESolution
<resolution>
```

パラメータ

<resolution>	表示分解能
1	1 Hz
0.1	0.1 Hz
0.01	0.01 Hz
初期値	1

詳細

測定モードが TX 測定モードのときに有効です。

使用例

Carrier 系測定項目のみ表示時の RF Frequency / Freq.Error の表示分解能を 0.1 Hz に設定する。

```
DISP:AM:RF:FREQ:VIEW:RES 0.1
```

:DISPlay:AM|FM|PM:RF:FREQuency:VIEW[1]:RESolution?

RF Frequency(Hz) Resolution for Carrier Display Mode Query

機能

Carrier 系測定項目のみ表示時の RF Frequency / Freq.Error の表示分解能を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:RF:FREQuency:VIEW[1]:RESolution?
```

レスポンス

```
<resolution>
```

パラメータ

<resolution>	表示分解能
1	1 Hz
0.1	0.1 Hz
0.01	0.01 Hz

使用例

Carrier 系測定項目のみ表示時の RF Frequency / Freq.Error の表示分解能を読み出す。

```
DISP:AM:RF:FREQ:VIEW:RES?
> 0.1
```

:DISPlay:AM|FM|PM:RF:POWer:VIEW[1]:UNIT WATT|MWATt|DBM

RF Power Unit for Carrier Display Mode

機能 Carrier 系測定項目のみ表示時の RF Power の表示単位を設定します。

コマンド :DISPlay:AM|FM|PM:RF:POWer:VIEW[1]:UNIT <unit>

パラメータ	<unit>	表示単位
	WATT	W
	MWATt	mW
	DBM	dBm
	初期値	WATT

詳細 測定モードが TX 測定モードのときに有効です。

使用例 Carrier 系測定項目のみ表示時の RF Power の表示単位を mW とする。
DISP:AM:RF:POW:VIEW:UNIT MWAT

:DISPlay:AM|FM|PM:RF:POWer:VIEW[1]:UNIT?

RF Power Unit for Carrier Display Mode Query

機能 Carrier 系測定項目のみ表示時の RF Power の表示単位を読み出します。

クエリ :DISPlay:AM|FM|PM:RF:POWer:VIEW[1]:UNIT?

レスポンス <unit>

パラメータ	<unit>	表示単位
	WATT	W
	MWAT	mW
	DBM	dBm

使用例 Carrier 系測定項目のみ表示時の RF Power の表示単位を読み出す。
DISP:AM:RF:POW:VIEW:UNIT?
> MWAT

:DISPlay:AM|FM|PM:RF:POWer:VIEW[1]:RESolution <resolution>

RF Power(W/mW) Resolution for Carrier Display Mode

機能

Carrier 系測定項目のみ表示時の RF Power の W 単位または mW 単位での表示分解能を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:RF:POWer:VIEW[1]:RESolution  
<resolution>
```

パラメータ

<resolution>	表示分解能
0.01	0.01W または 0.01 mW
0.001	0.001W または 0.001 mW
0.0001	0.0001W または 0.0001 mW
初期値	0.001

詳細

測定モードが TX 測定モードのときに有効です。

使用例

Carrier 系測定項目のみ表示時の RF Power の表示分解能を 0.01 W または 0.01 mW とする。

```
DISP:AM:RF:POW:VIEW:RES 0.01
```

:DISPlay:AM|FM|PM:RF:POWer:VIEW[1]:RESolution?

RF Power(W/mW) Resolution for Carrier Display Mode Query

機能

Carrier 系測定項目のみ表示時の RF Power の W 単位または mW 単位での表示分解能を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:RF:POWer:VIEW[1]:RESolution?
```

レスポンス

```
<resolution>
```

パラメータ

<resolution>	表示分解能
0.01	0.01W または 0.01 mW
0.001	0.001W または 0.001 mW
0.0001	0.0001W または 0.0001 mW

使用例

Carrier 系測定項目のみ表示時の RF Power の W 単位または mW 単位での表示分解能を読み出す。

```
DISP:AM:RF:POW:VIEW:RES?
```

```
> 0.01
```

:DISPlay:AM|FM|PM:DVPP:VIEW[1]:TYPE RMS|PLUS|MINus|P2P

Deviation Type for Modulation Display Mode

機能

変調系測定項目のみ表示時に表示される解析結果の種類を設定します。

Deviation ([Modulation] = [FM] または [Wide FM]), Depth ([Modulation] = [AM]), Radian ([Modulation] = [φM]) に共通の設定です。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:DVPP:VIEW[1]:TYPE <type>
```

パラメータ

<type>	解析結果の種類
RMS	RMS
PLUS	Peak+
MINus	Peak-
P2P	(Pk-Pk)/2
初期値	P2P

詳細

測定モードが **TX** 測定モードのときに有効です。

使用例

変調系測定項目のみ表示時に表示される解析結果の種類を **RMS** に設定する。

```
DISP:AM:DVPP:VIEW:TYPE RMS
```

:DISPlay:AM|FM|PM:DVPP:VIEW[1]:TYPE?

Deviation Type for Modulation Display Mode Query

機能

変調系測定項目のみ表示時に表示される解析結果の種類を読み出します。

Deviation ([Modulation] = [FM] または [Wide FM]), Depth ([Modulation] = [AM]), Radian ([Modulation] = [φM]) に共通の設定です。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:DVPP:VIEW[1]:TYPE?
```

レスポンス

```
<type>
```

パラメータ

<type>	解析結果の種類
RMS	RMS
PLUS	Peak+
MIN	Peak-
P2P	(Pk-Pk)/2

使用例

変調系測定項目のみ表示時に表示される解析結果の種類を読み出す。

```
DISP:AM:DVPP:VIEW:TYPE?
```

```
> RMS
```

:DISPlay:AM|FM|PM:DVPP:VIEW[1]:RESolution <resolution>

Deviation(Hz) Resolution for Modulation Display Mode

機能

変調系測定項目のみ表示時の Deviation の Hz 単位での表示分解能を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:DVPP:VIEW[1]:RESolution <resolution>
```

パラメータ

<resolution>	表示分解能
1	1 Hz
0.1	0.1 Hz
0.01	0.01 Hz
初期値	1

詳細

測定モードが TX 測定モードのときに有効です。

使用例

変調系測定項目のみ表示時の Deviation の Hz 単位での表示分解能を 0.1 Hz に設定する。

```
DISP:AM:DVPP:VIEW:RES 0.1
```

:DISPlay:AM|FM|PM:DVPP:VIEW[1]:RESolution?

Deviation(Hz) Resolution for Modulation Display Mode Query

機能

変調系測定項目のみ表示時の Deviation の Hz 単位での表示分解能を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:DVPP:VIEW[1]:RESolution?
```

レスポンス

```
<resolution>
```

パラメータ

<resolution>	表示分解能
1	1 Hz
0.1	0.1 Hz
0.01	0.01 Hz

使用例

変調系測定項目のみ表示時の Deviation の Hz 単位での表示分解能を読み出す。

```
DISP:AM:DVPP:VIEW:RES?
```

```
> 0.1
```

:DISPlay:AM|FM|PM:AF:LEVel:VIEW[1]:RESolution <resolution>

AF Level (Hz rms) Resolution for Modulation Display Mode

機能

変調系測定項目のみ表示時の AF Level の Hz rms 単位での表示分解能を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:AF:LEVel:VIEW[1]:RESolution
<resolution>
```

パラメータ

<resolution>	表示分解能
1	1 Hz rms
0.1	0.1 Hz rms
0.01	0.01 Hz rms
初期値	1

詳細

測定モードが TX 測定モードのときに有効です。

使用例

変調系測定項目のみ表示時の AF Level の Hz rms 単位での表示分解能を 0.1Hz rms に設定する。

```
DISP:AM:AF:LEV:VIEW:RES 0.1
```

:DISPlay:AM|FM|PM:AF:LEVel:VIEW[1]:RESolution?

AF Level (Hz rms) Resolution for Modulation Display Mode Query

機能

変調系測定項目のみ表示時の AF Level の Hz rms 単位での表示分解能を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:AF:LEVel:VIEW[1]:RESolution?
```

レスポンス

```
<resolution>
```

パラメータ

<resolution>	表示分解能
1	1 Hz rms
0.1	0.1 Hz rms
0.01	0.01 Hz rms

使用例

変調系測定項目のみ表示時の AF Level の Hz rms 単位での表示分解能を読み出す。

```
DISP:AM:AF:LEV:VIEW:RES?
> 0.1
```

:DISPlay:AM|FM|PM:AF:LEVel:DBR:VIEW[1]:RESolution <resolution>

AF Level (dBr) Resolution for Modulation Display Mode

機能

変調系測定項目のみ表示時の AF Level 相対値の dBr 単位での表示分解能を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:AF:LEVel:DBR:VIEW[1]:RESolution
<resolution>
```

パラメータ

<resolution>	表示分解能
0.01	0.01 dBr
0.001	0.001 dBr
0.0001	0.0001 dBr
初期値	0.01

詳細

測定モードが TX 測定モードのときに有効です。

使用例

変調系測定項目のみ表示時の AF Level 相対値の dBr 単位での表示分解能を 0.001 dBr に設定する。

```
DISP:AM:AF:LEV:DBR:VIEW:RES 0.001
```

:DISPlay:AM|FM|PM:AF:LEVel:DBR:VIEW[1]:RESolution?

AF Level (dBr) Resolution for Modulation Display Mode Query

機能

変調系測定項目のみ表示時の AF Level 相対値の dBr 単位での表示分解能を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:AF:LEVel:DBR:VIEW[1]:RESolution?
```

レスポンス

```
<resolution>
```

パラメータ

<resolution>	表示分解能
0.01	0.01 dBr
0.001	0.001 dBr
0.0001	0.0001 dBr

使用例

変調系測定項目のみ表示時の AF Level 相対値の dBr 単位での表示分解能を読み出す。

```
DISP:AM:AF:LEV:DBR:VIEW:RES?
> 0.001
```


:DISPlay:AM|FM|PM:DISTortion:VIEW[1]:TYPE DISTortion|SINad|THD

Distortion Type for Modulation Display Mode

機能

変調系測定項目のみ表示時に表示されるひずみ率の種類を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:DISTortion:VIEW[1]:TYPE <type>

パラメータ

<type>	ひずみ率の種類
DISTortion	Distortion (ひずみ率) を表示
SINad	SINAD (Signal-to-Noise and Distortion Ratio) を表示
THD	THD (Total Harmonic Distortion) を表示
初期値	DISTortion

詳細

測定モードが TX 測定モードのときに有効です。

使用例

変調系測定項目のみ表示時に表示されるひずみ率の種類を THD に設定する。
DISP:AM:DIST:VIEW:TYPE THD

:DISPlay:AM|FM|PM:DISTortion:VIEW[1]:TYPE?

Distortion Type for Modulation Display Mode Query

機能

変調系測定項目のみ表示時に表示されるひずみ率の種類を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:DISTortion:VIEW[1]:TYPE?

レスポンス

<type>

パラメータ

<type>	ひずみ率の種類
DIST	Distortion (ひずみ率) を表示
SIN	SINAD (Signal-to-Noise and Distortion Ratio) を表示
THD	THD (Total Harmonic Distortion) を表示

使用例

変調系測定項目のみ表示時に表示されるひずみ率の種類を読み出す。

DISP:AM:DIST:VIEW:TYPE?

> THD

:DISPlay:AM|FM|PM:DISTortion:VIEW[1]:RESolution <resolution>

Distortion(%) Resolution for Modulation Display Mode

機能

変調系測定項目のみ表示時の **Distortion** の%単位での表示分解能を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:DISTortion:VIEW[1]:RESolution
<resolution>
```

パラメータ

<resolution>	表示分解能
0.01	0.01%
0.001	0.001%
0.0001	0.0001%
初期値	0.01

詳細

測定モードが **TX** 測定モードのときに有効です。

使用例

変調系測定項目のみ表示時の **Distortion** の%単位での表示分解能を表示する。
DISP:AM:DIST:VIEW:RES 0.001

:DISPlay:AM|FM|PM:DISTortion:VIEW[1]:RESolution?

Distortion(%) Resolution for Modulation Display Mode Query

機能

変調系測定項目のみ表示時の **Distortion** の%単位での表示分解能を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:DISTortion:VIEW[1]:RESolution?
```

レスポンス

```
<resolution>
```

パラメータ

<resolution>	表示分解能
0.01	0.01%
0.001	0.001%
0.0001	0.0001%

使用例

変調系測定項目のみ表示時の **Distortion** の%単位での表示分解能を読み出す。
DISP:AM:DIST:VIEW:RES?
> 0.001

:SENSe:MODulation FM|WFM|AM|PM

Modulation Scheme of TX Measurement

機能

TX 測定の変調方式を設定します。

コマンド

:SENSe:MODulation <mod>

パラメータ

<mod>	TX 測定の変調方式
FM	FM 変調
WFM	FM 変調 (Wide FM 測定)
AM	AM 変調
PM	φM 変調
初期値	FM

使用例

TX 測定の変調方式をφM に設定する。
SENS:MOD PM

:SENSe:MODulation?

Modulation Scheme of TX Measurement Query

機能

TX 測定の変調方式の設定を読み出します。

クエリ

:SENSe:MODulation?

レスポンス

<mod>

パラメータ

<mod>	TX 測定の変調方式
FM	FM 変調
WFM	FM 変調 (Wide FM 測定)
AM	AM 変調
PM	φM 変調

使用例

TX 測定の変調方式の設定を読み出す。
SENS:MOD?
> PM

[[:SENSe]:AM|FM|PM:HPFilter

OFF|HPF50|HPF300|HPF400|HPF30K|HPFL20|HPFL1

High Pass Filter

機能

TX 測定で使用する High Pass Filter を設定します。

コマンド

:SENSe]:AM|FM|PM:HPFilter <filter>

パラメータ

<filter>	TX 測定の HPF
OFF	Filter なし
HPF50	50 Hz
HPF300	300 Hz
HPF400	400 Hz
HPF30K	30 kHz
HPFL20	< 20 Hz
HPFL1	< 1 Hz
初期値	OFF

詳細

TX 測定の変調方式に従って復調した AF 信号に対して High Pass Filter による帯域制限を行います。

AM, FM, PM 共通の設定となります。

HPFL20, HPFL1 は Modulation Scheme を FM に設定しているときのみ有効です。

使用例

TX 測定の High Pass Filter を 300 Hz に設定する。

FM:HPF HPF300

[[:SENSe]:AM|FM|PM:HPFilter?

High Pass Filter Query

機能

TX 測定で使用する High Pass Filter の設定値を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AM|FM|PM:HPFilter?

レスポンス

<filter>

パラメータ

<filter>	TX 測定の HPF
OFF	Filter なし
HPF50	50 Hz
HPF300	300 Hz
HPF400	400 Hz
HPF30K	30 kHz
HPFL20	< 20 Hz
HPFL1	< 1 Hz

使用例

TX 測定の High Pass Filter 設定値を読み出す。
FM:HPF?
> HPF300

[[:SENSe]:AM|FM|PM:LPFilter OFF|LPF300|LPF3K|LPF15K|LPF20K

Low Pass Filter

機能

TX 測定で使用する Low Pass Filter を設定します。

コマンド

[[:SENSe]:AM|FM|PM:LPFilter <filter>

パラメータ

<filter>	TX 測定の LPF
OFF	Filter なし
LPF50	50 Hz
LPF3K	3 kHz
LPF15K	15 kHz
LPF20K	20 kHz
初期値	OFF

詳細

TX 測定の変調方式に従って復調した AF 信号に対して Low Pass Filter による帯域制限を行います。

AM, FM, PM 共通の設定となります。

使用例

TX 測定の Low Pass Filter を 3 kHz に設定する。

FM:LPF LPF3K

[:SENSe]:AM|FM|PM:LPFilter?

Low Pass Filter Query

機能

TX 測定で使用する Low Pass Filter を読み出します。

クエリ

[:SENSe]:AM|FM|PM:LPFilter?

レスポンス

<filter>

パラメータ

<filter>	TX 測定の LPF
OFF	Filter なし
LPF300	300 Hz
LPF3K	3 kHz
LPF15K	15 kHz
LPF20K	20 kHz

使用例

TX 測定の Low Pass Filter 設定値を読み出す。

FM:LPF?

> LPF3K

[[:SENSe]:FM:DEEMphasis OFF|US750|US500|US75|US50|US25

De-Emphasis Filter

機能

TX 測定で使用する De-Emphasis Filter を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:FM:DEEMphasis <filter>
```

パラメータ

<filter>	TX 測定の De-Emphasis Filter
OFF	Filter なし
US750	750 μ s の De-Emphasis Filter
US500	500 μ s の De-Emphasis Filter
US75	75 μ s の De-Emphasis Filter
US50	50 μ s の De-Emphasis Filter
US25	25 μ s の De-Emphasis Filter
初期値	OFF

詳細

TX 測定の FM 変調測定時に、復調した AF 信号に対して De-Emphasis を行います。FM 変調測定時に設定が有効になります。

使用例

De-Emphasis Filter を 750 μ s に設定する。

```
FM:DEEM US750
```


[:SENSe]:FM:DEEMphasis?

De-Emphasis Filter Query

機能

TX 測定で使用する De-Emphasis Filter の設定を読み出します。

クエリ

[:SENSe]:FM:DEEMphasis?

レスポンス

<filter>

パラメータ

<filter>	TX 測定の De-Emphasis Filter
OFF	Filter なし
US750	750 μ s の De-Emphasis Filter
US500	500 μ s の De-Emphasis Filter
US75	75 μ s の De-Emphasis Filter
US50	50 μ s の De-Emphasis Filter
US25	25 μ s の De-Emphasis Filter

使用例

De-Emphasis Filter の設定値を読み出す。

FM:DEEM?

> US750

[[:SENSe]:FILTer:WEIGhting OFF|CCITt|CMESsage|468|ARM|AWEight

Band Pass Filter

機能

TX 測定で使用する Band Pass Filter を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:FILTer:WEIGhting <filter>
```

パラメータ

<filter>	TX 測定の Band Pass Filter
OFF	Filter なし
CCITt	CCITT (ITU-T P.53/O.41)
CMESsage	C-Message
468	CCIR 468
ARM	CCIR ARM
AWEight	A weighting
初期値	OFF

詳細

TX 測定の変調方式に従って復調した AF 信号に対して Band Pass Filter を適用します。

使用例

TX 測定の Band Pass Filter を CCITT に設定する。
FILt:WEIG CCIT

[[:SENSe]:FILTer:WEIGhting?

Band Pass Filter Query

機能

TX 測定で使用する Band Pass Filter の設定を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:FILTer:WEIGhting?

レスポンス

<filter>

パラメータ

<filter>	TX 測定の Band Pass Filter
OFF	Filter なし
CCIT	CCITT (ITU-T P.53/O.41)
CMES	C-Message
468	CCIR 468
ARM	CCIR ARM
AWE	A weighting

使用例

TX 測定の Band Pass Filter を読み出す。

FILT:WEIG?

> CCIT

[[:SENSe]:AM|FM|PM:AVERage[:STATe] ON|OFF|1|0

Average Mode

機能

TX 測定の平均化を設定します。

コマンド

[[:SENSe]:AM|FM|PM:AVERage[:STATe] <switch>

パラメータ

<switch>	平均化の On/Off
ON 1	測定時に平均化を実行する
OFF 0	測定時に平均化を実行しない
初期値	OFF

詳細

測定値の平均化を実行すると、測定時に **Average Count** の設定値の回数分の測定を実行し、測定結果は測定回数分の平均値となります。
AM, FM, PM 共通の設定となります。

使用例

TX 測定の測定時の平均化を設定する。
FM:AVER ON

[[:SENSe]:AM|FM|PM:AVERage[:STATe]?

Average Mode Query

機能

TX 測定の平均化の設定を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AM|FM|PM:AVERage[:STATe]?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	平均化の On/Off
1	測定時に平均化を実行する
0	測定時に平均化を実行しない

使用例

TX 測定の測定時の平均化設定を読み出す。
FM:AVER?
> 1

[:SENSe]:AM|FM|PM:AVERage:COUNT <integer>

Average Count

機能

TX 測定の平均化回数を設定します。

コマンド

[:SENSe]:AM|FM|PM:AVERage:COUNT <integer>

パラメータ

<integer>	平均化回数
範囲	2～9999
分解能	1
初期値	10

詳細

TX 測定の平均化を設定している場合に、平均化を行う測定回数を設定します。
AM, FM, PM 共通の設定となります。

使用例

平均回数を 10 に設定する。
FM:AVER:COUN 10

[:SENSe]:AM|FM|PM:AVERage:COUNT?

Average Count Query

機能

TX 測定の平均化回数を読み出します。

クエリ

[:SENSe]:AM|FM|PM:AVERage:COUNT?

レスポンス

<integer>

パラメータ

<integer>	平均化回数
範囲	2～9999
分解能	1

使用例

平均回数を読み出す。
FM:AVER:COUN?
> 10

:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer:MODE DELTa|NORMal|OFF

Maker Mode

機能

TX 測定 of Time Domain グラフマーカの表示・非表示を設定します。

コマンド

```
:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer:MODE <mode>
```

パラメータ

<mode>	マーカモード
DELtA	デルタマーカの表示
NORMal	ノーマルマーカの表示
OFF	マーカの非表示
初期値	OFF

詳細

AM, FM, PM 共通の設定となります。
Time Domain グラフ表示が On のときに設定できます。

使用例

Marker1 のマーカモードをノーマルマーカの表示に設定する。
CALC:FM:MARK:MODE NORM

:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer:MODE?

Maker Mode Query

機能

TX 測定 of Time Domain グラフマーカの表示・非表示の設定を読み出します。

クエリ

```
:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer:MODE?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	マーカモード
DELT	デルタマーカの表示
NORM	ノーマルマーカの表示
OFF	マーカの非表示

使用例

Marker1 のマーカモードの設定を読み出す。
CALC:FM:MARK:MODE?
> NORM

:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer[1]|2:X <time>

Marker X Axis Position

機能

TX 測定の Time Domain グラフのマーカ位置を時間単位で設定します。

コマンド

:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer[1]|2:X <time>

パラメータ

<time>	マーカ位置
範囲	0～TX 測定の Time Range 設定値
分解能	0.0078125 ms
サフィックスコード	なし
初期値	0 ms

詳細

AM, FM, PM 共通の設定となります。
Marker1 の場合, Time Domain グラフマーカを表示しているときに有効です。
Marker2 の場合, Time Domain グラフのデルタマーカを表示しているときに有効です。

使用例

Marker1 のグラフのマーカ位置を 1 ms に設定する。
CALC:FM:MARK:X 1

:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer[1]|2:X?

Marker X Axis Position Query

機能

TX 測定の Time Domain グラフのマーカ位置を読み出します。

クエリ

:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer[1]|2:X?

レスポンス

<time>,<level>

パラメータ

<time>	マーカ位置
範囲	0～TX 測定の Time Range 設定値
分解能	0.0078125 ms
サフィックスコード	なし
	秒単位の値を返します。
<level>	レベル
サフィックスコード	なし
	AM: %単位の値を返します。
	FM: Hz 単位の値を返します。
	PM: Radian 単位の値を返します。

使用例

グラフのマーカ位置を読み出す。

CALC:FM:MARK:X?

> 0.0010000,-10

:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer:FREQuency:MODE DELTa|NORMal|OFF

Maker Mode of Frequency Domain Graph

機能

TX 測定の Frequency Domain グラフマーカの表示・非表示を設定します。

コマンド**:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer:FREQuency:MODE <mode>****パラメータ**

<mode>	マーカモード
DELta	デルタマーカの表示
NORMal	ノーマルマーカの表示
OFF	マーカの非表示
初期値	OFF

詳細

AM, FM, PM 共通の設定となります。

Frequency Domain グラフ表示が On のときに設定できます。

使用例

Frequency Domain グラフのマーカをノーマルマーカ表示に設定する。

CALC:FM:MARK:FREQ:MODE NORM

:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer:FREQuency:MODE?

Maker Mode of Frequency Domain Graph Query

機能

TX 測定の Frequency Domain グラフマーカの状態を読み出します。

クエリ**:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer:FREQuency:MODE?****レスポンス**

<mode>

パラメータ

<mode>	マーカモード
DELT	デルタマーカの表示
NORM	ノーマルマーカの表示
OFF	マーカの非表示

使用例

Frequency Domain グラフのマーカモードの状態を読み出す。

CALC:FM:MARK:FREQ:MODE?

> NORM

:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer[1]|2:FREQuency:X <freq>

Maker X Axis Position of Frequency Domain Graph

機能

TX 測定の Frequency Domain グラフのマーカ位置を周波数単位で設定します。

コマンド

```
:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer[1]|2:FREQuency:X <freq>
```

パラメータ

<freq>	マーカ位置
範囲	X 軸の範囲と分解能に依存
分解能	Time Range 設定値 ≤ 20 ms の場合 15.625 Hz Time Range 設定値 > 20 ms の場合 3.90625 Hz
サフィックスコード	なし
初期値	15.625 Hz

詳細

AM, FM, PM 共通の設定となります。

Frequency Domain グラフマーカを表示しているときに設定できます。

使用例

グラフのマーカ位置を 100 Hz* に設定する。

*: ただし、実際の値は分解能で丸められます。

```
CALC:FM:MARK:FREQ:X 100
```

:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer[1]|2:FREQuency:X?

Maker X Axis Position of Frequency Domain Graph Query

機能

TX 測定の Frequency Domain グラフのマーカ位置を読み出します。

クエリ

:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer[1]|2:FREQuency:X?

レスポンス

<freq>,<level>

パラメータ

<freq>	マーカ位置
範囲	X 軸の範囲と分解能に依存
分解能	Time Range 設定値 ≤ 20 ms の場合 15.625 Hz Time Range 設定値 > 20 ms の場合 3.90625 Hz
サフィックスコード	なし Hz 単位の値を返します。
<level>	レベル
サフィックスコード	なし AM: %単位の値を返します。 FM: Hz 単位の値を返します。 PM: Radian 単位の値を返します。

使用例

グラフのマーカ位置を読み出す。
CALC:FM:MARK:FREQ:X?
> 109.375000,0.0031

:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer[1]|2:FREQuency:X:PEAK

Peak Search of Frequency Domain Graph

機能

TX 測定 of Frequency Domain グラフの Y 軸の最大レベルを検出し、マーカを最大レベルの位置に移動させます。

コマンド

```
:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer[1]|2:FREQuency:X:PEAK
```

詳細

Frequency Domain グラフマーカを表示しているときに設定できます。

使用例

Frequency Domain グラフの Y 軸の最大レベル位置にマーカを移動させる。
CALC:FM:MARK:FREQ:X:PEAK

:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer[1]|2:FREQuency:X:NEXTpeak

Next Peak Search of Frequency Domain Graph

機能

TX 測定 of Frequency Domain グラフで、現在のマーカ読み取り値の次にレベルが高い位置にマーカを移動させます。

コマンド

```
:CALCulate:AM|FM|PM:MARKer[1]|2:FREQuency:X:NEXTpeak
```

詳細

Frequency Domain グラフマーカを表示しているときに設定できます。

使用例

Frequency Domain グラフのマーカ 1 を、現在の読み取り値の次にレベルが高い位置にマーカを移動させる。
CALC:FM:MARK:FREQ:X:NEXT

:CALCulate:AM|FM|PM:RANGe[1]:X <time>

Graph Indication Range

機能

TX 測定のグラフの表示範囲を時間単位で設定します。

コマンド

:CALCulate:AM|FM|PM:RANGe[1]:X <time>

パラメータ

<time>	表示範囲
範囲	0～TX 測定の Time Range 設定値
分解能	0.1 ms
サフィックスコード	なし
初期値	ms

詳細

AM, FM, PM 共通の設定となります。
Time Domain グラフ表示が On のときに設定できます。

使用例

グラフの表示範囲を 1 ms に設定する。
CALC:FM:RANG:X 1

:CALCulate:AM|FM|PM:RANGe[1]:X?

Graph Indication Range Query

機能

TX 測定のグラフの表示範囲を読み出します。

クエリ

:CALCulate:AM|FM|PM:RANGe[1]:X?

レスポンス

<time>

パラメータ

<time>	表示範囲
範囲	0～TX 測定の Time Range 設定値
分解能	0.1 ms
サフィックスコード	なし
	ms 単位の値を返します。

使用例

グラフの表示範囲を読み出す。
CALC:FM:RANG:X?
> 4

[[:SENSe]:RF:POWer:REFeRence:STATe <switch>

RF Power Set Reference

機能

RF Power Set Reference の表示・非表示を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:RF:POWer:REFeRence:STATe <switch>
```

パラメータ

<switch>	RF Power の表示 On/Off
OFF 0	RF Power の表示 Off
ON 1	RF Power の表示 On
初期値	OFF

詳細

On の時の RF Power の測定値を保存し、以後は相対値を表示する。

使用例

RF Power の表示を On に設定する。
RF:POW:REF:STAT ON

[[:SENSe]:RF:POWer:REFeRence:STATe?

RF Power Set Reference Query

機能

RF Power Set Reference の表示・非表示の設定を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:RF:POWer:REFeRence:STATe?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	RF Power の表示 On/Off
0	RF Power の表示 Off
1	RF Power の表示 On

使用例

RF Power Set Reference の表示・非表示の設定を読み出す。
RF:POW:REF:STAT?
> 0

[[:SENSe]:RF:POWer:REFeRence?

Set Reference Query

機能

RF Power Set Reference が表示されているときの RF Power を保持した値を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:RF:POWer:REFeRence?
```

レスポンス

```
<level>
```

使用例

RF Power Set Reference が表示されているときの RF Power を保持した値を読み出す。

```
RF:POW:REF?
```

```
> -91.52
```

[[:SENSe]:FM:DCSQuelch:CODE:ANALysis INVerted|ON|NORMal|OFF|2|1|0

DCS Code Analysis

機能

DCS Code の解析の On/Off・極性を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:FM:DCSQuelch:CODE:ANALysis <switch>
```

パラメータ

<switch>	DCS Code の解析 On/Off・極性
OFF 0	DCS Code の解析 Off
ON NORMal 1	DCS Code の解析 On (極性 Normal)
INVerted 2	DCS Code の解析 On (極性 Inverted)
初期値	OFF

使用例

DCS Code の解析を ON に設定する。

```
FM:DCSQ:CODE:ANAL ON
```

[[:SENSe]:FM:DCSQuelch:CODE:ANALysis?

DCS Code Analysis Query

機能

DCS Code の解析の On/Off・極性を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:FM:DCSQuelch:CODE:ANALysis?
```

レスポンス

<switch>	DCS Code の解析の On/Off
0	DCS Code の解析 Off
1	DCS Code の解析 On (極性 Normal)
2	DCS Code の解析 On (極性 Inverted)

使用例

DCS Code の解析の On/Off を読み出す。

```
FM:DCSQ:CODE:ANAL?
```

```
> 1
```


[[:SENSe]:POWer[:RF]:RANGe:AUTO ONCE

Input Level Adjustment

機能

Input Level を信号にあわせて調整する。

コマンド

```
[[:SENSe]:POWer[:RF]:RANGe:AUTO ONCE
```

使用例

Input Level を信号にあわせて調整する。

```
POW:RANG:AUTO ONCE
```

[[:SENSe]:AF:LEVel:REFerence?

Set Reference Query

機能

AF Level Set Reference が表示されているときの AF Level を保持した値を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:AF:LEVel:REFerence?
```

レスポンス

```
<level>
```

詳細

AF Level Set Reference が ON の場合のみ有効です。

OFF の場合は無効値 (-999.0) を返します。

使用例

AF Level Set Reference が表示されているときの AF Level を保持した値を読み出す。

```
AF:LEV:REF?
```

```
> -5.00
```

[[:SENSe]:FREQuency:CORRection <switch>

RF Frequency Correction

機能

FM, Wide FM 測定時に, キャリア周波数偏差を AF 復調の DC オフセットとして出力するかを設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:FREQuency:CORRection <switch>
```

パラメータ

<switch>	RF Frequency Correction の On/Off
OFF 0	RF Frequency Correction を Off
ON 1	RF Frequency Correction を On
初期値	ON

詳細

On の時の AF Level の測定値を保存し, 以後は相対値を表示します。

使用例

RF Frequency Correction を On に設定する。
FREQ:CORR ON

[[:SENSe]:FREQuency:CORRection?

RF Frequency Correction Query

機能

RF Frequency Correction の設定を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:FREQuency:CORRection?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	RF Frequency Correction の On/Off
0	RF Frequency Correction Off
1	RF Frequency Correction On

使用例

RF Frequency Correction の設定を読み出す。
FREQ:CORR?
> 0

[:SENSe]:RF:POWer:REFeRence:LIMit <real>

Measurement RF Power Limit

機能

復調信号の測定結果を表示する RF 信号のレベル下限値を設定します。

コマンド

```
[ :SENSe ] :RF :POWer :REFeRence :LIMit <real>
```

パラメータ

<real>	RF 信号のレベル下限値
範囲	-60.0～30.0 dBm (プリアンプ Off 時) -80.0～10.0 dBm (プリアンプ On 時)
分解能	0.01 dBm
サフィックスコード	なし
初期値	-50.0 dBm

詳細

入力信号のレベルが設定値以下の場合に、復調信号の測定結果を非表示にします。

使用例

レベル下限値を-40 dBm に設定する。
RF:POW:REF:LIM -40

[:SENSe]:RF:POWer:REFeRence:LIMit?

Measurement RF Power Limit Query

機能

復調信号の測定結果を表示する RF 信号のレベル下限値を読み出します。

クエリ

```
[ :SENSe ] :RF :POWer :REFeRence :LIMit ?
```

レスポンス

<real>	RF 信号のレベル下限値
範囲	-60.0～30.0 dBm (プリアンプ Off 時) -80.0～10.0 dBm (プリアンプ On 時)
分解能	0.01 dBm
サフィックスコード	なし

使用例

レベル下限値を読み出す。
RF:POW:REF:LIM?
> -40.0

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion ON|OFF|1|0

Distortion Meter State

機能

Distortion メータの表示・非表示を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion <switch>
```

パラメータ

<switch>	メータの表示 On/Off
ON 1	メータの表示 On
OFF 0	メータの表示 Off
初期値	OFF

詳細

AM, FM, PM 共通の設定となります。

使用例

Distortion メータの表示を On に設定する。
DISP:FM:MET:DIST ON

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion?

Distortion Meter State Query

機能

Distortion のメータの状態を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	メータの表示 On/Off
1	メータの表示 On
0	メータの表示 Off

使用例

Distortion メータの状態を読み出す。
DISP:FM:MET:DIST?
> 1

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad ON|OFF|1|0

SINAD Meter State

機能

SINAD (Signal-to-Noise and Distortion Ratio) メータの表示・非表示を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad <switch>

パラメータ

<switch>	メータの表示 On/Off
ON 1	メータの表示 On
OFF 0	メータの表示 Off
初期値	OFF

詳細

AM, FM, PM 共通の設定となります。

使用例

SINAD メータの表示を On に設定する。
DISP:FM:MET:SIN ON

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad?

SINAD Meter State Query

機能

SINAD のメータの状態を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	メータの表示 On/Off
1	メータの表示 On
0	メータの表示 Off

使用例

SINAD メータの状態を読み出す。
DISP:FM:MET:SIN?
> 1

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD ON|OFF|1|0

THD Meter State

機能

THD (Total Harmonic Distortion) メータの表示・非表示を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD <switch>
```

パラメータ

<switch>	メータの表示 On/Off
ON 1	メータの表示 On
OFF 0	メータの表示 Off
初期値	OFF

詳細

AM, FM, PM 共通の設定となります。

使用例

THD メータの表示を On に設定する。
DISP:FM:MET:THD ON

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD?

THD Meter State Query

機能

THD のメータの状態を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	メータの表示 On/Off
1	メータの表示 On
0	メータの表示 Off

使用例

THD メータの状態を読み出す。
DISP:FM:MET:THD?
> 1

:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP ON|OFF|1|0

Deviation Meter State

機能

Deviation メータの表示・非表示を設定します。

コマンド**:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP <switch>****パラメータ**

<switch>	メータの表示 On/Off
ON 1	メータの表示 On
OFF 0	メータの表示 Off
初期値	ON

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

使用例

Deviation メータの表示を On に設定する。
DISP:FM:MET:DVPP ON

:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP?

Deviation Meter State Query

機能

Deviation のメータの状態を読み出します。

クエリ**:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP?****レスポンス**

<switch>

パラメータ

<switch>	メータの表示 On/Off
1	メータの表示 On
0	メータの表示 Off

使用例

Deviation メータの状態を読み出す。
DISP:FM:MET:DVPP?
 > 1

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:JUDGe ON|OFF|1|0

Distortion Deflection Judge

機能

Distortion の Deflection Judge の On/Off を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:JUDGe <switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
ON 1	On
OFF 0	Off
初期値	OFF

詳細

AM, FM, PM 共通の設定となります。

Distortion メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

Distortion の Deflection Judge を On に設定する。

```
DISP:FM:MET:DIST:JUDG ON
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:JUDGe?

Distortion Deflection Judge Query

機能

Distortion の Deflection Judge の On/Off を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:JUDGe?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
1	On
0	Off

使用例

Distortion の Deflection Judge の状態を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DIST:JUDG?
```

```
> 1
```


:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:JUDGe ON|OFF|1|0

SINAD Deflection Judge

機能

SINAD の Deflection Judge の On/Off を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:JUDGe <switch>

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
ON 1	On
OFF 0	Off
初期値	OFF

詳細

AM, FM, PM 共通の設定となります。

SINAD メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

SINAD の Deflection Judge を On に設定する。

DISP:FM:MET:SIN:JUDG ON

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:JUDGe?

SINAD Deflection Judge Query

機能

SINAD の Deflection Judge の On/Off を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:JUDGe?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
1	On
0	Off

使用例

SINAD の Deflection Judge の状態を読み出す。

DISP:FM:MET:SIN:JUDG?

> 1

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:JUDGe ON|OFF|1|0

THD Deflection Judge

機能

THD の Deflection Judge の On/Off を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:JUDGe <switch>

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
ON 1	On
OFF 0	Off
初期値	OFF

詳細

AM, FM, PM 共通の設定となります。

THD メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

THD の Deflection Judge を On に設定する。

DISP:FM:MET:THD:JUDG ON

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:JUDGe?

THD Deflection Judge Query

機能

THD の Deflection Judge の On/Off を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:JUDGe?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
1	On
0	Off

使用例

THD の Deflection Judge の状態を読み出す。

DISP:FM:MET:THD:JUDG?

> 1

:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe ON|OFF|1|0

Deviation Deflection Judge

機能

Deviation の Deflection Judge の On/Off を設定します。

コマンド**:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe <switch>****パラメータ**

<switch>	Deflection Judge の On/Off
ON 1	On
OFF 0	Off
初期値	OFF

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

Deviation メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

Deviation の Deflection Judge を On に設定する。

DISP:FM:MET:DVPP:JUDG ON

:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe?

Deviation Deflection Judge Query

機能

Deviation の Deflection Judge の On/Off を読み出します。

クエリ**:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe?****レスポンス**

<switch>

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
1	On
0	Off

使用例

Deviation の Deflection Judge の状態を読み出す。

DISP:FM:MET:DVPP:JUDG?

> 1

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFerence:DB

MINimum|CENTer|MAXimum

Reference of Distortion Meter (dB)

機能

Distortion メータの基準 (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFerence:DB <mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小
CENTer	中心 (初期値)
MAXimum	最大

詳細

Distortion メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

Distortion メータの基準を中心に設定する。

```
DISP:FM:MET:DIST:REF:DB CENT
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFerence:DB?

Reference of Distortion Meter (dB) Query

機能

Distortion メータの基準 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFerence:DB?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MIN	最小
CENT	中心
MAX	最大

使用例

Distortion メータの基準を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DIST:REF:DB?
```

```
> CENT
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFerence:PERCent MINimum|CENTer|MAXimum

Reference of Distortion Meter (%)

機能

Distortion メータの基準 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFerence:PERCent
<mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小 (初期値)
CENTer	中心
MAXimum	最大

詳細

Distortion メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

Distortion メータの基準を中心に設定する。
DISP:FM:MET:DIS:REF:PERC CENT

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFerence:PERCent?

Reference of Distortion Meter (%) Query

機能

Distortion メータの基準 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFerence:PERCent?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MIN	最小
CENT	中心
MAX	最大

使用例

Distortion メータの基準を読み出す。
DISP:FM:MET:DIS:REF:PERC?
> CENT

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:REFerence:DB

MINimum|CENTer|MAXimum

Reference of SINAD Meter (dB)

機能

SINAD メータの基準 (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:REFerence:DB <mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小 (初期値)
CENTer	中心
MAXimum	最大

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの基準を中心に設定する。

```
DISP:FM:MET:SIN:REF:DB CENT
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:REFerence:DB?

Reference of SINAD Meter (dB) Query

機能

SINAD メータの基準 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:REFerence:DB?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MIN	最小
CENT	中心
MAX	最大

使用例

SINAD メータの基準を読み出す。

```
DISP:FM:MET:SIN:REF:DB?
```

```
> CENT
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METER:SINad:REference:PERCent

MINimum|CENTer|MAXimum

Reference of SINAD Meter (%)

機能

SINAD メータの基準 (%単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METER:SINad:REference:PERCent <mode>

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小 (初期値)
CENTer	中心
MAXimum	最大

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの基準を中心に設定する。
 DISP:FM:MET:SIN:REF:PERC CENT

:DISPlay:AM|FM|PM:METER:SINad:REference:PERCent?

Reference of SINAD Meter (%) Query

機能

SINAD メータの基準 (%単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METER:SINad:REference:PERCent?

レスポンス

<mode>

パラメータ

<mode>	メータの基準
MIN	最小
CENT	中心
MAX	最大

使用例

SINAD メータの基準を読み出す。
 DISP:FM:MET:SIN:REF:PERC?
 > CENT

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:DB

MINimum|CENTer|MAXimum

Reference of THD Meter (dB)

機能

THD メータの基準 (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:DB <mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小
CENTer	中心 (初期値)
MAXimum	最大

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

THD メータの基準を中心に設定する。
DISP:FM:MET:THD:REF:DB CENT

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:DB?

Reference of THD Meter (dB) Query

機能

THD メータの基準 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:DB?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MIN	最小
CENT	中心
MAX	最大

使用例

THD メータの基準を読み出す。
DISP:FM:MET:THD:REF:DB?
> CENT

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:PERCent

MINimum|CENTer|MAXimum

Reference of THD Meter (%)

機能

THD メータの基準 (%単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:PERCent <mode>

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小 (初期値)
CENTer	中心
MAXimum	最大

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD メータの基準を中心に設定する。

DISP:FM:MET:THD:REF:PERC CENT

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:PERCent?

Reference of THD Meter (%) Query

機能

THD メータの基準 (%単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:PERCent?

レスポンス

<mode>

パラメータ

<mode>	メータの基準
MIN	最小
CENT	中心
MAX	最大

使用例

THD メータの基準を読み出す。

DISP:FM:MET:THD:REF:PERC?

> CENT

:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:HZ MINimum|CENTer|MAXimum

Reference of Deviation Meter (Hz)

機能

Deviation メータ (Hz 単位) の基準を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:HZ <mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小
CENTer	中心 (初期値)
MAXimum	最大

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

Deviation メータが On, かつ表示単位が Hz の場合に設定できます。

使用例

Deviation メータの基準を中心に設定する。

```
DISP:FM:MET:DVPP:REF:HZ CENT
```

:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:HZ?

Reference of Deviation Meter (Hz) Query

機能

Deviation メータ (Hz 単位) の基準を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:HZ?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MIN	最小
CENT	中心
MAX	最大

使用例

Deviation メータの基準を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DVPP:REF:HZ?
```

```
> CENT
```

:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP:REfErence:PERCent
MINimum|CENTer|MAXimum

Reference of Deviation Meter (%)

機能

Deviation メータ (%単位) の基準を設定します。

コマンド

:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP:REfErence:PERCent <mode>

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小
CENTer	中心 (初期値)
MAXimum	最大

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。
Deviation メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

Deviation メータの基準を中心に設定する。
DISP:FM:MET:DVPP:REF:PERC CENT

:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP:REfErence:PERCent?
Reference of Deviation Meter (%) Query

機能

Deviation メータ (%単位) の基準を読み出します。

クエリ

:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP:REfErence:PERCent?

レスポンス

<mode>

パラメータ

<mode>	メータの基準
MIN	最小
CENT	中心
MAX	最大

使用例

Deviation メータの基準を読み出す。
DISP:FM:MET:DVPP:REF:PERC?
> CENT

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFeRence:VALue:DB <ref_val>

Reference Value of Distortion Meter (dB)

機能

Distortion メータの基準値 (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFeRence:VALue:DB  
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	-100.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	-40.0 dB

詳細

Distortion メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

Distortion メータの基準値を 10 dB に設定する。
DISP:FM:MET:DIST:REF:VAL:DB 10

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFeRence:VALue:DB?

Reference Value of Distortion Meter (dB) Query

機能

Distortion メータの基準値 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFeRence:VALue:DB?
```

レスポンス

```
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	-100.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

Distortion メータの基準値を読み出す。
DISP:FM:MET:DIST:REF:VAL:DB?
> 10.0

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFeRence:VALue:PERCent

<ref_val>

Reference Value of Distortion Meter (%)

機能

Distortion メータの基準値 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFeRence:VALue:PERCent <ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%
初期値	0.00%

詳細

Distortion メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

Distortion メータの基準値を 10%に設定する。

```
DISP:FM:MET:DIST:REF:VAL:PERC 10
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFeRence:VALue:PERCent?

Reference Value of Distortion Meter (%) Query

機能

Distortion メータの基準値 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:REFeRence:VALue:PERCent?
```

レスポンス

```
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%

使用例

Distortion メータの基準値を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DIST:REF:VAL:PERC?
> 10.00
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:REFerence:VALue:DB <ref_val>

Reference Value of SINAD Meter (dB)

機能

SINAD メータの基準値 (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:REFerence:VALue:DB
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	-100.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	20.0 dB

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの基準値を 10 dB に設定する。

```
DISP:FM:MET:SIN:REF:VAL:DB 10
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:REFerence:VALue:DB?

Reference Value of SINAD Meter (dB) Query

機能

SINAD メータの基準値 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:REFerence:VALue:DB?
```

レスポンス

```
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	-100.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

SINAD メータの基準値を読み出す。

```
DISP:FM:MET:SIN:REF:VAL:DB?
> 10.0
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:REFeRence:VALue:PERCent <ref_val>

Reference Value of SINAD Meter (%)

機能

SINAD メータの基準値 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:REFeRence:VALue:PERCent
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%
初期値	0.00%

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの基準値を 10%に設定する。
 DISP:FM:MET:SIN:REF:VAL:PERC 10

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:REFeRence:VALue:PERCent?

Reference Value of SINAD Meter (%) Query

機能

SINAD メータの基準値 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:REFeRence:VALue:PERCent?
```

レスポンス

```
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%

使用例

SINAD メータの基準値を読み出す。
 DISP:FM:MET:SIN:REF:VAL:PERC?
 > 10.00

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:VALue:DB <ref_val>

Reference Value of THD Meter (dB)

機能

THD メータの基準値 (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:VALue:DB <ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	-100.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	-40.0 dB

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

THD メータの基準値を 10 dB に設定する。
DISP:FM:MET:THD:REF:VAL:DB 10

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:VALue:DB?

Reference Value of THD Meter (dB) Query

機能

THD メータの基準値 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:VALue:DB?
```

レスポンス

```
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	-100.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

THD メータの基準値を読み出す。
DISP:FM:MET:THD:REF:VAL:DB?
> 10.0

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:VALue:PERCent <ref_val>

Reference Value of THD Meter (%)

機能

THD メータの基準値 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:VALue:PERCent
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%
初期値	0.00%

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD メータの基準値を 10% に設定する。
 DISP:FM:MET:THD:REF:VAL:PERC 10

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:VALue:PERCent?

Reference Value of THD Meter (%) Query

機能

THD メータの基準値 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:REFeRence:VALue:PERCent?
```

レスポンス

```
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%

使用例

THD メータの基準値を読み出す。
 DISP:FM:MET:THD:REF:VAL:PERC?
 > 10.00

:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP:REFeRence:VALue:HZ <ref val>

Reference Value of Deviation Meter (Hz)

機能

Deviation メータの基準値 (Hz 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP:REFeRence:VALue:HZ <ref val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0～1000 kHz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	HZ 省略した場合は HZ として扱います。
初期値	3.5 kHz

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

Deviation メータが On, かつ表示単位が HZ の場合に設定できます。

使用例

Deviation メータの基準値を 5 kHz に設定する。

```
DISP:FM:MET:DVPP:REF:VAL:HZ 5000
```

:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP:REFeRence:VALue:HZ?

Reference Value of Deviation Meter (Hz) Query

機能

Deviation メータの基準値 (Hz 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP:REFeRence:VALue:HZ?
```

レスポンス

```
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0～1000 kHz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	なし Hz 単位の値を返します。

使用例

Deviation メータの基準値を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DVPP:REF:VAL:HZ?  
> 5000.0
```

:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:VALue:PERCent <ref val>

Reference Value of Deviation Meter (%)

機能

Deviation メータの基準値 (%単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:VALue:PERCent <ref val>****パラメータ**

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%
初期値	0.00%

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

Deviation メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

Deviation メータの基準値を 10%に設定する。

DISP:FM:MET:DVPP:REF:VAL:PERC 10

:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:VALue:PERCent?

Reference Value of Deviation Meter (%) Query

機能

Deviation メータの基準値 (%単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:FM:METer:DVPP:REFeRence:VALue:PERCent?****レスポンス**

<ref_val>

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%

使用例

Deviation メータの基準値を読み出す。

DISP:FM:MET:DVPP:REF:VAL:PERC?

> 10.00

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:RNG1:DB <val>

Range1 of Distortion Meter (dB)

機能

Distortion メータの Range1 (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:RNG1:DB <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB 省略した場合は dB として扱います。
初期値	20.0 dB

詳細

Distortion メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

Distortion メータの Range1 を 10 dB に設定する。

```
DISP:FM:MET:DIST:RNG1:DB 10
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:RNG1:DB?

Range1 of Distortion Meter (dB) Query

機能

Distortion メータの Range1 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:RNG1:DB?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし dB 単位の値を返します。

使用例

Distortion メータの Range1 を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DIST:RNG1:DB?
```

```
> 10.0
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:RNG1:PERCent <val>

Range1 of Distortion Meter (%)

機能

Distortion メータの Range1 (%単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:RNG1:PERCent <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	2.0%

詳細

Distortion メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

Distortion メータの Range1 を 10%に設定する。
 DISP:FM:MET:DIST:RNG1:PERC 10

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:RNG1:PERCent?

Range1 of Distortion Meter (%) Query

機能

Distortion メータの Range1 (%単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:RNG1:PERCent?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

Distortion メータの Range1 を読み出す。
 DISP:FM:MET:DIST:RNG1:PERC?
 > 10.0

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:RNG2:DB <val>

Range2 of Distortion Meter (dB)

機能

Distortion メータの Range2 (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:RNG2:DB <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	40.0 dB

詳細

Distortion メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

Distortion メータの Range2 を 10 dB に設定する。

```
DISP:FM:MET:DIST:RNG2:DB 10
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:RNG2:DB?

Range2 of Distortion Meter (dB) Query

機能

Distortion メータの Range2 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:RNG2:DB?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

Distortion メータの Range2 を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DIST:RNG2:DB?
```

```
> 10.0
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISortion:RNG2:PERCent <val>

Range2 of Distortion Meter (%)

機能

Distortion メータの Range2 (%単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISortion:RNG2:PERCent <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	10.0%

詳細

Distortion メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

Distortion メータの Range2 を 10%に設定する。
 DISP:FM:MET:DIST:RNG2:PERC 10

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISortion:RNG2:PERCent?

Range2 of Distortion Meter (%) Query

機能

Distortion メータの Range2 (%単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISortion:RNG2:PERCent?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

Distortion メータの Range2 を読み出す。
 DISP:FM:MET:DIST:RNG1:PERC?
 > 10.0

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:JUDGe:RANGe:DB <val>

Pass Range of Distortion Meter (dB)

機能

Distortion メータの Pass Range (dB 単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:JUDGe:RANGe:DB <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB 省略した場合は dB として扱います。
初期値	2.0 dB

詳細

Distortion メータが On, かつ Distortion メータの Deflection View が On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

Distortion メータの Pass Range を 10 dB に設定する。

DISP:FM:MET:DIST:JUDG:RANG:DB 10

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:JUDGe:RANGe:DB?

Pass Range of Distortion Meter (dB) Query

機能

Distortion メータの Pass Range (dB 単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:JUDGe:RANGe:DB?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし dB 単位の値を返します。

使用例

Distortion メータの Pass Range を読み出す。

DISP:FM:MET:DIST:JUDG:RANG:DB?

> 10.0

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:JUDGe:RANGe:PERCent <val>

Pass Range of Distortion Meter (%)

機能

Distortion メータの Pass Range (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:JUDGe:RANGe:PERCent
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	1.0%

詳細

Distortion メータが On, かつ Distortion メータの Deflection View が On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

Distortion メータの Pass Range を 10%に設定する。

```
DISP:FM:MET:DIST:JUDG:RANG:PERC 10
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:JUDGe:RANGe:PERCent?

Pass Range of Distortion Meter (%) Query

機能

Distortion メータの Pass Range (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:JUDGe:RANGe:PERCent?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

Distortion メータの Pass Range を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DIST:JUDG:RANG:PERC?
> 10.0
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG1:DB <val>

Range1 of SINAD Meter (dB)

機能

SINAD メータの Range1 (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG1:DB <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	8.0 dB

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Range1 を 10 dB に設定する。

```
DISP:FM:MET:SIN:RNG1:DB 10
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG1:DB?

Range1 of SINAD Meter (dB) Query

機能

SINAD メータの Range1 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG1:DB?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

SINAD メータの Range1 を読み出す。

```
DISP:FM:MET:SIN:RNG1:DB?
```

```
> 10.0
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG1:PERCent <val>

Range1 of SINAD Meter (%)

機能

SINAD メータの Range1 (%単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG1:PERCent <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	2000.0%

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Range1 を 10%に設定する。
 DISP:FM:MET:SIN:RNG1:PERC 10

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG1:PERCent?

Range1 of SINAD Meter (%) Query

機能

SINAD メータの Range1 (%単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG1:PERCent?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.00～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

SINAD メータの Range1 を読み出す。
 DISP:FM:MET:SIN:RNG1:PERC?
 > 10.0

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG2:DB <val>

Range2 of SINAD Meter (dB)

機能

SINAD メータの Range2 (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG2:DB <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	20.0 dB

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Range2 を 10 dB に設定する。

```
DISP:FM:MET:SIN:RNG2:DB 10
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG2:DB?

Range2 of SINAD Meter (dB) Query

機能

SINAD メータの Range2 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG2:DB?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

SINAD メータの Range2 を読み出す。

```
DISP:FM:MET:SIN:RNG2:DB?
```

```
> 10.0
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG2:PERCent <val>

Range2 of SINAD Meter (%)

機能

SINAD メータの Range2 (%単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG2:PERCent <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	10000.0%

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Range2 を 10%に設定する。
 DISP:FM:MET:SIN:RNG2:PERC 10

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG2:PERCent?

Range2 of SINAD Meter (%) Query

機能

SINAD メータの Range2 (%単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:RNG2:PERCent?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.00～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

SINAD メータの Range2 を読み出す。
 DISP:FM:MET:SIN:RNG1:PERC?
 > 10.0

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:JUDGe:RANGe:DB <val>

Pass Range of SINAD Meter (dB)

機能

SINAD メータの Pass Range (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:JUDGe:RANGe:DB <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB 省略した場合は dB として扱います。
初期値	2.0 dB

詳細

SINAD メータが On, かつ SINAD メータの Deflection View が On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Pass Range を 10 dB に設定する。

```
DISP:FM:MET:SIN:JUDG:RANG:DB 10
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:JUDGe:RANGe:DB?

Pass Range of SINAD Meter (dB) Query

機能

SINAD メータの Pass Range (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:JUDGe:RANGe:DB?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし dB 単位の値を返します。

使用例

SINAD メータの Pass Range を読み出す。

```
DISP:FM:MET:SIN:JUDG:RANG:DB?  
> 10.0
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:JUDGe:RANGe:PERCent <val>

Pass Range of SINAD Meter (%)

機能

SINAD メータの Pass Range (%単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:JUDGe:RANGe:PERCent <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	2000.0%

詳細

SINAD メータが On, かつ SINAD メータの Deflection View が On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Pass Range を 10% に設定する。
 DISP:FM:MET:SIN:JUDG:RANG:PERC 10

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:JUDGe:RANGe:PERCent?

Pass Range of SINAD Meter (%) Query

機能

SINAD メータの Pass Range (%単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:JUDGe:RANGe:PERCent?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.00～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

SINAD メータの Pass Range を読み出す。
 DISP:FM:MET:SIN:JUDG:RANG:PERC?
 > 10.0

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG1:DB <val>

Range1 of THD Meter (dB)

機能

THD メータの Range1 (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG1:DB <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	20.0 dB

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Range1 を 10 dB に設定する。

```
DISP:FM:MET:THD:RNG1:DB 10
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG1:DB?

Range1 of THD Meter (dB) Query

機能

THD メータの Range1 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG1:DB?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

THD メータの Range1 を読み出す。

```
DISP:FM:MET:THD:RNG1:DB?
```

```
> 10.0
```


:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG1:PERCent <val>

Range1 of THD Meter (%)

機能

THD メータの Range1 (%単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG1:PERCent <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	2.0%

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Range1 を 10%に設定する。
DISP:FM:MET:THD:RNG1:PERC 10

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG1:PERCent?

Range1 of THD Meter (%) Query

機能

THD メータの Range1 (%単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG1:PERCent?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

THD メータの Range1 を読み出す。
DISP:FM:MET:THD:RNG1:PERC?
> 10.0

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG2:DB <val>

Range2 of THD Meter (dB)

機能

THD メータの Range2 (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG2:DB <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	40.0 dB

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Range2 を 10 dB に設定する。

```
DISP:FM:MET:THD:RNG2:DB 10
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG2:DB?

Range2 of THD Meter (dB) Query

機能

THD メータの Range2 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG2:DB?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

THD メータの Range2 を読み出す。

```
DISP:FM:MET:THD:RNG2:DB?
```

```
> 10.0
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG2:PERCent <val>

Range2 of THD Meter (%)

機能

THD メータの Range2 (%単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG2:PERCent <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	10.0%

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Range2 を 10%に設定する。
 DISP:FM:MET:THD:RNG2:PERC 10

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG2:PERCent?

Range2 of THD Meter (%) Query

機能

THD メータの Range2 (%単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:RNG2:PERCent?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

THD メータの Range2 を読み出す。
 DISP:FM:MET:THD:RNG1:PERC?
 > 10.0

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:JUDGe:RANGe:DB <val>

Pass Range of THD Meter (dB)

機能

THD メータの Pass Range (dB 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:JUDGe:RANGe:DB <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB 省略した場合は dB として扱います。
初期値	2.0 dB

詳細

THD メータが On, かつ THD メータの Deflection View が On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Pass Range を 10 dB に設定する。

```
DISP:FM:MET:THD:JUDG:RANG:DB 10
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:JUDGe:RANGe:DB?

Pass Range of THD Meter (dB) Query

機能

THD メータの Pass Range (dB 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:JUDGe:RANGe:DB?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし dB 単位の値を返します。

使用例

THD メータの Pass Range を読み出す。

```
DISP:FM:MET:THD:JUDG:RANG:DB?  
> 10.0
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:JUDGe:RANGe:PERCent <val>

Pass Range of THD Meter (%)

機能

THD メータの Pass Range (%単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:JUDGe:RANGe:PERCent <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	2.0%

詳細

THD メータが On, かつ THD メータの Deflection View が On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Pass Range を 10%に設定する。
 DISP:FM:MET:THD:JUDG:RANG:PERC 10

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:JUDGe:RANGe:PERCent?

Pass Range of THD Meter (%) Query

機能

THD メータの Pass Range (%単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:JUDGe:RANGe:PERCent?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

THD メータの Pass Range を読み出す。
 DISP:FM:MET:THD:JUDG:RANG:PERC?
 > 10.0

:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG1:HZ <val>

Range1 of Deviation Meter (Hz)

機能

Deviation メータの Range1 (Hz 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG1:HZ <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0～1000 kHz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	HZ
	省略した場合は Hz として扱います。
初期値	200 Hz

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

Deviation メータが On, かつ表示単位が Hz の場合に設定できます。

使用例

Deviation メータの Range1 を 500 Hz に設定する。

```
DISP:FM:MET:DVPP:RNG1:HZ 500
```

:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG1:HZ?

Range1 of Deviation Meter (Hz) Query

機能

Deviation メータの Range1 (Hz 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG1:HZ?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0～1000 kHz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

Deviation メータの Range1 を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DVPP:RNG1:HZ?
```

```
> 500.0
```

:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG1:PERCent <val>

Range1 of Deviation Meter (%)

機能

Deviation メータの Range1 (%単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG1:PERCent <val>****パラメータ**

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	2.0%

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

Deviation メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

Deviation メータの Range1 を 10%に設定する。

DISP:FM:MET:DVPP:RNG1:PERC 10

:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG1:PERCent?

Range1 of Deviation Meter (%) Query

機能

Deviation メータの Range1 (%単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG1:PERCent?****レスポンス**

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

Deviation メータの Range1 を読み出す。

DISP:FM:MET:DVPP:RNG1:PERC?

> 10.0

:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP:RNG2:HZ <val>

Range2 of Deviation Meter (Hz)

機能

Deviation メータの Range2 (Hz 単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP:RNG2:HZ <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0～1000 kHz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	Hz
	省略した場合は Hz として扱います。
初期値	1000 Hz

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

Deviation メータが On, かつ表示単位が Hz の場合に設定できます。

使用例

Deviation メータの Range2 を 500 Hz に設定する。

```
DISP:FM:MET:DVPP:RNG2:HZ 500
```

:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP:RNG2:HZ?

Range2 of Deviation Meter (Hz) Query

機能

Deviation メータの Range2 (Hz 単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:FM:MEtEr:DVPP:RNG2:HZ?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0～1000 kHz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

Deviation メータの Range2 を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DVPP:RNG2:HZ?  
> 500.0
```


:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG2:PERCent <val>

Range2 of Deviation Meter (%)

機能

Deviation メータの Range2 (%単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG2:PERCent <val>****パラメータ**

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	10.0%

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

Deviation メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

Deviation メータの Range2 を 10%に設定する。

DISP:FM:MET:DVPP:RNG2:PERC 10

:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG2:PERCent?

Range2 of Deviation Meter (%) Query

機能

Deviation メータの Range2 (%単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:FM:METer:DVPP:RNG2:PERCent?****レスポンス**

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

Deviation メータの Range2 を読み出す。

DISP:FM:MET:DVPP:RNG1:PERC?

> 10.0

:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe:RANGe:HZ <val>

Pass Range of Deviation Meter (Hz)

機能

Deviation メータの Pass Range (Hz 単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe:RANGe:HZ <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0～1000 kHz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	Hz
	省略した場合は Hz として扱います。
初期値	100 Hz

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

Deviation メータの Deflection View が On, かつ表示単位が Hz の場合に設定できます。

使用例

Deviation メータの Pass Range を 500 Hz に設定する。

DISP:FM:MET:DVPP:JUDG:RANG:HZ 500

:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe:RANGe:HZ?

Pass Range of Deviation Meter (Hz) Query

機能

Deviation メータの Pass Range (Hz 単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe:RANGe:HZ?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0～1000 kHz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

Deviation メータの Pass Range を読み出す。

DISP:FM:MET:DVPP:JUDG:RANG:HZ?

> 500.0

:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe:RANGe:PERCent <val>

Pass Range of Deviation Meter (%)

機能

Deviation メータの Pass Range (%単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe:RANGe:PERCent <val>****パラメータ**

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	1.0%

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

Deviation メータの Deflection View が On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

Deviation メータの Pass Range を 10%に設定する。

DISP:FM:MET:DVPP:JUDG:RANG:PERC 10

:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe:RANGe:PERCent?

Pass Range of Deviation Meter (%) Query

機能

Deviation メータの Pass Range (%単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:FM:METer:DVPP:JUDGe:RANGe:PERCent?****レスポンス**

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

Deviation メータの Pass Range を読み出す。

DISP:FM:MET:DVPP:JUDG:RANG:PERC?
> 10.0

:DISPlay:FM:METer:DVPP:REference <val>

Deviation Reference of Deviation Meter

機能

Deviation メータの Deviation Reference を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:FM:METer:DVPP:REference <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	10～1000 kHz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	Hz
	省略した場合は Hz として扱います。
初期値	3500 Hz

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

Deviation メータの Deflection View が On, かつ表示単位が%のときに設定できます。

使用例

Deviation メータの Deviation Reference を 1500 Hz に設定する。

```
DISP:FM:MET:DVPP:REF 1500
```

:DISPlay:FM:METer:DVPP:REference?

Deviation Reference of Deviation Meter Query

機能

Deviation メータの Deviation Reference を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:FM:METer:DVPP:REference?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0～1000 kHz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

```
Deviation メータの Deviation Reference を読み出す。  
DISP:FM:MET:DVPP:REF?  
> 1500
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:DEFLection ON|OFF|1|0

Deflection View of Distortion Meter

機能

Distortion メータの Deflection View の表示・非表示を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:DEFLection <switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
ON 1	Deflection View の表示 On
OFF 0	Deflection View の表示 Off
初期値	OFF

詳細

Distortion メータが On の場合に設定できます。

使用例

Distortion メータの Deflection View の表示を On に設定する。

```
DISP:FM:MET:DIST:DEFL ON
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:DEFLection?

Deflection View of Distortion Meter Query

機能

Distortion メータの Deflection View の状態を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:DEFLection?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
1	Deflection View の表示 On
0	Deflection View の表示 Off

使用例

Distortion メータの Deflection View の状態を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DIST:DEFL?
```

```
> 1
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:DEFLection ON|OFF|1|0

Deflection View of SINAD Meter

機能

SINAD メータの Deflection View の表示・非表示を設定します。

コマンド**:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:DEFLection <switch>****パラメータ**

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
ON 1	Deflection View の表示 On
OFF 0	Deflection View の表示 Off
初期値	OFF

詳細

SINAD メータが On の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Deflection View の表示を On に設定する。

DISP:FM:MET:SIN:DEFL ON

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:DEFLection?

Deflection View of SINAD Meter Query

機能

SINAD メータの Deflection View の状態を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:DEFLection?****レスポンス**

<switch>

パラメータ

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
1	Deflection View の表示 On
0	Deflection View の表示 Off

使用例

SINAD メータの Deflection View の状態を読み出す。

DISP:FM:MET:SIN:DEFL?

> 1

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:DEFLection ON|OFF|1|0

Deflection View of THD Meter

機能

THD メータの Deflection View の表示・非表示を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:DEFLection <switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
ON 1	Deflection View の表示 On
OFF 0	Deflection View の表示 Off
初期値	OFF

詳細

THD メータが On の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Deflection View の表示を On に設定する。

```
DISP:FM:MET:THD:DEFL ON
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:DEFLection?

Deflection View of THD Meter Query

機能

THD メータの Deflection View の状態を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:DEFLection?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
1	Deflection View の表示 On
0	Deflection View の表示 Off

使用例

THD メータの Deflection View の状態を読み出す。

```
DISP:FM:MET:THD:DEFL?
```

```
> 1
```


:DISPlay:FM:METer:DVPP:DEFLection ON|OFF|1|0

Deflection View of Deviation Meter

機能

Deviation メータの Deflection View の表示・非表示を設定します。

コマンド**:DISPlay:FM:METer:DVPP:DEFLection <switch>****パラメータ**

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
ON 1	Deflection View の表示 On
OFF 0	Deflection View の表示 Off
初期値	OFF

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

Deviation メータが On の場合に設定できます。

使用例

Deviation メータの Deflection View の表示を On に設定する。

DISP:FM:MET:DVPP:DEFL ON**:DISPlay:FM:METer:DVPP:DEFLection?**

Deflection View of Deviation Meter Query

機能

Deviation メータの Deflection View の状態を読み出します。

クエリ**:DISPlay:FM:METer:DVPP:DEFLection?****レスポンス****<switch>****パラメータ**

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
1	Deflection View の表示 On
0	Deflection View の表示 Off

使用例

Deviation メータの Deflection View の状態を読み出す。

DISP:FM:MET:DVPP:DEFL?**> 1**

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:DEFLection:COUNt <count>

Deflection Count of Distortion Meter

機能

Distortion メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:DEFLection:COUNt
<count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし
初期値	10

詳細

Distortion メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

Distortion メータの Deflection Count を 5 に設定する。

```
DISP:FM:MET:DIST:DEFL:COUN 5
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:DEFLection:COUNt?

Deflection Count of Distortion Meter Query

機能

Distortion メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:DEFLection:COUNt?
```

レスポンス

```
<count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし

使用例

Distortion メータの Deflection Count を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DIST:DEFL:COUN?
> 5
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:DEFLection:COUNT <count>

Deflection Count of SINAD Meter

機能

SINAD メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:DEFLection:COUNT <count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし
初期値	10

詳細

SINAD メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Deflection Count を 5 に設定する。

```
DISP:FM:MET:SIN:DEFL:COUN 5
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:DEFLection:COUNT?

Deflection Count of SINAD Meter Query

機能

SINAD メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:DEFLection:COUNT?
```

レスポンス

```
<count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし

使用例

SINAD メータの Deflection Count を読み出す。

```
DISP:FM:MET:SIN:DEFL:COUN?
```

```
> 5
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:DEFLection:COUNt <count>

Deflection Count of THD Meter

機能

THD メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:DEFLection:COUNt <count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし
初期値	10

詳細

THD メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Deflection Count を 5 に設定する。

```
DISP:FM:MET:THD:DEFL:COUN 5
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:DEFLection:COUNt?

Deflection Count of THD Meter Query

機能

THD メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:DEFLection:COUNt?
```

レスポンス

```
<count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし

使用例

THD メータの Deflection Count を読み出す。

```
DISP:FM:MET:THD:DEFL:COUN?
```

```
> 5
```

:DISPlay:FM:MEter:DVPP:DEFLection:COUNT <count>

Deflection Count of Deviation Meter

機能

Deviation メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を設定します。

コマンド

:DISPlay:FM:MEter:DVPP:DEFLection:COUNT <count>

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし
初期値	10

詳細

FM 変調の場合のみ設定できます。

Deviation メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

Deviation メータの Deflection Count を 5 に設定する。

DISP:FM:MET:DVPP:DEFL:COUN 5

:DISPlay:FM:MEter:DVPP:DEFLection:COUNT?

Deflection Count of Deviation Meter Query

機能

Deviation メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:FM:MEter:DVPP:DEFLection:COUNT?

レスポンス

<count>

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし

使用例

Deviation メータの Deflection Count を読み出す。
DISP:FM:MET:DVPP:DEFL:COUN?
> 5

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:UNIT DB|PERCent

Unit of Distortion Meter

機能

Distortion メータの表示単位を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:UNIT <unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
DB	dB (初期値)
PERCent	%

使用例

Distortion メータの表示単位を dB に設定する。

```
DISP:FM:MET:DIST:UNIT DB
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:UNIT?

Unit of Distortion Meter Query

機能

Distortion メータの表示単位を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:DISTortion:UNIT?
```

レスポンス

```
<unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
DB	dB
PERC	%

使用例

Distortion メータの表示単位を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DIST:UNIT?
```

```
> DB
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:UNIT DB|PERCent

Unit of SINAD Meter

機能

SINAD メータの表示単位を設定します。

コマンド`:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:UNIT <unit>`**パラメータ**

<code><unit></code>	単位
DB	dB (初期値)
PERCent	%

使用例

SINAD メータの表示単位を dB に設定する。

`DISP:FM:MET:SIN:UNIT DB`**:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:UNIT?**

Unit of SINAD Meter Query

機能

SINAD メータの表示単位を読み出します。

クエリ`:DISPlay:AM|FM|PM:METer:SINad:UNIT?`**レスポンス**`<unit>`**パラメータ**

<code><unit></code>	単位
DB	dB
PERCent	%

使用例

SINAD メータの表示単位を読み出す。

`DISP:FM:MET:SIN:UNIT?``> DB`

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD: UNIT DB|PERCent

Unit of THD Meter

機能

THD メータの表示単位を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:UNIT <unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
DB	dB
PERCent	% (初期値)

使用例

THD メータの表示単位を dB に設定する。

```
DISP:FM:MET:THD:UNIT DB
```

:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:UNIT?

Unit of THD Meter Query

機能

THD メータの表示単位を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AM|FM|PM:METer:THD:UNIT?
```

レスポンス

```
<unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
DB	dB
PERC	%

使用例

THD メータの表示単位を読み出す。

```
DISP:FM:MET:THD:UNIT?
```

```
> DB
```


:DISPlay:FM:METer:DVPP:UNIT HZ|PERCent

Unit of Deviation Meter

機能

Deviation メータの表示単位を設定します。

コマンド**:DISPlay:FM:METer:DVPP:UNIT <unit>****パラメータ**

<unit>	単位
HZ	Hz (初期値)
PERCent	%

使用例

Deviation メータの表示単位を Hz に設定する。

DISP:FM:MET:DVPP:UNIT HZ**:DISPlay:FM:METer:DVPP:UNIT?**

Unit of Deviation Meter Query

機能

Deviation メータの表示単位を読み出します。

クエリ**:DISPlay:FM:METer:DVPP:UNIT?****レスポンス**

<unit>

パラメータ

<unit>	単位
HZ	Hz
PERCent	%

使用例

Deviation メータの表示単位を読み出す。

DISP:FM:MET:DVPP:UNIT?

> HZ

:DISPlay:FM:METer:DVPP:TYPE RMS|PLUS|MINus|P2P

Type of Deviation Meter

機能

Deviation メータに表示する Deviation の種類を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:FM:METer:DVPP:TYPE <type>
```

パラメータ

<type>	Deviation の種類
RMS	RMS
PLUS	Peak+
MINus	Peak-
P2P	(Pk-Pk)/2 (初期値)

使用例

Deviation メータに表示する Deviation を Peak+に設定する。

```
DISP:FM:MET:DVPP:TYPE PLUS
```

:DISPlay:FM:METer:DVPP:TYPE?

Type of Deviation Meter Query

機能

Deviation メータに表示している Deviation の種類を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:FM:METer:DVPP:TYPE?
```

レスポンス

```
<type>
```

パラメータ

<type>	Deviation の種類
RMS	RMS
PLUS	Peak+
MINus	Peak-
P2P	(Pk-Pk)/2

使用例

Deviation メータの表示種類を読み出す。

```
DISP:FM:MET:DVPP:TYPE?
```

```
> PLUS
```

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRtion:DISToRtion:FREQuency:SIGNal PEAK|MANual|GENerator

Signal Frequency of Distortion

機能

Distortion 測定での基準信号の周波数を選択します。

コマンド

```
[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRtion:DISToRtion:FREQuency:SIGNal  
<mode>
```

パラメータ

<mode>	基準周波数
PEAK	ピーク周波数 (初期値)
MANual	Manual Frequency で設定した周波数
GENerator	Tone1 Frequency で設定した周波数

使用例

Distortion 測定の基準周波数をピーク周波数に設定する。

```
FM:DIST:DIST:FREQ:SIGN PEAK
```

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRtion:DISToRtion:FREQuency:SIGNal?

Signal Frequency of Distortion Query

機能

Distortion 測定での基準信号の周波数を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRtion:DISToRtion:FREQuency:SIGNal  
?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	基準周波数
PEAK	ピーク周波数
MAN	Manual Frequency で設定した周波数
GEN	Tone1 Frequency で設定した周波数

使用例

Distortion 測定の基準周波数を読み出す。

```
FM:DIST:DIST:FREQ:SIGN?
```

```
> PEAK
```

`[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:SIGNal:MANual <freq>`

Manual Frequency of Distortion

機能

Distortion 測定の Manual Frequency を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:SIGNal  
:MANual <freq>
```

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	Hz 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	1 kHz

詳細

本コマンドは Signal Frequency を Manual に設定した場合に有効です。

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$$

使用例

Distortion 測定の Manual Frequency を 5 kHz に設定する。

```
FM:DIST:DIST:FREQ:SIGN:MAN 5000
```

[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToTtion:DISToTtion:FREQuency:SIGNal:MANual?

Manual Frequency of Distortion Query

機能

Distortion 測定の Manual Frequency を読み出します。

クエリ

```
[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToTtion:DISToTtion:FREQuency:SIGNal:MANual?
```

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

Distortion 測定の Manual Frequency を読み出す。

```
FM:DIS:DIS:FREQ:SIGN:MAN?
```

```
> 5000
```

`[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:STARt <freq>`

Start Frequency of Distortion

機能

Distortion 測定の Start Frequency を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:STARt  
<freq>
```

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10 Hz ～Distortion 測定の Manual Frequency 設定値
分解能	1 Hz
サフィックスコード	Hz 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	10 Hz

詳細

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$$

使用例

Distortion 測定の Start Frequency を 5 kHz に設定する。

```
FM:DIST:DIST:FREQ:STAR 5000
```

[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToTtion:DISToTtion:FREQUency:STARt?

Start Frequency of Distortion Query

機能

Distortion 測定の Start Frequency を読み出します。

クエリ

[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToTtion:DISToTtion:FREQUency:STARt?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10 Hz ～Distortion 測定の Manual Frequency 設定値
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし Hz 単位の値を返します。

使用例

Distortion 測定の Start Frequency を読み出す。

FM:DISToTtion:DISToTtion:FREQ:STARt?

> 5000

`[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:STOP <freq>`

Stop Frequency of Distortion

機能

Distortion 測定の Stop Frequency を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISTortion:DISTortion:FREQuency:STOP  
<freq>
```

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	Distortion 測定の Manual Frequency 設定値 ～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	Hz 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	60000 Hz

詳細

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$$

使用例

Distortion 測定の Stop Frequency を 5 kHz に設定する。

```
FM:DIST:DIST:FREQ:STOP 5000
```


[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToTtion:DISToTtion:FREQuency:STOP?

Stop Frequency of Distortion Query

機能

Distortion 測定の Stop Frequency を読み出します。

クエリ`[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToTtion:DISToTtion:FREQuency:STOP?`**レスポンス**`<freq>`**パラメータ**

<code><freq></code>	周波数
範囲	Distortion 測定の Manual Frequency 設定値 ～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

Distortion 測定の Stop Frequency を読み出す。

```
FM:DIST:DIST:FREQ:STOP?  
> 5000
```

[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal

PEAK|MANual|GENerator

Signal Frequency of SINAD

機能

SINAD 測定での基準信号の周波数を選択します。

コマンド

```
[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal
<mode>
```

パラメータ

<mode>	基準周波数
PEAK	ピーク周波数（初期値）
MANual	Manual Frequency で設定した周波数
GENerator	Tone1 Frequency で設定した周波数

使用例

SINAD 測定の基準周波数をピーク周波数に設定する。

```
FM:DISToRTion:SIN:FREQ:SIGN PEAK
```

[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal?

Signal Frequency of SINAD Query

機能

SINAD 測定での基準信号の周波数を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	基準周波数
PEAK	ピーク周波数（初期値）
MAN	Manual Frequency で設定した周波数
GEN	Tone1 Frequency で設定した周波数

使用例

SINAD 測定の基準周波数を読み出す。

```
FM:DISToRTion:SIN:FREQ:SIGN?
```

```
> PEAK
```

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal:MANual <freq>
Manual Frequency of SINAD

機能

SINAD 測定 の Manual Frequency を設定します。

コマンド

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal:MANual <freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	HZ
	省略した場合は HZ として扱います。
初期値	1 kHz

詳細

本コマンドは Signal Frequency を Manual に設定した場合に有効です。
Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。
 $Start\ Frequency \leq Manual\ Frequency \leq Stop\ Frequency$

使用例

SINAD 測定 の Manual Frequency を 5 kHz に設定する。
FM:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal:MANual 5000

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal:MANual?

Manual Frequency of SINAD Query

機能

SINAD 測定の Manual Frequency を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal:MANual?
```

レスポンス

```
<freq>
```

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

```
SINAD 測定の Manual Frequency を読み出す。  
FM:DISToRTion:SIN:FREQ:SIGN:MAN?  
> 5000
```

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:STARt <freq>

Start Frequency of SINAD

機能

SINAD 測定の Start Frequency を設定します。

コマンド

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:STARt <freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10 Hz ～SINAD 測定 (TX) の Manual Frequency 設定値
分解能	1 Hz
サフィックスコード	HZ 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	10 Hz

詳細

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$$

使用例

SINAD 測定の Start Frequency を 5 kHz に設定する。
FM:DIS:TIN:FREQ:STAR 5000

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:STARt?

Start Frequency of SINAD Query

機能

SINAD 測定 of Start Frequency を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:STARt?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10 Hz ～SINAD 測定 (TX) の Manual Frequency 設定値
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし Hz 単位の値を返します。

使用例

SINAD 測定 of Start Frequency を読み出す。

FM:DISToRTion:SIN:FREQ:STAR?

> 5000

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:STOP <freq>

Stop Frequency of SINAD

機能

SINAD 測定の Stop Frequency を設定します。

コマンド

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:STOP <freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	SINAD 測定 (TX) の Manual Frequency 設定値 ～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	HZ 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	60000 Hz

詳細

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$$

使用例

SINAD 測定の Stop Frequency を 5 kHz に設定する。
FM:DIS:T:SIN:FREQ:STOP 5000

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:STOP?

Stop Frequency of SINAD Query

機能

SINAD 測定 of Stop Frequency を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:SINad:FREQuency:STOP?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	SINAD 測定 (TX) の Manual Frequency 設定値 ～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

SINAD 測定 of Stop Frequency を読み出す。
FM:DISToRTion:SIN:FREQ:STOP?
> 5000

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRtion:THD:FREQuency:SIGNal
PEAK|MANual|GENerator

Signal Frequency of THD

機能

THD 測定での基準信号の周波数を選択します。

コマンド

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRtion:THD:FREQuency:SIGNal <mode>

パラメータ

<mode>	基準周波数
PEAK	ピーク周波数 (初期値)
MANual	Manual Frequency で設定した周波数
GENerator	Tone1 Frequency で設定した周波数

使用例

THD 測定の基準周波数をピーク周波数に設定する。
FM:DIS:THD:FREQ:SIGN PEAK

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRtion:THD:FREQuency:SIGNal?

Signal Frequency of THD Query

機能

THD 測定での基準信号の周波数を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRtion:THD:FREQuency:SIGNal?

レスポンス

<mode>

パラメータ

<mode>	基準周波数
PEAK	ピーク周波数 (初期値)
MAN	Manual Frequency で設定した周波数
GEN	Tone1 Frequency で設定した周波数

使用例

THD 測定の周波数の基準周波数を読み出す。
FM:DIS:THD:FREQ:SIGN?
> PEAK

`[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISTortion:THD:FREQuency:SIGNal:MANual <freq>`

Manual Frequency of THD

機能

THD 測定の Manual Frequency を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISTortion:THD:FREQuency:SIGNal:MANual  
<freq>
```

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	Hz 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	1 kHz

詳細

本コマンドは **Signal Frequency** を **Manual** に設定した場合に有効です。
Manual Frequency, **Start Frequency**, **Stop Frequency** は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$$

使用例

THD 測定の Manual Frequency を 5 kHz に設定する。
`FM:DIST:THD:FREQ:SIGN:MAN 5000`

[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:THD:FREQuency:SIGNal:MANual?

Manual Frequency of THD Query

機能

THD 測定の Manual Frequency を読み出します。

クエリ

[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:THD:FREQuency:SIGNal:MANual?
?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

THD 測定の Manual Frequency を読み出す。

FM:DISToRTion:THD:FREQ:SIGN:MAN?

> 5000

`[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISTortion:THD:FREQuency:STARt <freq>`

Start Frequency of THD

機能

THD 測定の Start Frequency を設定します。

コマンド

`[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISTortion:THD:FREQuency:STARt <freq>`

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10 Hz ～THD 測定 (TX) の Manual Frequency 設定値
分解能	1 Hz
サフィックスコード	Hz 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	10 Hz

詳細

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$

使用例

THD 測定の Start Frequency を 5 kHz に設定する。

`FM:DIST:THD:FREQ:STAR 5000`

[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:THD:FREQuency:STARt?

Start Frequency of THD Query

機能

THD 測定の Start Frequency を読み出します。

クエリ

[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:THD:FREQuency:STARt?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10 Hz ～THD 測定(TX)の Manual Frequency 設定値
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

THD 測定の Start Frequency を読み出す。

FM:DISToRTion:THD:FREQ:STAR?

> 5000

`[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISTortion:THD:FREQuency:STOP <freq>`

Stop Frequency of THD

機能

THD 測定の Stop Frequency を設定します。

コマンド

`[[:SENSe]:AM|FM|PM:DISTortion:THD:FREQuency:STOP <freq>`

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	THD 測定 (TX) の Manual Frequency 設定値 ～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	Hz 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	60000 Hz

詳細

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$

使用例

THD 測定の Stop Frequency を 5 kHz に設定する。

`FM:DIST:THD:FREQ:STOP 5000`

[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:THD:FREQuency:STOP?

Stop Frequency of THD Query

機能

THD 測定の Stop Frequency を読み出します。

クエリ

[:SENSe]:AM|FM|PM:DISToRTion:THD:FREQuency:STOP?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	THD 測定 (TX) の Manual Frequency 設定値 ～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

THD 測定の Stop Frequency を読み出す。

FM:DISToRTion:THD:FREQ:STOP?

> 5000

[[:SENSe]:SPEaker[:STATe] <switch>

Demodulation Monitor

機能

復調モニタの Output の On/Off を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:SPEaker[:STATe] <switch>
```

パラメータ

<switch>	復調モニタの出力の On/Off
ON 1	復調モニタの出力 On
OFF 0	復調モニタの出力 Off
初期値	OFF

詳細

USB Audio 機器が接続されているときに有効です。

使用例

復調モニタの出力を ON に設定する。

```
SPE ON
```

[[:SENSe]:SPEaker[:STATe]?]

Demodulation Monitor Query

機能

復調モニタの出力の On/Off を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:SPEaker[:STATe]?]
```

レスポンス

<switch>	復調モニタの出力の On/Off
1	復調モニタの出力 On
0	復調モニタの出力 Off

使用例

復調モニタの出力の On/Off を読み出す。

```
SPE?
```

```
> 1
```


[[:SENSe]:SPNHeadphone[:STATe] ON|OFF|1|0

Speaker/Headphone Output

機能
スピーカまたはヘッドフォンへの出力の On/Off を設定します。

コマンド
`[[:SENSe]:SPNHeadphone[:STATe] <switch>`

パラメータ	<switch>	出力の On/Off
	ON 1	On
	OFF 0	Off
	初期値	OFF

詳細
本コマンドは MS2830A-018/118 搭載時のみ有効です。
FM 変調の場合のみ有効です。

使用例
スピーカまたはヘッドフォンへの出力を ON に設定する。
SPNH ON

[[:SENSe]:SPNHeadphone[:STATe]?

Speaker/Headphone Output Query

機能
スピーカまたはヘッドフォンへの出力の On/Off を読み出します。

クエリ
`[[:SENSe]:SPNHeadphone[:STATe]?`

レスポンス	<switch>	出力の On/Off
	1	On
	0	Off

使用例
スピーカまたはヘッドフォンへの出力の On/Off を読み出す。
SPNH?
> 1

[[:SENSe]:SPEaker:VOLume <vol>

Demodulation Monitor Volume

機能

復調モニタの音量を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:SPEaker:VOLume <vol>
```

パラメータ

<vol>	復調モニタの音量
範囲	0～100
分解能	1
サフィックスコード	なし
初期値	50

詳細

USB Audio 機器, スピーカまたはヘッドフォンが接続されているときに有効です。
MS2830A-018/118 が未搭載の場合, MS2840A の場合, 本コマンドは復調モニタが **On** のときに有効です。

使用例

復調モニタの音量を設定する。
SPE:VOL 100

[[:SENSe]:SPEaker:VOLume?

Demodulation Monitor Volume Query

機能

復調モニタの音量を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:SPEaker:VOLume?
```

レスポンス

<vol>	復調モニタの音量
範囲	0～100
分解能	1
サフィックスコード	なし

使用例

復調モニタの音量を読み出す。
SPE:VOL?
> 100

:INITiate:FM

Initiate FM

機能

TX 測定の変調方式を FM 変調に切り替えて、シングル測定を開始します。

コマンド

```
:INITiate:FM
```

使用例

TX 測定の変調方式を FM 変調に切り替えて測定を開始する
INIT:FM

:INITiate:WFM

Initiate Wide FM

機能

TX 測定の変調方式を FM 変調 (Wide FM 測定) に切り替えて、シングル測定を開始します。

コマンド

```
:INITiate:FM
```

使用例

TX 測定の変調方式を FM 変調(Wide FM 測定)に切り替えて測定を開始する
INIT:WFM

:INITiate:AM

Initiate AM

機能

TX 測定の変調方式を AM 変調に切り替えて、シングル測定を開始します。

コマンド

```
:INITiate:AM
```

使用例

TX 測定の変調方式を AM 変調に切り替えて測定を開始する。
INIT:AM

:INITiate:PM

Initiate ϕ M

機能

TX 測定の変調方式を ϕ M 変調に切り替えて、シングル測定を開始します。

コマンド

```
:INITiate:PM
```

使用例

TX 測定の変調方式を ϕ M 変調に切り替えて測定を開始する。

```
INIT:PM
```

2.4.3 オーディオジェネレータ機能

TX 測定において、本器から AF 信号を出力する場合のデバイスメッセージを示します。

本項のデバイスメッセージは、MS2830A-018/118 搭載時のみ有効です。

表 2.4.3-1 オーディオジェネレータ機能に関するデバイスメッセージ

パラメータ	デバイスメッセージ
AF Output Type	:AF:OUTPut[1]:TYPE BALance UNBalance
	:AF:OUTPut[1]:TYPE?
AF Output Impedance	:AF:OUTPut[1]:IMPedance 50 100 600
	:AF:OUTPut[1]:IMPedance?
AF Output Impedance Reference	:AF:SOURce[1]:REFerence:IMPedance <impedance>
	:AF:SOURce[1]:REFerence:IMPedance?
AF Output Level Unit	:AF:SOURce[1]:LEVel:UNIT MV V DBM
	:AF:SOURce[1]:LEVel:UNIT?
AF Output Waveform	:AF:OUTPut[1]:WAVEform TONes DCS NOISe DTMF
	:AF:OUTPut[1]:WAVEform?
AF Output Tone1/Tone2/Tone3	:AF:SOURce[1]:TONE [1] 2 3[:STATe] ON OFF 1 0
	:AF:SOURce[1]:TONE [1] 2 3[:STATe]?
AF Output Tone1/Tone2/Tone3 Frequency	:AF:SOURce[1]:TONE [1] 2 3:FREQuency <freq>
	:AF:SOURce[1]:TONE [1] 2 3:FREQuency?
AF Output Tone1/Tone2/Tone3 Level	:AF:SOURce[1]:TONE [1] 2 3:LEVel <level>
	:AF:SOURce[1]:TONE [1] 2 3:LEVel?
AF Output DCS	:AF:SOURce[1]:DCSQuelch[:STATe] ON OFF 1 0
	:AF:SOURce[1]:DCSQuelch[:STATe]?
AF Output DCS Code	:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:CODE <code>
	:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:CODE?
AF Output DCS Polarity	:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:POLarity NORMal Inverted 0 1
	:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:POLarity?
AF Output DCS Level	:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:LEVel <level>
	:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:LEVel?

表 2.4.3-1 オーディオジェネレータ機能に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
AF Output Noise Signal Type	:AF:SOURce[1]:NOISe:TYPE 1K 1_25k NOISe
	:AF:SOURce[1]:NOISe:TYPE?
AF Output Noise Filter	:AF:SOURce[1]:NOISe:FILTer ON OFF 1 0
	:AF:SOURce[1]:NOISe:FILTer?
AF Output Noise Level	:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel <level>
	:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel?
AF Output Noise Level Offset State	:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel:OFFSet ON OFF 1 0
	:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel:OFFSet?
AF Output Noise State	:AF:SOURce[1]:NOISe[:STATe] ON OFF 1 0
	:AF:SOURce[1]:NOISe[:STATe]?
AF Output Noise Level Offset	:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel:OFFSet:DB <level>
	:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel:OFFSet:DB?
AF Output DTMF Code	:AF:SOURce[1]:DTMF:CODE 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 A B C D
	:AF:SOURce[1]:DTMF:CODE?
AF Output DTMF Level	:AF:SOURce[1]:DTMF:LEVel <level>
	:AF:SOURce[1]:DTMF:LEVel?
AF Output DTMF Length	:AF:SOURce[1]:DTMF:LENGth <length>
	:AF:SOURce[1]:DTMF:LENGth?
AF Output DTMF Send Once	:AF:SOURce[1]:DTMF:PUSH
Switch Application with Audio Generator	:SWITCh:APPLication
Back to AMA	:BACK:AMA

:AF:OUTPut[1]:TYPE BALance|UNBalance

AF Output Type

機能

AF Output の Type を切り替えます。

コマンド

:AF:OUTPut[1]:TYPE <type>

パラメータ

<type>	AF Output の Type
BALance	AF Output をバランス出力にする
UNBalance	AF Output をアンバランス出力にする
初期値	UNBalance

使用例

AF Output をバランス出力に切り替える。
AF:OUTP:TYPE BAL

:AF:OUTPut[1]:TYPE?

AF Output Type Query

機能

AF Output の Type を読み出します。

クエリ

:AF:OUTPut[1]:TYPE?

レスポンス

<type>

パラメータ

<type>	AF Output の Type
BAL	バランス出力
UNB	アンバランス出力

使用例

AF Output の状態を読み出す。
AF:OUTP:TYPE?
> BAL

:AF:OUTPut[1]:IMPedance 50|100|600

AF Output Impedance

機能

AF Output のインピーダンスを設定します。

コマンド

```
:AF:OUTPut[1]:IMPedance <mode>
```

パラメータ

<mode>	AF Output のインピーダンス
50	50 Ω (AF Output がアンバランス出力の場合)
100	100 Ω (AF Output がバランス出力の場合)
600	600 Ω
初期値	600

使用例

AF Output のインピーダンスを 600 Ω に設定する。
AF:OUTP:IMP 600

:AF:OUTPut[1]:IMPedance?

AF Output Impedance Query

機能

AF Output のインピーダンスを読み出します。

クエリ

```
:AF:OUTPut[1]:IMPedance?
```

レスポンス

<mode>

パラメータ

<mode>	AF Output のインピーダンス
50	50 Ω
100	100 Ω
600	600 Ω

使用例

AF Output のインピーダンスを読み出す。
AF:OUTP:IMP?
> 600

:AF:SOURce[1]:REFErence:IMPedance <impedance>

AF Output Impedance Reference

機能

電力換算時に使用する参照インピーダンス値を設定します。

コマンド**:AF:SOURce[1]:REFErence:IMPedance <impedance>****パラメータ**

<impedance>	AF Output の参照インピーダンス
範囲	0.01～10000000000.00 Ω
分解能	0.01 Ω
サフィックスコード	なし
初期値	600 Ω

使用例

AF Output の参照インピーダンスを 100 Ω に設定する。

AF:SOUR:REF:IMP 100

:AF:SOURce[1]:REFErence:IMPedance?

AF Output Impedance Reference Query

機能

電力換算時に使用する参照インピーダンス値を読み出します。

クエリ**:AF:SOURce[1]:REFErence:IMPedance?****レスポンス**

<impedance>

パラメータ

<impedance>	AF Output の参照インピーダンス
範囲	0.01～10000000000.00 Ω
分解能	0.01 Ω
サフィックスコード	なし
	Ω 単位で値を返します。

使用例

AF Output の参照インピーダンスを読み出す。

AF:SOUR:REF:IMP?

> 100.00

:AF:SOURce[1]:LEVel:UNIT MV|V|DBM

AF Output Level Unit

機能

AF 信号出力レベルの単位を設定します。

コマンド

```
:AF:SOURce[1]:LEVel:UNIT <unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
MV	mV (初期値)
V	V
DBM	dBm

使用例

AF 信号出力レベルの単位を dBm に設定する。

```
AF:SOUR:LEV:UNIT DBM
```

:AF:SOURce[1]:LEVel:UNIT?

AF Output Level Unit Query

機能

AF 信号出力レベルの単位を読み出します。

クエリ

```
:AF:SOURce[1]:LEVel:UNIT?
```

レスポンス

```
<unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
MV	mV
V	V
DBM	dBm

使用例

AF 信号出力レベルの単位を読み出す。

```
AF:SOUR:LEV:UNIT?
```

```
> DBM
```

:AF:OUTPut[1]:WAVeform TONes|DCS|NOISe|DTMF

AF Output Waveform

機能

出力する AF 信号のモードを設定します。

コマンド

:AF:OUTPut[1]:WAVeform <mode>

パラメータ

<mode>	信号のモード
TONes	Tone 信号 (初期値)
DCS	Tone 信号 + DCS (Digital Code Squelch) 信号
NOISe	Tone 信号 + Noise (擬似音声) 信号
DTMF	DTMF (Dual Tone Multiple Frequency) 信号

使用例

出力する AF 信号を DCS に設定する。
AF:OUTP:WAV DCS

:AF:OUTPut[1]:WAVeform?

AF Output Waveform Query

機能

出力する AF 信号のモードを読み出します。

クエリ

:AF:OUTPut[1]:WAVeform?

レスポンス

<mode>

パラメータ

<mode>	信号のモード
TON	Tone 信号 (初期値)
DCS	Tone 信号 + DCS (Digital Code Squelch) 信号
NOIS	Noise (擬似音声) 信号
DTMF	DTMF (Dual Tone Multiple Frequency) 信号

使用例

出力する AF 信号を読み出す。
AF:OUTP:WAV?
> DCS

:AF:SOURce[1]:TONE [1]|2|3[:STATe] ON|OFF|1|0

AF Output Tone1/Tone2/Tone3

機能

Tone1, Tone2 または Tone3 の On/Off を設定します。

コマンド

```
:AF:SOURce[1]:TONE[1]|2|3[:STATe] <switch>
```

パラメータ

<switch>	Tone 信号の On/Off
OFF 0	Tone 信号を Off にする (初期値)
ON 1	Tone 信号を On にする

詳細

Tone1 は AF 信号のモードが TONes または DCS の場合に設定できます。
Tone2 と Tone3 は, AF 信号のモードが TONes の場合のみ設定できます。

使用例

Tone2 を ON に設定する。
AF:SOUR:TONE2 ON

:AF:SOURce[1]:TONE [1]|2|3[:STATe]?

AF Output Tone1/Tone2/Tone3 Query

機能

Tone1, Tone2 または Tone3 の On/Off を読み出します。

クエリ

```
:AF:SOURce[1]:TONE [1]|2|3[:STATe]?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	Tone 信号の On/Off
0	Tone 信号 Off
1	Tone 信号 On

使用例

Tone2 の状態を読み出す。
AF:SOUR:TONE2?
> 1

:AF:SOURce[1]:TONE [1]|2|3:FREQuency <freq>

AF Output Tone1/Tone2/Tone3 Frequency

機能

Tone1, Tone2 または Tone3 の Tone 周波数を設定します。

コマンド

:AF:SOURce[1]:TONE [1]|2|3:FREQuency <freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10.0～50000.0 Hz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	Hz, KHz
	省略した場合は Hz として扱います。
初期値	Tone1: 1000.0 Hz
	Tone2: 67.0 Hz
	Tone3: 88.0 Hz

詳細

Tone1 は AF 信号のモードが TONes または DCS の場合に設定できます。
Tone2 と Tone3 は, AF 信号のモードが TONes の場合のみ設定できます。

使用例

Tone2 の Tone 周波数を 800 Hz に設定する。
AF:SOUR:TONE2:FREQ 800

:AF:SOURce[1]:TONE [1]|2|3:FREQuency?

AF Output Tone1/Tone2/Tone3 Frequency Query

機能

Tone1, Tone2 または Tone3 の Tone 周波数を読み出します。

クエリ

```
:AF:SOURce[1]:TONE [1]|2|3:FREQuency?
```

レスポンス

```
<freq>
```

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10.0～50000.0 Hz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位で値を返します。

使用例

```
Tone2 の Tone 周波数を読み出す。  
AF:SOUR:TONE2:FREQ?  
> 800.0
```

:AF:SOURce[1]:TONE [1]|2|3:LEVel <level>

AF Output Tone1/Tone2/Tone3 Level

機能

Tone1, Tone2 または Tone3 の Tone レベルを設定します。

コマンド

:AF:SOURce[1]:TONE [1]|2|3:LEVel <level>

パラメータ

<level>	Tone レベル
範囲	AF Output がバランス出力の場合: 0.001~12.4 Vrms AF Output がアンバランス出力の場合: 0.001~6.2 Vrms
分解能	0.01 mV
サフィックスコード	MVRMS, VRMS, DBM 省略した場合は mV として扱います。
初期値	1 mV

詳細

Tone1 は AF 信号のモードが TONes または DCS の場合に設定できます。
Tone2 と Tone3 は, AF 信号のモードが TONes の場合のみ設定できます。

使用例

Tone2 の Tone レベルを 0.1 V に設定する。
AF:SOUR:TONE2:LEV 100

:AF:SOURce[1]:TONE [1]|2|3:LEVel?

AF Output Tone1/Tone2/Tone3 Level Query

機能

Tone1, Tone2 または Tone3 の Tone レベルを読み出します。

クエリ

```
:AF:SOURce[1]:TONE [1]|2|3:LEVel?
```

レスポンス

```
<level>
```

パラメータ

<level>	Tone レベル
範囲	AF Output がバランス出力の場合: 0.001~12.4 Vrms AF Output がアンバランス出力の場合: 0.001~6.2 Vrms
分解能	0.01 mV
サフィックスコード	なし

使用例

Tone2 の Tone レベルを読み出す。

```
AF:SOUR:TONE2:LEV?
```

```
> 100.00000
```


:AF:SOURce[1]:DCSQuelch[:STATe] ON|OFF|1|0

AF Output DCS

機能

DCS 信号出力の On/Off を設定します。

コマンド

:AF:SOURce[1]:DCSQuelch[:STATe] <switch>

パラメータ

<switch>	DCS 信号の On/Off
OFF 0	DCS 信号を Off にする (初期値)
ON 1	DCS 信号を On にする

詳細

AF 信号のモードが DCS の場合のみ設定できます。

使用例

DCS 信号を ON に設定する。

AF:SOUR:DCSQ ON

:AF:SOURce[1]:DCSQuelch[:STATe]?

AF Output DCS Query

機能

DCS 信号出力の On/Off を読み出します。

クエリ

:AF:SOURce[1]:DCSQuelch[:STATe]?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	DCS 信号の On/Off
0	DCS 信号 Off
1	DCS 信号 On

使用例

DCS 信号の状態を読み出す。

AF:SOUR:DCSQ?

> 1

:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:CODE <code>

AF Output DCS Code

機能

DCS コードを設定します。

コマンド

```
:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:CODE <code>
```

パラメータ

<code>	DCS コード
範囲	0～777 (8 進数 3 桁)
分解能	1
サフィックスコード	なし
初期値	023

詳細

DCS コード設定に従って生成した 23 bit の DCS パターンの繰り返し信号を出力します。

AF 信号のモードが DCS の場合のみ設定できます。

使用例

DCS コードを 026 に設定する。
AF:SOUR:DCSQ:CODE 026

:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:CODE?

AF Output DCS Code Query

機能

DCS コードを読み出します。

クエリ

```
:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:CODE?
```

レスポンス

```
<code>
```

パラメータ

<code>	DCS コード
範囲	0～777 (8 進数 3 桁)
分解能	1
サフィックスコード	なし

使用例

DCS コード設定値を読み出す。
AF:SOUR:DCSQ:CODE?
> 026

:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:POLarity NORMal|Inverted|0|1

AF Output DCS Polarity

機能

DCS の極性を設定します。

コマンド

:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:POLarity <switch>

パラメータ

<switch>	極性
NORMal 0	極性を反転しない (初期値)
INVerted 1	極性を反転する

詳細

AF 信号のモードが DCS の場合のみ設定できます。

使用例

DCS の極性を反転させる。
AF:SOUR:DCSQ:POL INV

:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:POLarity?

AF Output DCS Polarity Query

機能

DCS の極性の設定値を読み出します。

クエリ

:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:POLarity?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	極性
0	極性を反転しない。
1	極性を反転する。

使用例

DCS の極性の設定値を読み出す。
AF:SOUR:DCSQ:POL?
> 1

:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:LEVel <level>

AF Output DCS Level

機能

DCS のレベルを設定します。

コマンド

:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:LEVel <level>

パラメータ

<level>	DCS レベル
範囲	AF Output がバランス出力の場合: 0.001~7 Vp AF Output がアンバランス出力の場合: 0.001~3.5 Vp
分解能	0.01 mV
サフィックスコード	VP, MVP 省略した場合は mVp として扱います。
初期値	1 mV

詳細

AF 信号のモードが DCS の場合のみ設定できます。

使用例

DCS レベルを 100 mVp に設定する。
AF:SOUR:DCSQ:LEV 100

:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:LEVel?

AF Output DCS Level Query

機能

DCS のレベルを読み出します。

クエリ

:AF:SOURce[1]:DCSQuelch:LEVel?

レスポンス

<level>

パラメータ

<level>	DCS レベル
範囲	AF Output がバランス出力の場合: 0.001~7 Vp AF Output がアンバランス出力の場合: 0.001~3.5 Vp
分解能	0.01 mV
サフィックスコード	なし

使用例

DCS レベルを読み出す。
AF:SOUR:DCSQ:LEV?
> 100.00000

:AF:SOURce[1]:NOISe:TYPE 1K|1_25k|NOISe

AF Output Noise Signal Type

機能

Noise モードの信号の Type を設定します。

コマンド

```
:AF:SOURce[1]:NOISe:TYPE <type>
```

パラメータ

<type>	信号の Type
1K	1k Tone 信号
1_25k	1.25k Tone 信号
NOISe	Noise (擬似音声) 信号 (初期値)

詳細

AF 信号のモードが NOISe の場合のみ設定できます。

使用例

Noise モードの信号の Type を Noise に設定する。
AF:SOUR:NOIS:TYPE NOIS

:AF:SOURce[1]:NOISe:TYPE?

AF Output Noise Signal Type Query

機能

Noise モードの信号の Type を読み出します。

クエリ

```
:AF:SOURce[1]:NOISe:TYPE?
```

レスポンス

```
<type>
```

パラメータ

<type>	信号の Type
1K	1k Tone 信号
1_25	1.25k Tone 信号
NOIS	Noise (擬似音声) 信号

使用例

Noise モードの信号の Type を読み出す。
AF:SOUR:NOIS:TYPE?
> NOIS

:AF:SOURce[1]:NOISe:FILTer ON|OFF|1|0

AF Output Noise Filter

機能

Noise モードの擬似音声フィルタ (G.227) の On/Off を設定します。

コマンド**:AF:SOURce[1]:NOISe:FILTer <switch>****パラメータ**

<switch>	フィルタの On/Off
OFF 0	Off
ON 1	On (初期値)

詳細

AF 信号のモードが NOISe の場合のみ設定できます。

使用例

Noise モードの擬似音声フィルタを On にする。

```
AF:SOUR:NOIS:FILT ON
```

:AF:SOURce[1]:NOISe:FILTer?

AF Output Noise Filter Query

機能

Noise モードの擬似音声フィルタ (G.227) の状態を読み出します。

クエリ**:AF:SOURce[1]:NOISe:FILTer?****レスポンス**

<switch>

パラメータ

<switch>	フィルタの On/Off
0	Off
1	On

使用例

Noise モードの擬似音声フィルタの状態を読み出す。

```
AF:SOUR:NOIS:FILT?
> 1
```

:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel <level>

AF Output Noise Level

機能

Noise のレベルを設定します。

コマンド**:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel <level>****パラメータ**

<level>	Noise レベル
範囲	AF Output がバランス出力の場合: 0.001~12.4 Vrms AF Output がアンバランス出力の場合: 0.001~6.2 Vrms
分解能	0.01 mV
サフィックスコード	MVRMS, VRMS, DBM 省略した場合は mVrms として扱います。
初期値	1 mVrms

詳細

AF 信号のモードが NOISe の場合のみ設定できます。

Type で Noise が選択されている場合, G.227 Filter が On の状態を基準としてレベルを設定します。G.227 Filter が Off の場合は, 擬似音声フィルタ (G.227) をバイパスした状態となり, 実際の出力レベルは表示レベルと異なります。

使用例

Noise レベルを 100 mVrms に設定する。

AF:SOUR:NOIS:LEV 100

:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel?

AF Output Noise Level Query

機能

Noise のレベルを読み出します。

クエリ**:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel?****レスポンス**

<level>

パラメータ

<level>	Noise レベル
範囲	AF Output がバランス出力の場合: 0.001~12.4 Vrms AF Output がアンバランス出力の場合: 0.001~6.2 Vrms
分解能	0.01 mV
サフィックスコード	なし

使用例

Noise レベルを読み出す。
AF:SOUR:NOIS:LEV?
 > 100.00000

:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel:OFFSet ON|OFF|1|0

AF Output Noise Level Offset State

機能

Noise レベルのオフセット機能の有効・無効を設定します。

コマンド

```
:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel:OFFSet <switch>
```

パラメータ

<switch>	オフセット機能の有効・無効
OFF 0	無効にする（初期値）
ON 1	有効にする

詳細

AF 信号のモードが NOISe の場合のみ設定できます。

使用例

Noise レベルのオフセット機能を有効にする。
AF:SOUR:NOIS:LEV:OFFS ON

:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel:OFFSet?

AF Output Noise Level Offset State Query

機能

Noise レベルのオフセット機能の状態を読み出します。

クエリ

```
:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel:OFFSet?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	オフセット機能の有効・無効
0	無効
1	有効

使用例

Noise レベルのオフセット機能の状態を読み出す。
AF:SOUR:NOIS:LEV:OFFS?
> 1

:AF:SOURce[1]:NOISe[:STATe] ON|OFF|1|0

AF Output Noise State

機能

Noise モード時の信号出力の有効・無効を設定します。

コマンド**:AF:SOURce[1]:NOISe[:STATe] <switch>****パラメータ**

<switch>	信号出力の有効・無効
OFF 0	無効にする（初期値）
ON 1	有効にする

詳細

AF 信号のモードが NOISe の場合のみ設定できます。

使用例

Noise モードの信号出力を有効にする。

```
AF:SOUR:NOIS ON
```

:AF:SOURce[1]:NOISe[:STATe]?

AF Output Noise State Query

機能

Noise モードの信号出力の有効・無効を読み出します。

クエリ**:AF:SOURce[1]:NOISe[:STATe]?****レスポンス**

<switch>

パラメータ

<switch>	信号出力の有効・無効
0	無効
1	有効

使用例

Noise モードの信号出力状態を読み出す。

```
AF:SOUR:NOIS?
> 1
```

:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel:OFFSet:DB <level>

AF Output Noise Level Offset

機能

Noise レベルのオフセット値を設定します。

コマンド

```
:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel:OFFSet:DB <level>
```

パラメータ

<level>	オフセット値
範囲	-20～20 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	10.0 dB

詳細

AF 信号のモードが NOISe の場合のみ設定できます。

使用例

Noise レベルのオフセット値を 1 dB に設定する。

```
AF:SOUR:NOIS:LEV:OFFS:DB 1
```

:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel:OFFSet:DB?

AF Output Noise Level Offset Query

機能

RF 信号出力のレベルのオフセット値を読み出します。

クエリ

```
:AF:SOURce[1]:NOISe:LEVel:OFFSet:DB?
```

レスポンス

```
<level>
```

パラメータ

<level>	オフセット値
範囲	-20～20 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

Noise レベルのオフセット値を読み出す。

```
AF:SOUR:NOIS:LEV:OFFS:DB?
```

```
> 1.0
```

:AF:SOURce[1]:DTMF:CODE 1|2|3|4|5|6|7|8|9|0|A|B|C|D|*|#|

AF Output DTMF Code

機能

DTMF のコードを選択します。

コマンド

:AF:SOURce[1]:DTMF:CODE <code>

パラメータ

<code>	DTMF コード
範囲	0～9, A～D, *, # (左記から 1 記号を選択)
初期値	0

詳細

AF 信号のモードが DTMF の場合のみ設定できます。

使用例

DTMF のコードで A を選択する。
AF:SOUR:DTMF:CODE A

:AF:SOURce[1]:DTMF:CODE?

AF Output DTMF Code Query

機能

DTMF のコードを読み出します。

クエリ

:AF:SOURce[1]:DTMF:CODE?

レスポンス

<code>

パラメータ

<code>	DTMF コード
範囲	0～9, A～D, *, #

使用例

DTMF のコードを読み出す。
AF:SOUR:DTMF:CODE?
> A

:AF:SOURce[1]:DTMF:LEVel <level>

AF Output DTMF Level

機能

DTMF のレベルを設定します。

コマンド

:AF:SOURce[1]:DTMF:LEVel <level>

パラメータ

<level>	DTMF レベル
範囲	AF Output がバランス出力の場合: 0.001～3 Vp AF Output がアンバランス出力の場合: 0.001～1.5 Vp
分解能	0.01 mV
サフィックスコード	MVP, VP 省略した場合は mVp として扱います。
初期値	1 mVp

詳細

AF 信号のモードが DTMF の場合のみ設定できます。

使用例

DTMF レベルを 100 mVp に設定する。
AF:SOUR:DTMF:LEV 100

:AF:SOURce[1]:DTMF:LEVel?

AF Output DTMF Level Query

機能

DTMF のレベルを読み出します。

クエリ

:AF:SOURce[1]:DTMF:LEVel?

レスポンス

<level>

パラメータ

<level>	DTMF レベル
範囲	AF Output がバランス出力の場合: 0.001~3 Vp AF Output がアンバランス出力の場合: 0.001~1.5 Vp
分解能	0.01 mV
サフィックスコード	なし

使用例

DTMF レベルを読み出す。
AF:SOUR:DTMF:LEV?
> 100.00000

:AF:SOURce[1]:DTMF:LENGth <length>

AF Output DTMF Length

機能

DTMF の信号長を設定します。

コマンド

```
:AF:SOURce[1]:DTMF:LENGth <length>
```

パラメータ

<length>	DCS コード長
範囲	1～2000 ms
分解能	1 ms
サフィックスコード	MS, S
	省略した場合は ms として扱われます。
初期値	30 ms

詳細

AF 信号のモードが DTMF の場合のみ設定できます。

使用例

DTMF の信号長を 100 ms に設定する。
AF:SOUR:DTMF:LENG 100

:AF:SOURce[1]:DTMF:LENGth?

AF Output DTMF Length Query

機能

DTMF の信号の長さを読み出します。

クエリ

```
:AF:SOURce[1]:DTMF:LENGth?
```

レスポンス

```
<length>
```

パラメータ

<length>	DCS コード
範囲	1～2000 ms
分解能	1 ms
サフィックスコード	なし
	ms 単位の値を返します。

使用例

DTMF の信号の長さを読み出す。
AF:SOUR:DTMF:LENG?
> 100

:AF:SOURce[1]:DTMF:PUSH

AF Output DTMF Send Once

機能

DTMF の信号を 1 回出力します。

コマンド

```
:AF:SOURce[1]:DTMF:PUSH
```

詳細

AF 信号のモードが DTMF の場合のみ実行できます。

使用例

DTMF の信号を 1 回出力する。

```
AF:SOUR:DTMF:PUSH
```

:SWITCh:APPLication

Switch Application with Audio Generator

機能

本ソフトウェアを小型化して、オーディオジェネレータの機能のみを動作させるモードにします。

コマンド

:SWITCh:APPLication

詳細

オーディオジェネレータと他アプリケーションを同時に使用する場合に設定します。オーディオジェネレータの出力信号を DUT に入力して、スペクトラムアナライザで占有帯域幅やスプリアス測定等をする場合に使用できます。本コマンドを実行すると、オーディオジェネレータ以外の機能は一時使用不可となります。オーディオジェネレータウィンドウがすでに小型化されている場合、本コマンドは無効です。

使用例

アプリケーションウィンドウの小型化を ON に設定する。
SWIT:APPL

:BACK:AMA

Back to AMA

機能

アプリケーションウィンドウのサイズを元に戻し、オーディオジェネレータ以外の機能を有効にします。

コマンド

:BACK:AMA

詳細

:SWITCh:APPLication コマンドでオーディオジェネレータ以外の機能が停止しているときにこのコマンドを送信すると、オーディオジェネレータ以外の停止していた機能が復帰します。オーディオジェネレータウィンドウが小型化されている場合のみ、本コマンドは有効です。

使用例

アプリケーションウィンドウのサイズを元に戻す。
BACK:AMA

2.5 RX 測定

RX 測定に関するデバイスメッセージは測定モードが RX 測定モードのときに有効です。

2.5.1 RX測定結果

RX 測定結果に関するデバイスメッセージを表 2.5.1-1 に示します。

表 2.5.1-1 RX 測定結果デバイスメッセージ

機能	デバイスメッセージ
Fetch	:FETCh:AFIN[1]:AF[n]?
Read	:READ:AFIN[1]:AF[n]?
Measure	:MEASure:AFIN[1]:AF[n]?

表 2.5.1-1 のパラメータ n に対するレスポンスを表 2.5.1-2 に示します。

表 2.5.1-2 RX 測定結果のレスポンス

N	デバイスメッセージ
1 または省略時	次の順にコンマ (,) 区切りで返します。 1. AF 周波数 [Hz] 2. AF 周波数エラー [Hz] 3. AF 周波数エラー [%] 4. AF 周波数エラー [ppm] 5. AF Input Level (Tone) / AF Input Level (Tone) [dBr] * ₁ 6. AF Input Level (Total) / AF Input Level (Total) [dBr] * ₁ 7. Reserved 8. THD+N [%] 9. THD+N [dB] 10. THD [%] 11. THD [dB] 12. SINAD [%] 13. SINAD [dB]
6	AF Input Level の Time Domain グラフデータをコンマ (,) 区切りで返します。 Time:ms AF Level:mV
7	AF Input Level の Frequency Domain グラフデータをコンマ (,) 区切りで返します。 Frequency:Hz AF Level:mV

表 2.5.1-2 RX 測定結果のレスポンス (続き)

N	デバイスメッセージ
9	Meter 判定結果を次の順にコンマ (,) 区切りで返します。 1. THD + N Deflection Judge^{*2,*3} 2. THD + N Deflection Count^{*3} 3. THD + N Deflection Minimum [%] 4. THD + N Deflection Minimum [dB] 5. THD + N Deflection Maximum [%] 6. THD + N Deflection Maximum [dB] 7. THD Deflection Judge^{*2,*3} 8. THD Deflection Count^{*3} 9. THD Deflection Minimum [%] 10. THD Deflection Minimum [dB] 11. THD Deflection Maximum [%] 12. THD Deflection Maximum [dB] 13. SINAD Deflection Judge^{*2,*3} 14. SINAD Deflection Count^{*3} 15. SINAD Deflection Minimum [%] 16. SINAD Deflection Minimum [dB] 17. SINAD Deflection Maximum [%] 18. SINAD Deflection Maximum [dB] 19. AF Level Deflection Judge 20. AF Level Deflection Count 21. AF Level Deflection Minimum [%] 22. AF Level Deflection Maximum [AFLU] 23. AF Level Deflection Minimum [%] 24. AF Level Deflection Maximum [AFLU]

*1: AF Level Set Reference が Off のとき, AF Input Level Unit 設定で設定された単位で結果を返します。AF Level Set Reference が On のとき, 相対値 [dBr] の結果を返します。

*2: 判定結果が Pass の場合は 1 を, Fail の場合は -1 を, Deflection Count が最大に達していない場合は 0 を返します。

*3: Deflection View が Off の場合は無効 (-999) を返します。

:FETCh:AFIN[1]:AF[n]?

Measurement Result Query

機能

RX 測定の測定結果を読み出します。

クエリ

:FETCh:AFIN[1]:AF[n]?

レスポンス

表 2.5.1-2 を参照してください。

使用例

RX 測定の測定結果を読み出す。
FETC:AFIN:AF?

:READ:AFIN[1]:AF[n]?

Measurement Result Query

機能

現在の設定値でシングル測定を実行したあと、RX 測定の測定結果を読み出します。

クエリ

:READ:AFIN[1]:AF[n]?

レスポンス

表 2.5.1-2 を参照してください。

使用例

測定を実行し RX 測定の測定結果を読み出す。
READ:AFIN:AF?

:MEASure:AFIN[1]:AF[n]?

Measurement Result Query

機能

現在の設定値でシングル測定を実行したあと、RX 測定の測定結果を読み出します。

クエリ

:MEASure:AFIN[1]:AF[n]?

レスポンス

表 2.5.1-2 を参照してください。

使用例

測定を実行し、RX 測定の測定結果を読み出す。
MEAS:AFIN:AF?

2.5.2 オーディオアナライザ機能

RX 測定において, DUT から AF 信号を MS2830A に入力する場合のデバイスメッセージを示します。

本項のデバイスメッセージは, MS2830A-018/118 搭載時のみ有効です。

表 2.5.2-1 オーディオアナライザ機能に関するデバイスメッセージ

パラメータ	デバイスメッセージ
Signal Frequency of SINAD	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal PEAK MANual GENerator</code>
	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal?</code>
Manual Frequency of SINAD	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal:MANual <freq></code>
	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal:MANual?</code>
Start Frequency of SINAD	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:START <freq></code>
	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:START?</code>
Stop Frequency of SINAD	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:STOP <freq></code>
	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:STOP?</code>
Signal Frequency of THD	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:SIGNal PEAK MANual GENerator</code>
	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:SIGNal?</code>
Manual Frequency of THD	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:SIGNal:MANual <freq></code>
	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:SIGNal:MANual?</code>
Start Frequency of THD	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:START <freq></code>
	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:START?</code>
Stop Frequency of THD	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:STOP <freq></code>
	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:STOP?</code>
Signal Frequency of THD+N	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:SIGNal PEAK MANual GENerator</code>
	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:SIGNal?</code>
Manual Frequency of THD+N	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:SIGNal:MANual <freq></code>
	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:SIGNal:MANual?</code>
Start Frequency of THD+N	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:START <freq></code>
	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:START?</code>
Stop Frequency of THD+N	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:STOP <freq></code>
	<code>[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:STOP?</code>

表 2.5.2-1 オーディオアナライザ機能に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
High Pass Filter	<code>[:SENSe]:AF:HPFilter</code> <code>OFF HPF20 HPF50 HPF100 HPF300 HPF400 HPF30K</code>
	<code>[:SENSe]:AF:HPFilter?</code>
Low Pass Filter	<code>[:SENSe]:AF:LPFilter</code> <code>OFF LPF3K LPF15K LPF20K LPF30K LPF50K</code>
	<code>[:SENSe]:AF:LPFilter?</code>
Weighting	<code>[:SENSe]:AF:FILTer:WEIGHting</code> <code>OFF CCITt CMESsage 468 ARM AWEight</code>
	<code>[:SENSe]:AF:FILTer:WEIGHting?</code>
AF Measure Time Domain Graph State	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:TIME</code> <code>ON OFF 1 0</code>
	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:TIME?</code>
AF Measure Frequency Domain Graph State	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:FREQuency</code> <code>ON OFF 1 0</code>
	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:FREQuency?</code>
Y Axis Scale Mode of AF Measure Graph (Time Domain)	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALE]:MODE</code> <code>AUTO FIXed</code>
	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALE]:MODE?</code>
Minimum Y Axis Scale Range of AF Measure Graph (Time Domain)	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALE]:AUTO:MINi</code> <code>mumrange</code> <code>0_5MV 1MV 5MV 10MV 50MV 100MV 500MV 1V</code>
	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALE]:AUTO:MINi</code> <code>mumrange?</code>
Y Axis Scale Range of AF Measure Graph (Time Domain)	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALE]:FIXed:RAN</code> <code>Ge</code> <code>0_5MV 1MV 5MV 10MV 50MV 100MV 500MV 1V 5V 10V 20V</code>
	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALE]:FIXed:RAN</code> <code>Ge?</code>
X Axis Range of Time Domain Graph	<code>:CALCulate:AF:RANGe[1]:X</code> <code><time></code>
	<code>:CALCulate:AF:RANGe[1]:X?</code>
Y Axis Top Level of Frequency Domain Graph	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALE]:TOP:LOG</code> <code><level></code>
	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALE]:TOP:LOG?</code>
Y Axis Bottom Level of Frequency Domain Graph	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALE]:BOTTom:LO</code> <code>G</code> <code><level></code>
	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALE]:BOTTom:LO</code> <code>G?</code>
X Axis Scale of Frequency Domain Graph	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALE]:UNIT</code> <code>LINear LOG</code>
	<code>:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALE]:UNIT?</code>

表 2.5.2-1 オーディオアナライザ機能に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
X Axis (Linear) Min. Frequency of Frequency Domain Graph	:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARTfreq:LINear <freq>
	:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARTfreq:LINear?
X Axis (Log) Min. Frequency of Frequency Domain Graph	:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARTfreq:LOG <range>
	:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARTfreq:LOG?
X Axis (Linear) Max. Frequency of Frequency Domain Graph	:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:LINear <freq>
	:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:LINear?
X Axis (Log) Max. Frequency of Frequency Domain Graph	:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:LOG <range>
	:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:LOG?
Window Function of Frequency Domain Graph	:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:WINDowfunction RECTangular HANN BLACkmanharris HAMMing FLATtop
	:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:WINDowfunction?
Maker Mode of Time Domain Graph	:CALCulate:AF:MARKer:MODE DELTa NORMal OFF
	:CALCulate:AF:MARKer:MODE?
Maker X Axis Position of Time Domain Graph	:CALCulate:AF:MARKer[1] 2:X <time>
	:CALCulate:AF:MARKer[1] 2:X?
Maker Mode of Frequency Domain Graph	:CALCulate:AF:MARKer:FREQuency:MODE DELTa NORMal OFF
	:CALCulate:AF:MARKer:FREQuency:MODE?
Maker X Axis Position of Frequency Domain Graph	:CALCulate:AF:MARKer[1] 2:FREQuency:X <freq>
	:CALCulate:AF:MARKer[1] 2:FREQuency:X?
Peak Search of Frequency Domain Graph	:CALCulate:AF:MARKer[1] 2:FREQuency:X:PEAK
Next Peak Search of Frequency Domain Graph	:CALCulate:AF:MARKer[1] 2:FREQuency:X:NEXTpeak

表 2.5.2-1 オーディオアナライザ機能に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
Input Range of AF Input	:SENSe[1]:VOLTage:RANGe[:UPPer] 50MVP 500MVP 5VP 50VP
	:SENSe[1]:VOLTage:RANGe[:UPPer]?
AF Input Type	:SENSe[1]:TYPE BALance UNBalance
	:SENSe[1]:TYPE?
AF Input Impedance Reference	:SENSe[1]:REFeRence:IMPedance <impedance>
	:SENSe[1]:REFeRence:IMPedance?
AF Level Unit	:SENSe[1]:AF:LEVel:UNIT VRMS DBU DBV W DBM
	:SENSe[1]:AF:LEVel:UNIT?
AF Level Meter State	:DISPlay:AF:METer:AFLevel ON OFF 1 0
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel?
SINAD Meter State	:DISPlay:AF:METer:SINad ON OFF 1 0
	:DISPlay:AF:METer:SINad?
THD+N Meter State	:DISPlay:AF:METer:THDN ON OFF 1 0
	:DISPlay:AF:METer:THDN?
THD Meter State	:DISPlay:AF:METer:THD ON OFF 1 0
	:DISPlay:AF:METer:THD?
AF Level Deflection Judge	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:JUDGe ON OFF 1 0
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:JUDGe?
SINAD Deflection Judge	:DISPlay:AF:METer:SINad:JUDGe ON OFF 1 0
	:DISPlay:AF:METer:SINad:JUDGe?
THD+N Deflection Judge	:DISPlay:AF:METer:THDN:JUDGe ON OFF 1 0
	:DISPlay:AF:METer:THDN:JUDGe?
THD Deflection Judge	:DISPlay:AF:METer:THD:JUDGe ON OFF 1 0
	:DISPlay:AF:METer:THD:JUDGe?
Reference of AF Level Meter (AFLU)	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:REFeRence:AFLU MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:REFeRence:AFLU?
Reference of AF Level Meter (%)	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:REFeRence:PERCent MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:REFeRence:PERCent?
Reference of SINAD Meter (dB)	:DISPlay:AF:METer:SINad:REFeRence:DB MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AF:METer:SINad:REFeRence:DB?
Reference of SINAD Meter (%)	:DISPlay:AF:METer:SINad:REFeRence:PERCent MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AF:METer:SINad:REFeRence:PERCent?

表 2.5.2-1 オーディオアナライザ機能に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
Reference of THD+N Meter (dB)	:DISPlay:AF:METer:THDN:REFeRence:DB MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AF:METer:THDN:REFeRence:DB?
Reference of THD+N Meter (%)	:DISPlay:AF:METer:THDN:REFeRence:PERCent MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AF:METer:THDN:REFeRence:PERCent?
Reference of THD Meter (dB)	:DISPlay:AF:METer:THD:REFeRence:DB MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AF:METer:THD:REFeRence:DB?
Reference of THD Meter (%)	:DISPlay:AF:METer:THD:REFeRence:PERCent MINimum CENTer MAXimum
	:DISPlay:AF:METer:THD:REFeRence:PERCent?
Reference Value of AF Level Meter (AFLU)	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:REFeRence:VALue:AFLU <ref_val>
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:REFeRence:VALue:AFLU?
Reference Value of AF Level Meter (%)	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:REFeRence:VALue:PERCent <ref_val>
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:REFeRence:VALue:PERCent?
Reference Value of SINAD Meter (dB)	:DISPlay:AF:METer:SINad:REFeRence:VALue:DB <ref_val>
	:DISPlay:AF:METer:SINad:REFeRence:VALue:DB?
Reference Value of SINAD Meter (%)	:DISPlay:AF:METer:SINad:REFeRence:VALue:PERCent <ref_val>
	:DISPlay:AF:METer:SINad:REFeRence:VALue:PERCent?
Reference Value of THD+N Meter (dB)	:DISPlay:AF:METer:THDN:REFeRence:VALue:DB <ref_val>
	:DISPlay:AF:METer:THDN:REFeRence:VALue:DB?
Reference Value of THD+N Meter (%)	:DISPlay:AF:METer:THDN:REFeRence:VALue:PERCent <ref_val>
	:DISPlay:AF:METer:THDN:REFeRence:VALue:PERCent?
Reference Value of THD Meter (dB)	:DISPlay:AF:METer:THD:REFeRence:VALue:DB <ref_val>
	:DISPlay:AF:METer:THD:REFeRence:VALue:DB?
Reference Value of THD Meter (%)	:DISPlay:AF:METer:THD:REFeRence:VALue:PERCent <ref_val>
	:DISPlay:AF:METer:THD:REFeRence:VALue:PERCent?
Range1 of AF Level Meter (AFLU)	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:RNG1:AFLU <val>
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:RNG1:AFLU?
Range1 of AF Level Meter (%)	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:RNG1:PERCent <val>
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:RNG1:PERCent?
Range2 of AF Level Meter (AFLU)	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:RNG2:AFLU <val>
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:RNG2:AFLU?
Range2 of AF Level Meter (%)	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:RNG2:PERCent <val>
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:RNG2:PERCent?

表 2.5.2-1 オーディオアナライザ機能に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
Pass Range of AF Level Meter (AFLU)	:DISPlay:AF:METER:AFLevel:JUDGE:RANGE:AFLU <val>
	:DISPlay:AF:METER:AFLevel:JUDGE:RANGE:AFLU?
Pass Range of AF Level Meter (%)	:DISPlay:AF:METER:AFLevel:JUDGE:RANGE:PERCent <val>
	:DISPlay:AF:METER:AFLevel:JUDGE:RANGE:PERCent?
Range1 of SINAD Meter (dB)	:DISPlay:AF:METER:SINad:RNG1:DB <val>
	:DISPlay:AF:METER:SINad:RNG1:DB?
Range1 of SINAD Meter (%)	:DISPlay:AF:METER:SINad:RNG1:PERCent <val>
	:DISPlay:AF:METER:SINad:RNG1:PERCent?
Range2 of SINAD Meter (dB)	:DISPlay:AF:METER:SINad:RNG2:DB <val>
	:DISPlay:AF:METER:SINad:RNG2:DB?
Range2 of SINAD Meter (%)	:DISPlay:AF:METER:SINad:RNG2:PERCent <val>
	:DISPlay:AF:METER:SINad:RNG2:PERCent?
Pass Range of SINAD Meter (dB)	:DISPlay:AF:METER:SINad:JUDGE:RANGE:DB <val>
	:DISPlay:AF:METER:SINad:JUDGE:RANGE:DB?
Pass Range of SINAD Meter (%)	:DISPlay:AF:METER:SINad:JUDGE:RANGE:PERCent <val>
	:DISPlay:AF:METER:SINad:JUDGE:RANGE:PERCent?
Range1 of THD+N Meter (dB)	:DISPlay:AF:METER:THDN:RNG1:DB <val>
	:DISPlay:AF:METER:THDN:RNG1:DB?
Range1 of THD+N Meter (%)	:DISPlay:AF:METER:THDN:RNG1:PERCent <val>
	:DISPlay:AF:METER:THDN:RNG1:PERCent?
Range2 of THD+N Meter (dB)	:DISPlay:AF:METER:THDN:RNG2:DB <val>
	:DISPlay:AF:METER:THDN:RNG2:DB?
Range2 of THD+N Meter (%)	:DISPlay:AF:METER:THDN:RNG2:PERCent <val>
	:DISPlay:AF:METER:THDN:RNG2:PERCent?
Pass Range of THD+N Meter (dB)	:DISPlay:AF:METER:THDN:JUDGE:RANGE:DB <val>
	:DISPlay:AF:METER:THDN:JUDGE:RANGE:DB?
Pass Range of THD+N Meter (%)	:DISPlay:AF:METER:THDN:JUDGE:RANGE:PERCent <val>
	:DISPlay:AF:METER:THDN:JUDGE:RANGE:PERCent?
Range1 of THD Meter (dB)	:DISPlay:AF:METER:THD:RNG1:DB <val>
	:DISPlay:AF:METER:THD:RNG1:DB?
Range1 of THD Meter (%)	:DISPlay:AF:METER:THD:RNG1:PERCent <val>
	:DISPlay:AF:METER:THD:RNG1:PERCent?

表 2.5.2-1 オーディオアナライザ機能に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
Range2 of THD Meter (dB)	:DISPlay:AF:METer:THD:RNG2:DB <val>
	:DISPlay:AF:METer:THD:RNG2:DB?
Range2 of THD Meter (%)	:DISPlay:AF:METer:THD:RNG2:PERCent <val>
	:DISPlay:AF:METer:THD:RNG2:PERCent?
Pass Range of THD Meter (dB)	:DISPlay:AF:METer:THD:JUDGe:RANGe:DB <val>
	:DISPlay:AF:METer:THD:JUDGe:RANGe:DB?
Pass Range of THD Meter (%)	:DISPlay:AF:METer:THD:JUDGe:RANGe:PERCent <val>
	:DISPlay:AF:METer:THD:JUDGe:RANGe:PERCent?
Deflection View of AF Level Meter	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:DEFLection ON OFF 1 0
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:DEFLection?
Deflection View of SINAD Meter	:DISPlay:AF:METer:SINad:DEFLection ON OFF 1 0
	:DISPlay:AF:METer:SINad:DEFLection?
Deflection View of THD+N Meter	:DISPlay:AF:METer:THDN:DEFLection ON OFF 1 0
	:DISPlay:AF:METer:THDN:DEFLection?
Deflection View of THD	:DISPlay:AF:METer:THD:DEFLection ON OFF 1 0
	:DISPlay:AF:METer:THD:DEFLection?
Deflection Count of AF Level Meter	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:DEFLection:COUNt <count>
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:DEFLection:COUNt?
Deflection Count of SINAD Meter	:DISPlay:AF:METer:SINad:DEFLection:COUNt <count>
	:DISPlay:AF:METer:SINad:DEFLection:COUNt?
Deflection Count of THD+N Meter	:DISPlay:AF:METer:THDN:DEFLection:COUNt <count>
	:DISPlay:AF:METer:THDN:DEFLection:COUNt?
Deflection Count of THD Meter	:DISPlay:AF:METer:THD:DEFLection:COUNt <count>
	:DISPlay:AF:METer:THD:DEFLection:COUNt?
Unit of AF Level Meter	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:UNIT AFLU PERCent
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:UNIT?
Unit of SINAD Meter	:DISPlay:AF:METer:SINad:UNIT DB PERCent
	:DISPlay:AF:METer:SINad:UNIT?
Unit of THD+N Meter	:DISPlay:AF:METer:THDN:UNIT DB PERCent
	:DISPlay:AF:METer:THDN:UNIT?
Unit of THD Meter	:DISPlay:AF:METer:THD:UNIT DB PERCent
	:DISPlay:AF:METer:THD:UNIT?
AF Level Reference of AF Level Meter	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:REFeRence <val>
	:DISPlay:AF:METer:AFLevel:REFeRence?

[[:SENSe]:AF:DIS TORTion:SiNad:FREQuency:SIGNal

PEAK|MANual|GENerator

Signal Frequency of SINAD

機能

SINAD 測定 (RX) での基準信号の周波数設定を選択します。

コマンド

[[:SENSe]:AF:DIS TORTion:SiNad:FREQuency:SIGNal <mode>

パラメータ

<mode>	基準周波数
PEAK	ピーク周波数 (初期値)
MANual	Manual Frequency で設定した周波数
GENerator	Tone1 Frequency で設定した周波数

使用例

SINAD 測定の基準周波数をピーク周波数に設定する。

AF:DIS T:SiN:FREQ:SIGN PEAK

[[:SENSe]:AF:DIS TORTion:SiNad:FREQuency:SIGNal?

Signal Frequency of SINAD Query

機能

SINAD 測定 (RX) の基準信号の周波数設定を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AF:DIS TORTion:SiNad:FREQuency:SIGNal?

レスポンス

<mode>

パラメータ

<mode>	基準周波数
PEAK	ピーク周波数
MAN	Manual Frequency で設定した周波数
GEN	Tone1 Frequency で設定した周波数

使用例

SINAD 測定の基準信号の周波数設定を読み出す。

AF:DIS T:SiN:FREQ:SIGN?

> PEAK

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal:MANual <freq>

Manual Frequency of SINAD

機能

SINAD 測定 (RX) の Manual Frequency を設定します。

コマンド

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal:MANual
<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	Hz
	省略した場合は Hz として扱います。
初期値	1 kHz

詳細

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$$

使用例

SINAD 測定の Manual Frequency を 5 kHz に設定する。
AF:DIS:TIN:FREQ:SIGN:MAN 5000

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal:MANual?

Manual Frequency of SINAD Query

機能

SINAD 測定 (RX) の Manual Frequency を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal:MANual?
```

レスポンス

```
<freq>
```

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

```
SINAD 測定の Manual Frequency を読み出す。  
AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:SIGNal:MANual?  
> 5000
```


[[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:STARt <freq>

Start Frequency of SINAD

機能

SINAD 測定 (RX) の Start Frequency を設定します。

コマンド

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:STARt <freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～ SINAD 測定 (RX) の Manual Frequency 設定値
分解能	1 Hz
サフィックスコード	HZ 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	10 Hz

詳細

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$$

使用例

SINAD 測定の Start Frequency を 5 kHz に設定する。
AF:DIST:SIN:FREQ:STAR 5000

[[:SENSe]:AF:DISTortion:SINad:FREQuency:STARt?

Start Frequency of SINAD Query

機能

SINAD 測定 (RX) の Start Frequency を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AF:DISTortion:SINad:FREQuency:STARt?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～ SINAD 測定 (RX) の Manual Frequency 設定値
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし Hz 単位の値を返します。

使用例

SINAD 測定の Start Frequency を読み出す。
AF:DIST:SIN:FREQ:STAR?
> 5000

[[:SENSe]:AF:DISTortion:SINad:FREQuency:STOP <freq>

Stop Frequency of SINAD

機能

SINAD 測定 (RX) の Stop Frequency を設定します。

コマンド

`[[:SENSe]:AF:DISTortion:SINad:FREQuency:STOP <freq>`

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	SINAD 測定 (RX) の Manual Frequency 設定値 ～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	HZ 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	60000 Hz

詳細

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$$

使用例

SINAD 測定の Stop Frequency を 5 kHz に設定する。
`AF:DIST:SIN:FREQ:STOP 5000`

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:STOP?

Stop Frequency of SINAD Query

機能

SINAD 測定 (RX) の Stop Frequency を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:SINad:FREQuency:STOP?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	SINAD 測定 (RX) の Manual Frequency 設定値 ～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

SINAD 測定の Stop Frequency を読み出す。

AF:DISToRTion:SIN:FREQ:STOP?

> 5000

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:SIGNal PEAK|MANual|GENerator
Signal Frequency of THD

機能	THD 測定 (RX) での基準信号の周波数設定を選択します。	
コマンド	[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:SIGNal <mode>	
パラメータ	<mode>	基準周波数
	PEAK	ピーク周波数 (初期値)
	MANual	Manual Frequency で設定した周波数
	GENerator	Tone1 Frequency で設定した周波数
使用例	THD 測定の基準周波数をピーク周波数に設定する。 AF:DIS:THD:FREQ:SIGN PEAK	

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:SIGNal?
Signal Frequency of THD Query

機能	THD 測定 (RX) での基準信号の周波数設定を読み出します。	
クエリ	[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:SIGNal?	
レスポンス	<mode>	
パラメータ	<mode>	基準周波数
	PEAK	ピーク周波数
	MAN	Manual Frequency で設定した周波数
	GEN	Tone1 Frequency で設定した周波数
使用例	THD 測定の周波数の基準信号の周波数設定を読み出す。 AF:DIS:THD:FREQ:SIGN? > PEAK	

`[[:SENSe]:AF:DISTortion:THD:FREQuency:SIGNal:MANual <freq>`

Manual Frequency of THD

機能

THD 測定 (RX) の Manual Frequency を設定します。

コマンド

`[[:SENSe]:AF:DISTortion:THD:FREQuency:SIGNal:MANual <freq>`

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	Hz
	省略した場合は Hz として扱います。
初期値	1 kHz

詳細

本コマンドは Signal Frequency を Manual に設定した場合に有効です。

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$$

使用例

THD 測定の Manual Frequency を 5 kHz に設定する。

`AF:DIST:THD:FREQ:SIGN:MAN 5000`

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:SIGNal:MANual?

Manual Frequency of THD Query

機能

THD 測定 (RX) の Manual Frequency を読み出します。

クエリ

`[[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:SIGNal:MANual?`

レスポンス

`<freq>`

パラメータ

<code><freq></code>	周波数
範囲	10～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

THD 測定の Manual Frequency を読み出す。
`AF:DIS:THD:FREQ:SIGN:MAN?`
`> 5000`

`[[:SENSe]:AF:DISTortion:THD:FREQuency:STARt <freq>`

Start Frequency of THD

機能

THD 測定 (RX) の Start Frequency を設定します。

コマンド

`[[:SENSe]:AF:DISTortion:THD:FREQuency:STARt <freq>`

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～THD 測定 (RX) の Manual Frequency 設定値
分解能	1 Hz
サフィックスコード	Hz 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	10 Hz

詳細

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$

使用例

THD 測定の Start Frequency を 5 kHz に設定する。

`AF:DIST:THD:FREQ:STAR 5000`

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:STARt?

Start Frequency of THD Query

機能

THD 測定 (RX) の Start Frequency を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:STARt?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～THD 測定 (RX) の Manual Frequency 設定値
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

THD 測定の Start Frequency を読み出す。
AF:DIS:THD:FREQ:STAR?
> 5000

`[[:SENSe]:AF:DISTortion:THD:FREQuency:STOP <freq>`

Stop Frequency of THD

機能

THD 測定 (RX) の Stop Frequency を設定します。

コマンド

`[[:SENSe]:AF:DISTortion:THD:FREQuency:STOP <freq>`

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	THD 測定 (RX) の Manual Frequency 設定値 ～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	Hz 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	60000 Hz

詳細

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$

使用例

THD 測定の Stop Frequency を 5 kHz に設定する。

`AF:DIST:THD:FREQ:STOP 5000`

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:STOP?

Stop Frequency of THD Query

機能

THD 測定 (RX) の Stop Frequency を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:THD:FREQuency:STOP?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	THD 測定 (RX) の Manual Frequency 設定値 ～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

THD 測定の Stop Frequency を読み出す。
AF:DIS:THD:FREQ:STOP?
> 5000

[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:SIGNal

PEAK|MANual|GENerator

Signal Frequency of THD+N

機能

THD+N (Total Harmonic Distortion plus Noise) 測定 (RX) での基準信号の周波数設定を選択します。

コマンド

```
[ :SENSe ] :AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:SIGNal <mode>
```

パラメータ

<mode>	基準周波数
PEAK	ピーク周波数 (初期値)
MANual	Manual Frequency で設定した周波数
GENerator	Tone1 Frequency で設定した周波数

使用例

THD+N 測定の基準周波数をピーク周波数に設定する。

```
AF:DIS:THDN:FREQ:SIGN PEAK
```

[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:SIGNal?

Signal Frequency of THD+N Query

機能

THD+N 測定 (RX) での基準信号の周波数設定を読み出します。

クエリ

```
[ :SENSe ] :AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:SIGNal?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	基準周波数
PEAK	ピーク周波数
MAN	Manual Frequency で設定した周波数
GEN	Tone1 Frequency で設定した周波数

使用例

THD+N 測定の基準信号の周波数設定を読み出す。

```
AF:DIS:THDN:FREQ:SIGN?
```

```
> PEAK
```

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:SIGNal:MANual <freq>

Manual Frequency of THD+N

機能

THD+N 測定 (RX) の Manual Frequency を設定します。

コマンド

`[[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:SIGNal:MANual
<freq>`

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	HZ
	省略した場合は HZ として扱います。
初期値	1 kHz

詳細

本コマンドは **Signal Frequency** を **Manual** に設定した場合に有効です。
Manual Frequency, **Start Frequency**, **Stop Frequency** は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$$

使用例

THD+N 測定の Manual Frequency を 5 kHz に設定する。
`AF:DIS:THDN:FREQ:SIGN:MAN 5000`

[[:SENSe]:AF:DISTortion:THDN:FREQuency:SIGNal:MANual?

Manual Frequency of THD+N Query

機能

THD+N 測定 (RX) の Manual Frequency を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:AF:DISTortion:THDN:FREQuency:SIGNal:MANual?
```

レスポンス

```
<freq>
```

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

```
THD+N 測定の Manual Frequency を読み出す。  
AF:DIST:THDN:FREQ:SIGN:MAN?  
> 5000
```

[[:SENSe]:AF:DISTortion:THDN:FREQuency:STARt <freq>

Start Frequency of THD+N

機能

THD+N 測定 (RX) の Start Frequency を設定します。

コマンド

[[:SENSe]:AF:DISTortion:THDN:FREQuency:STARt <freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～ THD+N 測定 (RX) の Manual Frequency 設定値
分解能	1 Hz
サフィックスコード	Hz 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	10 Hz

詳細

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$$

使用例

THD+N 測定の Start Frequency を 5 kHz に設定する。
AF:DIS:THDN:FREQ:STAR 5000

[[:SENSe]:AF:DISTortion:THDN:FREQuency:STARt?

Start Frequency of THD+N Query

機能

THD+N 測定 (RX) の Start Frequency を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AF:DISTortion:THDN:FREQuency:STARt?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	10～
	THD+N 測定(RX)の Manual Frequency 設定値
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

THD+N 測定の Start Frequency を読み出す。

AF:DIST:THDN:FREQ:STAR?

> 5000

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:STOP <freq>

Stop Frequency of THD+N

機能

THD+N 測定 (RX) の Stop Frequency を設定します。

コマンド

[[:SENSe]:AF:DISToRTion:THDN:FREQuency:STOP <freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	THD+N 測定 (RX) の Manual Frequency 設定値 ～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	HZ 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	60000 Hz

詳細

Manual Frequency, Start Frequency, Stop Frequency は下記の条件を満たさない場合、エラーとなります。

$$\text{Start Frequency} \leq \text{Manual Frequency} \leq \text{Stop Frequency}$$

使用例

THD+N 測定の Stop Frequency を 5 kHz に設定する。
AF:DIS:THDN:FREQ:STOP 5000

[[:SENSe]:AF:DISTortion:THDN:FREQuency:STOP?

Stop Frequency of THD+N Query

機能

THD+N 測定 (RX) の Stop Frequency を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AF:DISTortion:THDN:FREQuency:STOP?

レスポンス

<freq>

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	THD+N 測定 (RX) の Manual Frequency 設定値 ～60000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	なし
	Hz 単位の値を返します。

使用例

THD+N 測定の Stop Frequency を読み出す。

AF:DIST:THDN:FREQ:STOP?

> 5000

[[:SENSe]:AF:HPFilter OFF|HPF20|HPF50|HPF100|HPF300|HPF400|HPF30K
High Pass Filter

機能

RX 測定で使用する High Pass Filter を設定します。

コマンド

[[:SENSe]:AF:HPFilter <filter>

パラメータ

<filter>	RX 測定の HPF
OFF	Filter なし
HPF20	20 Hz
HPF50	50 Hz
HPF100	100 Hz
HPF300	300 Hz
HPF400	400 Hz
HPF30K	30 kHz
初期値	OFF

詳細

AF 信号に対して High Pass Filter による帯域制限を行います。

使用例

RX 測定の High Pass Filter を 300 Hz に設定する。
AF:HPF HPF300

[[:SENSe]:AF:HPFilter?

High Pass Filter Query

機能

RX 測定で使用する High Pass Filter の設定値を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:AF:HPFilter?
```

レスポンス

```
<filter>
```

パラメータ

<filter>	RX 測定の HPF
OFF	Filter なし
HPF20	20 Hz
HPF50	50 Hz
HPF100	100 Hz
HPF300	300 Hz
HPF400	400 Hz
HPF30K	30 kHz

使用例

RX 測定の High Pass Filter 設定値を読み出す。

```
AF:HPF?
```

```
> HPF300
```

[[:SENSe]:AF:LPFilter OFF|LPF3K|LPF15K|LPF20K|LPF30K|LPF50K

Low Pass Filter

機能

RX 測定で使用する Low Pass Filter を設定します。

コマンド

[[:SENSe]:AF:LPFilter <filter>

パラメータ

<filter>	RX 測定の LPF
OFF	Filter なし
LPF3K	3 kHz
LPF15K	15 kHz
LPF20K	20 kHz
LPF30K	30 kHz
LPF50K	50 kHz
初期値	OFF

詳細

AF 信号に対して Low Pass Filter による帯域制限を行います。

使用例

RX 測定の Low Pass Filter を 3 kHz に設定する。

AF:LPF LPF3K

[[:SENSe]:AF:LPFilter?

Low Pass Filter Query

機能

RX 測定で使用する Low Pass Filter を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:AF:LPFilter?
```

レスポンス

```
<filter>
```

パラメータ

<filter>	RX 測定の LPF
OFF	Filter なし
LPF3K	3 kHz
LPF15K	15 kHz
LPF20K	20 kHz
LPF30K	30 kHz
LPF50K	50 kHz

使用例

RX 測定の Low Pass Filter 設定値を読み出す。

```
AF:LPF?
```

```
> LPF3K
```

[[:SENSe]:AF:FILTer:WEIGhting OFF|CCITt|CMESsage|468|ARM|AWEight
Weighting

機能

RX 測定で使用する重みづけを設定します。

コマンド

[[:SENSe]:AF:FILTer:WEIGhting <filter>

パラメータ

<filter>	RX 測定の重みづけ
OFF	Filter なし
CCITt	CCITT (ITU-T P.53/O.41)
CMESsage	C-Message
468	CCIR 468
ARM	CCIR ARM
AWEight	A-Weight
初期値	OFF

詳細

AF 信号に対して重みづけを適用します。

使用例

RX 測定の Band Pass Filter を CCITT に設定する。
AF:FILT:WEIG CCIT

[[:SENSe]:AF:FILTer:WEIGhting?

Weighting Query

機能

RX 測定で使用する重みづけの設定を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AF:FILTer:WEIGhting?

レスポンス

<filter>

パラメータ

<filter>	RX 測定の Band Pass Filter
OFF	Filter なし
CCIT	CCITT (ITU-T P.53/O.41)
CMES	C-Message
468	CCIR 468
ARM	CCIR ARM
AWE	A-Weight

使用例

RX 測定の重みづけを読み出す。

AF:FILT:WEIG?

> CCIT

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:TIME ON|OFF|1|0

AF Measure Time Domain Graph State

機能	AF Measure 結果 (RX) の Time Domain グラフ表示の On/Off を設定します。							
コマンド	DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:TIME <switch>							
パラメータ	<table><tr><td><switch></td><td>Time Domain グラフ表示の On/Off</td></tr><tr><td>ON 1</td><td>On (初期値)</td></tr><tr><td>OFF 0</td><td>Off</td></tr></table>	<switch>	Time Domain グラフ表示の On/Off	ON 1	On (初期値)	OFF 0	Off	
<switch>	Time Domain グラフ表示の On/Off							
ON 1	On (初期値)							
OFF 0	Off							
使用例	Time Domain グラフ表示を On にする。 DISP:AF:WIND:TRAC:ANAL:MODE:TIME ON							

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:TIME?

AF Measure Time Domain Graph State Query

機能

AF Measure 結果 (RX) の Time Domain グラフ表示の On/Off を読み出します。

クエリ

DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:TIME?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	Time Domain グラフ表示の On/Off
1	On
0	Off

使用例

Time Domain グラフ表示の状態を読み出す。

DISP:AF:WIND:TRAC:ANAL:MODE:TIME?

> 1

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:FREQuency ON|OFF|1|0

AF Measure Frequency Domain Graph State

機能

AF Measure 結果 (RX) の Frequency Domain グラフ表示の On/Off を設定します。

コマンド

```
DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:FREQuency
<switch>
```

パラメータ

<switch>	Frequency Domain グラフ表示の On/Off
ON 1	On
OFF 0	Off (初期値)

使用例

Frequency Domain グラフ表示を On にする。
DISP:AF:WIND:TRAC:ANAL:MODE:FREQ ON

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:FREQuency?

AF Measure Frequency Domain Graph State Query

機能

AF Measure 結果 (RX) の Frequency Domain グラフ表示の On/Off を読み出します。

クエリ

```
DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:ANALysis:MODE:FREQuency?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	Frequency Domain グラフ表示の On/Off
1	On
0	Off

使用例

Frequency Domain グラフ表示の状態を読み出す。
DISP:AF:WIND:TRAC:ANAL:MODE:FREQ?
> 1

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALe]:MODE AUTO|FIXed
 Y Axis Scale Mode of AF Measure Graph (Time Domain)

機能

AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸 (縦軸) スケールモードをオートスケールまたは固定スケールに設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALe]:MODE
<mode>
```

パラメータ

<mode>	Y 軸スケールモード
AUTO	オートスケール (初期値)
FIXed	固定スケール

詳細

Time Domain グラフ表示が On のときに設定できます。

使用例

AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸スケールを固定スケールにする。

```
DISP:AF:WIND:TRAC:TIM:Y:MODE FIX
```

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALe]:MODE?

Y Axis Scale Mode of AF Measure Graph (Time Domain) Query

機能

AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸 (縦軸) スケールモードを読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALe]:MODE?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	Y 軸スケールモード
AUTO	オートスケール
FIX	固定スケール

使用例

AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸スケールの設定を読み出す。

```
DISP:AF:WIND:TRAC:TIM:Y:MODE?
> FIX
```

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALe]:AUTO:MINimumrange 0_5MV|1MV|5MV|10MV|50MV|100MV|500MV|1V

Minimum Y Axis Scale Range of AF Measure Graph (Time Domain)

機能

AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸 (縦軸) スケールの最小レンジを設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALe]:AUTO:MINimumrange <range>

パラメータ

<range>	Y 軸スケールの最小レンジ
0_5MV	±0.5 mV
1MV	±1 mV
5MV	±5 mV (初期値)
10MV	±10 mV
50MV	±50 mV
100MV	±100 mV
500MV	±500 mV
1V	±1 V

詳細

Time Domain グラフ表示が On, かつ AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸 (縦軸) スケールモードがオートスケールの場合に本コマンドは有効となります。

使用例

AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸スケールの最小レンジを 500 mV に設定する。

DISP:AF:WIND:TRAC:TIM:Y:AUTO:MIN 500MV

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALe]:AUTO:MINimumrange?

Minimum Y Axis Scale Range of AF Measure Graph (Time Domain) Query

機能 AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸 (縦軸) スケールの最小レンジの設定値を読み出します。

クエリ :DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALe]:AUTO:MINimumrange?

レスポンス <range>

パラメータ	<range>	Y 軸スケールの最小レンジ
	0_5MV	±0.5 mV
	1MV	±1 mV
	5MV	±5 mV
	10MV	±10 mV
	50MV	±50 mV
	100M	±100 mV
	500M	±500 mV
	1V	±1 V

使用例 AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸スケールの最小レンジの設定を読み出す。
DISP:AF:WIND:TRAC:TIM:Y:AUTO:MIN?
> 500MV

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALe]:FIXed:RANGe
0_5MV|1MV|5MV|10MV|50MV|100MV|500MV|1V|5V|10V|20V

Y Axis Scale Range of AF Measure Graph (Time Domain)

機能

AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸 (縦軸) スケールが固定モードの場合のレンジ幅を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALe]:FIXed:RANGe <range>

パラメータ

<range>	Y 軸スケールのレンジ幅
0_5MV	±0.5 mV
1MV	±1 mV
5MV	±5 mV
10MV	±10 mV
50MV	±50 mV
100MV	±100 mV
500MV	±500 mV
1V	±1 V (初期値)
5V	±5 V
10V	±10 V
20V	±20 V

詳細

Time Domain グラフ表示が On, かつ AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸 (縦軸) スケールモードが固定スケールの場合に本コマンドは有効となります。

使用例

AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸スケールのレンジ幅を 500 mV に設定する。

DISP:AF:WIND:TRAC:TIM:Y:FIX:RANG 500MV

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALe]:FIXed:RANGe?

Y Axis Scale Range of AF Measure Graph (Time Domain) Query

機能 AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸 (縦軸) スケールが固定レンジの場合のレンジ幅の設定値を読み出します。

クエリ :DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:TIMedomain:Y[:SCALe]:FIXed:RANGe?

レスポンス <range>

パラメータ	<range>	Y 軸スケールのレンジ幅
	0_5MV	±0.5 mV
	1MV	±1 mV
	5MV	±5 mV
	10MV	±10 mV
	50MV	±50 mV
	100MV	±100 mV
	500MV	±500 mV
	1V	±1 V
	5V	±5 V
	10V	±10 V
	20V	±20 V

使用例 AF Measure 結果グラフ (RX, Time Domain) の Y 軸スケールのレンジ幅を読み出す。
DISP:AF:WIND:TRAC:TIM:Y:FIX:RANG?
> 500MV

:CALCulate:AF:RANGe[1]:X <time>

X Axis Range of Time Domain Graph

機能

RX 測定 of Time Domain グラフの表示時間範囲 (X 軸の範囲) を設定します。

コマンド

```
:CALCulate:AF:RANGe[1]:X <time>
```

パラメータ

<time>	グラフの表示時間範囲
範囲	1～200 ms
分解能	1 ms
サフィックスコード	なし, ms 単位
初期値	4 ms

詳細

Time Domain グラフ表示が On のときに設定できます。

使用例

Time Domain グラフの表示時間範囲を 100 ms に設定する。

```
CALC:AF:RANG:X 100
```

:CALCulate:AF:RANGe[1]:X?

X Axis Range of Time Domain Graph Query

機能

RX 測定 of Time Domain グラフの表示時間範囲 (X 軸の範囲) を読み出します。

クエリ

```
:CALCulate:AF:RANGe[1]:X?
```

レスポンス

```
<time>
```

パラメータ

<time>	グラフの表示時間範囲
範囲	1～200 ms
分解能	1 ms
サフィックスコード	なし
	ms 単位の値を返します。

使用例

Time Domain グラフの表示時間範囲を読み出す。

```
CALC:AF:RANG:X?
```

```
> 100
```


:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:TOP:LOG <level>

Y Axis Top Level of Frequency Domain Graph

機能 RX 測定の Frequency Domain グラフ表示の Y 軸の上限値を設定します。

コマンド :DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:TOP:LOG <level>

パラメータ	<level>	Top Level
	範囲	(Bottom Level の設定値 +3)～50 dBV
	分解能	1 dB
	初期値	0 dBV
	サフィックスコード	dBV

詳細 Frequency Domain グラフ表示が On のときに設定できます。

使用例 Frequency Domain グラフの Y 軸の上限値を 1 dBV に設定する。
DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:Y:TOP:LOG 1

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:TOP:LOG?

Y Axis Top Level of Frequency Domain Graph Query

機能

RX 測定の Frequency Domain グラフ表示の Y 軸の上限値を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:TOP:LOG?  
?
```

レスポンス

```
<level>
```

パラメータ

<level>	Top Level
範囲	(Bottom Level の設定値 +3) dBV~50 dBV
分解能	1 dB
初期値	0 dBV
サフィックスコード	なし

dBV 単位の値を返します。

使用例

Frequency Domain グラフの Y 軸の上限値を読み出す。

```
DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:Y:TOP:LOG?  
> 1
```

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:BOTTom:LOG
<level>

Y Axis Bottom Level of Frequency Domain Graph

機能 RX 測定の Frequency Domain グラフ表示の Y 軸の下限值を設定します。

コマンド :DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:BOTTom:LOG <level>

パラメータ	<level>	Bottom Level
	範囲	-200～(Top Level の設定値 -3) dBV
	分解能	1 dB
	初期値	-150 dBV
	サフィックスコード	dBV

詳細 Frequency Domain グラフ表示が On のときに設定できます。

使用例 Frequency Domain グラフの Y 軸の下限値を 1 dBV に設定する。
DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:Y:BOTT:LOG 1

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:BOTTom:LOG?

Y Axis Bottom Level of Frequency Domain Graph Query

機能

RX 測定 of Frequency Domain グラフ表示の Y 軸の下限值を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:Y[:SCALe]:BOTTom:
LOG?

レスポンス

<level>

パラメータ

<level>	Bottom Level
範囲	−200 dBV〜(Top Level の設定値 −3) dBV
分解能	1 dB
サフィックスコード	なし

dBV 単位の値を返します。

使用例

Frequency Domain グラフの Y 軸の下限值を読み出す。
DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:Y:BOTT:LOG?
> 1

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:UNIT LINear|LOG

X Axis Scale of Frequency Domain Graph

機能

RX 測定の Frequency Domain グラフの X 軸（横軸）をリニアスケールまたはログスケールに設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:UNIT
<mode>
```

パラメータ

<mode>	X 軸スケール
LINear	リニアスケール
LOG	ログスケール（初期値）

詳細

Frequency Domain グラフ表示が On のときに設定できます。

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸スケールをリニアスケールにする。
 DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:X:UNIT LIN

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:UNIT?

X Axis Scale of Frequency Domain Graph Query

機能

RX 測定の Frequency Domain グラフの X 軸（横軸）スケールモードを読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:UNIT?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	X 軸スケール
LIN	リニアスケール
LOG	ログスケール

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸スケールを読み出す。
 DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:X:UNIT?
 > LIN

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARtfreq:LINear
<freq>

X Axis (Linear) Min. Frequency of Frequency Domain Graph

機能

RX 測定の Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最小値 (周波数) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARtfreq:LINear <freq>
```

パラメータ

<freq>	X 軸の最小周波数
範囲	10～49950 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	HZ
	省略した場合は Hz として扱います。
初期値	10 Hz

詳細

Frequency Domain グラフ表示が On, かつ X 軸スケールがリニアスケールのときに有効です。

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最小値を 100 Hz に設定する。

```
DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:X:STAR:LIN 100
```

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARtfreq:LINear?
X Axis (Linear) Min. Frequency of Frequency Domain Graph Query

機能
RX 測定の Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最小値 (周波数) を読み出します。

クエリ
:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARtfreq:LINear?

レスポンス
<freq>

パラメータ
<freq> X 軸の最小周波数
範囲 10～49950 Hz
分解能 1 Hz
サフィックスコード なし
Hz 単位の値を返します。

使用例
Frequency Domain グラフ (リニアスケール) の X 軸の最小値を読み出す。
DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:X:STAR:LIN?
> 100

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARtfreq:LOG
<range>

X Axis (Log) Min. Frequency of Frequency Domain Graph

機能

RX 測定の Frequency Domain グラフの X 軸 (ログスケール) の最小値 (周波数) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARtfreq:LOG <range>
```

パラメータ

<range>	X 軸の最小周波数
10HZ	10 Hz (初期値)
20HZ	20 Hz
30HZ	30 Hz
50HZ	50 Hz
100HZ	100 Hz
200HZ	200 Hz
300HZ	300 Hz
500HZ	500 Hz
1KHZ	1 kHz
2KHZ	2 kHz
3KHZ	3 kHz
5KHZ	5 kHz
10KHZ	10 kHz
20KHZ	20 kHz
30KHZ	30 kHz

詳細

Frequency Domain グラフ表示が On, かつ X 軸スケールがログスケールのときに有効です。

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸 (ログスケール) の最小値を 100 Hz に設定する。
DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:X:STAR:LOG 100HZ

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARtfreq:LOG?

X Axis (Log) Min. Frequency of Frequency Domain Graph Query

機能 RX 測定の Frequency Domain グラフの X 軸（ログスケール）の最小値（周波数）を読み出します。

クエリ :DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STARtfreq:LOG?

レスポンス <range>

パラメータ	<range>	X 軸の最小周波数
	10HZ	10 Hz
	20HZ	20 Hz
	30HZ	30 Hz
	50HZ	50 Hz
	100HZ	100 Hz
	200HZ	200 Hz
	300HZ	300 Hz
	500HZ	500 Hz
	1KHZ	1 kHz
	2KHZ	2 kHz
	3KHZ	3 kHz
	5KHZ	5 kHz
	10KHZ	10 kHz
	20KHZ	20 kHz
	30KHZ	30 kHz

使用例 Frequency Domain グラフの X 軸（ログスケール）の最小値を読み出す。
DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:X:STAR:LOG?
> 100HZ

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:LINear
<freq>

X Axis (Linear) Max. Frequency of Frequency Domain Graph

機能

RX 測定の Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最大値 (周波数) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:LINear <freq>
```

パラメータ

<freq>	X 軸の最大周波数
範囲	60～50000 Hz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	HZ
	省略した場合は Hz として扱います。
初期値	20000 Hz

詳細

Frequency Domain グラフ表示が On, かつ X 軸スケールがリニアスケールのときに有効です。

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最大値を 10000 Hz に設定する。

```
DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:X:STOP:LIN 10000
```

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:LINear?
X Axis (Linear) Max. Frequency of Frequency Domain Graph Query

機能	RX 測定の Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最大値 (周波数) を読み出します。		
クエリ	:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:LINear?		
レスポンス	<freq>		
パラメータ	<freq>	X 軸の最大周波数	
	範囲	60～50000 Hz	
	分解能	1 Hz	
	サフィックスコード	なし	
		Hz 単位の値を返します。	
使用例	Frequency Domain グラフの X 軸 (リニアスケール) の最大値を読み出す。 DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:X:STOP:LIN? > 10000		

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:LOG
<range>

X Axis (Log) Max. Frequency of Frequency Domain Graph

機能

RX 測定の Frequency Domain グラフの X 軸 (ログスケール) の最大値 (周波数) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:LOG <range>

パラメータ

<range>	X 軸の最大周波数
20HZ	20 Hz
30HZ	30 Hz
50HZ	50 Hz
100HZ	100 Hz
200HZ	200 Hz
300HZ	300 Hz
500HZ	500 Hz
1KHZ	1 kHz
2KHZ	2 kHz
3KHZ	3 kHz
5KHZ	5 kHz
10KHZ	10 kHz
20KHZ	20 kHz (初期値)
30KHZ	30 kHz
50KHZ	50 kHz

詳細

Frequency Domain グラフ表示が On, かつ X 軸スケールがログスケールのときに有効です。

使用例

Frequency Domain グラフの X 軸 (ログスケール) の最大値を 1 kHz に設定する。
DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:X:STOP:LOG 1KHZ

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:LOG?

X Axis (Log) Max. Frequency of Frequency Domain Graph Query

機能 RX 測定の Frequency Domain グラフの X 軸（ログスケール）の最大値（周波数）を読み出します。

クエリ :DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:X[:SCALe]:STOPfreq:LOG?

レスポンス <range>

パラメータ	<range>	X 軸の最小周波数
	20HZ	20 Hz
	30HZ	30 Hz
	50HZ	50 Hz
	100HZ	100 Hz
	200HZ	200 Hz
	300HZ	300 Hz
	500HZ	500 Hz
	1KHZ	1 kHz
	2KHZ	2 kHz
	3KHZ	3 kHz
	5KHZ	5 kHz
	10KHZ	10 kHz
	20KHZ	20 kHz
	30KHZ	30 kHz
	50KHZ	50 kHz

使用例 Frequency Domain グラフの X 軸（ログスケール）の最大値を読み出す。
DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:X:STOP:LOG?
> 1KHZ

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:WINDowfunction

RECTangular|HANN|BLACkmanharris|HAMMing|FLATtop

Window Function of Frequency Domain Graph

機能

RX 測定の Frequency Domain グラフの窓関数を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:WINDowfunction  
<window>
```

パラメータ

<window>	窓関数
RECTangular	Rectangular window
HANN	Hann window
BLACkmanharris	Blackman-Harris window
HAMMing	Hamming window
FLATtop	Flat-top window
初期値	HANN

詳細

Frequency Domain グラフ表示が On のときに設定できます。

使用例

Frequency Domain グラフの窓関数を Rectangular に設定する。

```
DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:WIND RECT
```

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:WINDowfunction?

Window Function of Frequency Domain Graph Query

機能

RX 測定の Frequency Domain グラフの窓関数を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:WINDow[1]:TRACe:FREQdomain:WINDowfunction?

レスポンス

<window>

パラメータ

<window>	窓関数
RECT	Rectangular window
HANN	Hann window
BLAC	Blackman-Harris window
HAMM	Hamming window
FLAT	Flat-top window
初期値	HANN

使用例

Frequency Domain グラフ (RX) の窓関数を読み出す。
DISP:AF:WIND:TRAC:FREQ:WIND?
> RECT

:CALCulate:AF:MARKer:MODE DELTa|NORMal|OFF

Maker Mode of Time Domain Graph

機能

RX 測定の Time Domain グラフマーカの表示モードを設定します。

コマンド

```
:CALCulate:AF:MARKer:MODE <mode>
```

パラメータ

<mode>	マーカモード
DELTA	デルタマーカの表示
NORMAL	ノーマルマーカの表示
OFF	マーカの非表示
初期値	OFF

詳細

Time Domain グラフ表示が On のときに設定できます。

使用例

Time Domain グラフのマーカをノーマルマーカ表示に設定する。
CALC:AF:MARK:MODE NORM

:CALCulate:AF:MARKer:MODE?

Maker Mode of Time Domain Graph Query

機能

RX 測定の Time Domain グラフマーカの表示設定を読み出します。

クエリ

```
:CALCulate:AF:MARKer:MODE?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	マーカモード
DELTA	デルタマーカの表示
NORM	ノーマルマーカの表示
OFF	マーカの非表示

使用例

Time Domain グラフのマーカモードの状態を読み出す。
CALC:AF:MARK:MODE?
> NORM

:CALCulate:AF:MARKer[1]|2:X <time>

Marker X Axis Position of Time Domain Graph

機能

RX 測定の Time Domain グラフのマーカ位置を設定します。

コマンド

:CALCulate:AF:MARKer[1]|2:X <time>

パラメータ

<time>	マーカ位置
範囲	0～RX 測定の Time Range 設定値
分解能	1/192 ms
サフィックスコード	なし (ms 単位)
初期値	0 ms

詳細

マーカ位置の設定は分解能で丸められます。

使用例

グラフのマーカ位置を 1 ms に設定する。
CALC:AF:MARK:X 1

:CALCulate:AF:MARKer[1]|2:X?

Marker X Axis Position of Time Domain Query

機能

RX 測定の Time Domain グラフのマーカ位置とレベルを読み出します。

クエリ

:CALCulate:AF:MARKer[1]|2:X?

レスポンス

<time>,<level>

パラメータ

<time>	マーカ位置
範囲	0～RX 測定の Time Range 設定値
分解能	1/192 ms
サフィックスコード	なし
	ms 単位の値を返します。
<level>	レベル
サフィックスコード	なし
	V 単位の値を返します。

使用例

グラフのマーカ位置を読み出す。
CALC:AF:MARK:X?
> 0.9999999,0.532

:CALCulate:AF:MARKer:FREQuency:MODE DELTa|NORMal|OFF

Maker Mode of Frequency Domain Graph

機能 RX 測定の Frequency Domain グラフマーカの表示モードを設定します。

コマンド :CALCulate:AF:MARKer:FREQuency:MODE <mode>

パラメータ	
<mode>	マーカモード
DELTA	デルタマーカの表示
NORMAL	ノーマルマーカの表示
OFF	マーカの非表示
初期値	OFF

詳細 Frequency Domain グラフ表示が On のときに設定できます。

使用例 Frequency Domain グラフのマーカをノーマルマーカ表示に設定する。
 CALC:AF:MARK:FREQ:MODE NORM

:CALCulate:AF:MARKer:FREQuency:MODE?

Maker Mode of Frequency Domain Graph Query

機能 RX 測定の Frequency Domain グラフマーカの表示設定を読み出します。

クエリ :CALCulate:AF:MARKer:FREQuency:MODE?

レスポンス <mode>

パラメータ	
<mode>	マーカモード
DELTA	デルタマーカの表示
NORM	ノーマルマーカの表示
OFF	マーカの非表示

使用例 Frequency Domain グラフのマーカモードの表示設定を読み出す。
 CALC:AF:MARK:FREQ:MODE?
 > NORM

:CALCulate:AF:MARKer[1]|2:FREQuency:X <freq>

Maker X Axis Position of Frequency Domain Graph

機能

RX 測定 of Frequency Domain グラフのマーカ位置を周波数単位で設定します。

コマンド`:CALCulate:AF:MARKer[1]|2:FREQuency:X <freq>`**パラメータ**

<freq>	マーカ位置
範囲	X 軸の範囲に依存
分解能	RX 測定 of Time Range 設定 ≤ 20: (192000/8192) Hz RX 測定 of Time Range 設定 > 20: (192000/32768) Hz
サフィックスコード	なし
初期値	23.437500 Hz

詳細

Marker1 の場合, Frequency Domain グラフマーカを表示しているときに有効です。

Marker2 の場合, Frequency Domain グラフのデルタマーカを表示しているときに有効です。

使用例

グラフのマーカ位置を 100 Hz* に設定する。

*: ただし, 実際の値は分解能で丸められます。

`CALC:AF:MARK:FREQ:X 100`

:CALCulate:AF:MARKer[1]|2:FREQuency:X?

Maker X Axis Position of Frequency Domain Graph Query

機能	RX 測定の Frequency Domain グラフのマーカ位置とレベルを読み出します。		
クエリ	:CALCulate:AF:MARKer[1] 2:FREQuency:X?		
レスポンス	<freq>,<level>		
パラメータ	<freq>	マーカ位置	
	範囲	X 軸の範囲に依存	
	分解能	RX 測定の Time Range 設定 ≤ 20: (192000/8192) Hz	
		RX 測定の Time Range 設定 > 20: (192000/32768) Hz	
	サフィックスコード	なし	Hz 単位の値を返します。
	<level>	レベル	
	サフィックスコード	なし	dBV 単位の値を返します。
使用例	グラフのマーカ位置を読み出す。 CALC:AF:MARK:FREQ:X? > 117.187500,-136.42		

:CALCulate:AF:MARKer[1]|2:FREQuency:X:PEAK

Peak Search of Frequency Domain Graph

機能

RX 測定 of Frequency Domain グラフの Y 軸の最大レベルを検出し、マーカを最大レベルの位置に移動させます。

コマンド

```
:CALCulate:AF:MARKer[1]|2:FREQuency:X:PEAK
```

詳細

Frequency Domain グラフを表示しているときに設定できます。

使用例

Frequency Domain グラフの Y 軸の最大レベル位置にマーカを移動させる。
CALC:AF:MARK:FREQ:X:PEAK

:CALCulate:AF:MARKer[1]|2:FREQuency:X:NEXTpeak

Next Peak Search of Frequency Domain Graph

機能

RX 測定 of Frequency Domain グラフで、現在のマーカ読み取り値の次にレベルが高い位置にマーカを移動させます。

コマンド

```
:CALCulate:AF:MARKer[1]|2:FREQuency:X:NEXTpeak
```

詳細

Frequency Domain グラフを表示しているときに設定できます。

使用例

Frequency Domain グラフのマーカ 1 を、現在の読み取り値の次にレベルが高い位置にマーカを移動させる。
CALC:AF:MARK:FREQ:X:NEXT

:SENSe[1]:VOLTage:RANGe[:UPPer] 50MVP|500MVP|5VP|50VP

Input Range of AF Input

機能

AF Input 端子の入力レンジを切り替えます。

コマンド

:SENSe[1]:VOLTage:RANGe[:UPPer] <range>

パラメータ

<range>	Input Range
50MVP	0.5 mVp
500MVP	500 mVp
5VP	5 Vp (初期値)
50VP	50 Vp

使用例

AF Input 端子の入力レンジを 50 Vp に設定する。

SENS:VOLT:RANG 50VP

:SENSe[1]:VOLTage:RANGe[:UPPer]?

Input Range of AF Input Query

機能

AF Input 端子の入力レンジの設定値を読み出します。

クエリ

:SENSe[1]:VOLTage:RANGe[:UPPer]?

レスポンス

<range>

パラメータ

<range>	Input Range
50MVP	0.5 mVp
500MVP	500 mVp
5VP	5 Vp
50VP	10 Vp

使用例

AF Input 端子の入力レンジの設定値を読み出す。

SENS:VOLT:RANG?

> 50VP

:SENSe[1]:TYPE BALance|UNBalance

AF Input Type

機能

AF Input の Type を切り替えます。

コマンド

```
:SENSe[1]:TYPE <type>
```

パラメータ

<type>	AF Input の Type
BALance	Input をバランス入力にする
UNBalance	Input をアンバランス入力にする
初期値	UNBalance

使用例

AF Input をバランス入力に切り替える。

```
SENS:TYPE BAL
```

:SENSe[1]:TYPE?

AF Input Type Query

機能

AF Input の Type を読み出します。

クエリ

```
:SENSe[1]:TYPE?
```

レスポンス

```
<type>
```

パラメータ

<type>	AF Input の Type
BAL	バランス入力
UNB	アンバランス入力

使用例

AF Input の状態を読み出す。

```
SENS:TYPE?
```

```
> BAL
```


:SENSe[1]:REFerence:IMPedance <impedance>

AF Input Impedance Reference

機能

電力換算時に使用する参照インピーダンス値を設定します。

コマンド

:AF:SOURce[1]:REFerence:IMPedance <impedance>

パラメータ

<impedance>	AF Input の参照インピーダンス
範囲	0.01～10000000000.00 Ω
分解能	0.01 Ω
サフィックスコード	なし
初期値	600 Ω

使用例

AF Input の参照インピーダンスを 8 Ωに設定する。
SENS:REF:IMP 8

:SENSe[1]:REFerence:IMPedance?

AF Input Impedance Reference Query

機能

電力換算時に使用する参照インピーダンス値を読み出します。

クエリ

:AF:SOURce[1]:REFerence:IMPedance?

レスポンス

<impedance>

パラメータ

<impedance>	AF Input の参照インピーダンス
範囲	0.01～10000000000.00 Ω
分解能	0.01 Ω
サフィックスコード	なし
	Ω単位で値を返します。

使用例

AF Input の参照インピーダンスを読み出す。
SENS:REF:IMP?
> 8.00

:SENSe[1]:AF:LEVel:UNIT VRMS|DBU|DBV|W|DBM

AF Level Unit

機能

AF Input Level の測定結果の単位を設定します。

コマンド

```
:AF:SOURce[1]:LEVel:UNIT <unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
VRMS	Vrms (初期値)
DBU	dBu
DBV	dBV
W	W
DBM	dBm

詳細

AF Set Reference が On の場合は、設定できません。

使用例

AF Input Level の測定結果を dBm に設定する。

```
SENS:AF:LEV:UNIT DBM
```

:SENSe[1]:AF:LEVel:UNIT?

AF Level Unit Query

機能

AF Input Level の測定結果の単位を読み出します。

クエリ

```
:AF:SOURce[1]:LEVel:UNIT?
```

レスポンス

```
<unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
VRMS	Vrms
DBU	dBu
DBV	dBV
W	W
DBM	dBm

使用例

AF Input Level の測定結果の単位を読み出す。

```
SENS:AF:LEV:UNIT?
```

```
> DBM
```

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel ON|OFF|1|0

AF Level Meter State

機能 RX 測定の AF Level メータの表示・非表示を設定します。

コマンド :DISPlay:AF:MEter:AFLevel <switch>

パラメータ	<switch>	メータの表示 On/Off
	ON 1	メータの表示 On
	OFF 0	メータの表示 Off
	初期値	ON

使用例 AF Level メータの表示を On に設定する。
DISP:AF:MET:AFL ON

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel?

AF Level Meter State Query

機能 RX 測定の AF Level メータの状態を読み出します。

クエリ :DISPlay:AF:MEter:AFLevel?

レスポンス <switch>

パラメータ	<switch>	メータの表示 On/Off
	1	メータの表示 On
	0	メータの表示 Off

使用例 AF Level メータの状態を読み出す。
DISP:AF:MET:AFL?
> 1

:DISPlay:AF:MEter:SINad ON|OFF|1|0

SINAD Meter State

機能

RX 測定の SINAD メータの表示・非表示を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad <switch>
```

パラメータ

<switch>	メータの表示 On/Off
ON 1	メータの表示 On
OFF 0	メータの表示 Off
初期値	ON

使用例

SINAD メータの表示を On に設定する。

```
DISP:AF:MET:SIN ON
```

:DISPlay:AF:MEter:SINad?

SINAD Meter State Query

機能

RX 測定の SINAD メータの状態を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	メータの表示 On/Off
1	メータの表示 On
0	メータの表示 Off

使用例

SINAD メータの状態を読み出す。

```
DISP:AF:MET:SIN?
```

```
> 1
```

:DISPlay:AF:MEter:THDN ON|OFF|1|0

THD+N Meter State

機能

RX 測定の THD+N メータの表示・非表示を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEter:THDN <switch>

パラメータ

<switch>	メータの表示 On/Off
ON 1	メータの表示 On
OFF 0	メータの表示 Off
初期値	OFF

使用例

THD+N メータの表示を On に設定する。
DISP:AF:MET:THDN ON

:DISPlay:AF:MEter:THDN?

THD+N Meter State Query

機能

RX 測定の THD+N のメータの状態を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEter:THDN?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	メータの表示 On/Off
1	メータの表示 On
0	メータの表示 Off

使用例

THD+N メータの状態を読み出す。
DISP:AF:MET:THDN?
> 1

:DISPlay:AF:MEter:THD ON|OFF|1|0

THD Meter State

機能

RX 測定の THD メータの表示・非表示を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:THD <switch>
```

パラメータ

<switch>	メータの表示 On/Off
ON 1	メータの表示 On
OFF 0	メータの表示 Off
初期値	OFF

使用例

THD メータの表示を On に設定する。

```
DISP:AF:MET:THD ON
```

:DISPlay:AF:MEter:THD?

THD Meter State Query

機能

RX 測定の THD メータの状態を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:THD?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	メータの表示 On/Off
1	メータの表示 On
0	メータの表示 Off

使用例

THD メータの状態を読み出す。

```
DISP:AF:MET:THD?
```

```
> 1
```

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:JUDGe ON|OFF|1|0

AF Level Deflection Judge

機能

RX 測定の AF Level の Deflection Judge の On/Off を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:JUDGe <switch>

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
ON 1	On
OFF 0	Off
初期値	OFF

詳細

AF Level メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

AF Level の Deflection Judge を On に設定する。

DISP:AF:MET:AFL:JUDG ON

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:JUDGe?

AF Level Deflection Judge Query

機能	RX 測定の AF Level の Deflection Judge の On/Off を読み出します。							
クエリ	:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:JUDGe?							
レスポンス	<switch>							
パラメータ	<table><tr><td><switch></td><td>Deflection Judge の On/Off</td></tr><tr><td>1</td><td>On</td></tr><tr><td>0</td><td>Off</td></tr></table>	<switch>	Deflection Judge の On/Off	1	On	0	Off	
<switch>	Deflection Judge の On/Off							
1	On							
0	Off							
使用例	AF Level の Deflection Judge の状態を読み出す。 DISP:AF:MET:AFL:JUDG? > 1							

:DISPlay:AF:MEter:SINad:JUDGe ON|OFF|1|0

SINAD Deflection Judge

機能

RX 測定 of SINAD の Deflection Judge の On/Off を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:JUDGe <switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
ON 1	On
OFF 0	Off
初期値	OFF

詳細

SINAD メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

SINAD の Deflection Judge を On に設定する。
DISP:AF:MET:SIN:JUDG ON

:DISPlay:AF:MEter:SINad:JUDGe?

SINAD Deflection Judge Query

機能

RX 測定 of SINAD の Deflection Judge の On/Off を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:JUDGe?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
1	On
0	Off

使用例

SINAD の Deflection Judge の状態を読み出す。
DISP:AF:MET:SIN:JUDG?
> 1

:DISPlay:AF:MEtEr:THDN:JUDGe ON|OFF|1|0

THD+N Deflection Judge

機能

RX 測定の THD+N の Deflection Judge の On/Off を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEtEr:THDN:JUDGe <switch>

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
ON 1	On
OFF 0	Off
初期値	OFF

詳細

THD+N のメータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

THD+N の Deflection Judge を On に設定する。
DISP:AF:MET:THDN:JUDG ON

:DISPlay:AF:MEtEr:THDN:JUDGe?

THD+N Deflection Judge Query

機能

RX 測定の THD+N の Deflection Judge の On/Off を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEtEr:THDN:JUDGe?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
1	On
0	Off

使用例

THD+N の Deflection Judge の状態を読み出す。
DISP:AF:MET:THDN:JUDG?
> 1

:DISPlay:AF:MEter:THD:JUDGe ON|OFF|1|0

THD Deflection Judge

機能

RX 測定 of THD の Deflection Judge の On/Off を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:THD:JUDGe <switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
ON 1	On
OFF 0	Off
初期値	OFF

詳細

THD メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

THD の Deflection Judge を On に設定する。
DISP:AF:MET:THD:JUDG ON

:DISPlay:AF:MEter:THD:JUDGe?

THD Deflection Judge Query

機能

RX 測定 of THD の Deflection Judge の On/Off を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:THD:JUDGe?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection Judge の On/Off
1	On
0	Off

使用例

THD の Deflection Judge の状態を読み出す。
DISP:AF:MET:THD:JUDG?
> 1

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference:AFLU MINimum|CENTer|MAXimum
Reference of AF Level Meter (AFLU)

機能

RX 測定 の AF Level メータの基準 (AFLU) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference:AFLU <mode>

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小
CENTer	中心 (初期値)
MAXimum	最大

詳細

AF Level メータが On, かつ表示単位が AFLU の場合に設定できます。

使用例

AF Level メータの基準を中心に設定する。
DISP:AF:MET:AFL:REF:AFLU CENT

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference:AFLU?
Reference of AF Level Meter (AFLU) Query

機能	RX 測定の AF Level メータの基準 (AFLU) を読み出します。									
クエリ	:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference:AFLU?									
レスポンス	<mode>									
パラメータ	<table><tr><td><mode></td><td>メータの基準</td></tr><tr><td>MIN</td><td>最小</td></tr><tr><td>CENT</td><td>中心</td></tr><tr><td>MAX</td><td>最大</td></tr></table>	<mode>	メータの基準	MIN	最小	CENT	中心	MAX	最大	
<mode>	メータの基準									
MIN	最小									
CENT	中心									
MAX	最大									
使用例	AF Level メータの基準を読み出す。 DISP:AF:MET:AFL:REF:AFLU? > CENT									

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference:PERCent

MINimum|CENTer|MAXimum

Reference of AF Level Meter (%)

機能

RX 測定の AF Level メータの基準 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference:PERCent <mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小 (初期値)
CENTer	中心
MAXimum	最大

詳細

AF Level メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

AF Level メータの基準を中心に設定する。
DISP:AF:MET:AFL:REF:PERC CENT

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference:PERCent?

Reference of AF Level Meter (%) Query

機能

RX 測定の AF Level メータの基準 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference:PERCent?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MIN	最小
CENT	中心
MAX	最大

使用例

AF Level メータの基準を読み出す。
DISP:AF:MET:AFL:REF:PERC?
> CENT

:DISPlay:AF:MEter:SINad:REference:DB MINimum|CENTer|MAXimum
Reference of SINAD Meter (dB)

機能

RX 測定の SINAD メータの基準 (dB 単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEter:SINad:REference:DB <mode>

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小
CENTer	中心 (初期値)
MAXimum	最大

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの基準を中心に設定する。
DISP:AF:MET:SIN:REF:DB CENT

:DISPlay:AF:MEter:SINad:REference:DB?
Reference of SINAD Meter (dB) Query

機能

RX 測定の SINAD メータの基準 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEter:SINad:REference:DB?

レスポンス

<mode>

パラメータ

<mode>	メータの基準
MIN	最小
CENT	中心
MAX	最大

使用例

SINAD メータの基準を読み出す。
DISP:AF:MET:SIN:REF:DB?
> CENT

:DISPlay:AF:MEter:SINad:REference:PERCent

MINimum|CENTer|MAXimum

Reference of SINAD Meter (%)

機能

RX 測定の SINAD メータの基準 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:REference:PERCent <mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小 (初期値)
CENTer	中心
MAXimum	最大

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの基準を中心に設定する。
DISP:AF:MET:SIN:REF:PERC CENT

:DISPlay:AF:MEter:SINad:REference:PERCent?

Reference of SINAD Meter (%) Query

機能

RX 測定の SINAD メータの基準 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:REference:PERCent?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MIN	最小
CENT	中心
MAX	最大

使用例

SINAD メータの基準を読み出す。
DISP:AF:MET:SIN:REF:PERC?
> CENT

:DISPlay:AF:MEter:THDN:REFeRence:DB MINimum|CENTer|MAXimum
Reference of THD+N Meter (dB)

機能	RX 測定の THD+N メータの基準 (dB 単位) を設定します。	
コマンド	:DISPlay:AF:MEter:THDN:REFeRence:DB <mode>	
パラメータ	<mode>	メータの基準
	MINimum	最小
	CENTer	中心 (初期値)
	MAXimum	最大
詳細	THD+N メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。	
使用例	THD+N メータの基準を中心に設定する。 DISP:AF:MET:THDN:REF:DB CENT	

:DISPlay:AF:MEter:THDN:REFeRence:DB?
Reference of THD+N Meter (dB) Query

機能	RX 測定の THD+N メータの基準 (dB 単位) を読み出します。	
クエリ	:DISPlay:AF:MEter:THDN:REFeRence:DB?	
レスポンス	<mode>	
パラメータ	<mode>	メータの基準
	MIN	最小
	CENT	中心
	MAX	最大
使用例	THD メータの基準を読み出す。 DISP:AF:MET:THDN:REF:DB? > CENT	

:DISPlay:AF:METer:THDN:REFeRence:PERCent

MINimum|CENTer|MAXimum

Reference of THD+N Meter (%)

機能

RX 測定の THD+N メータの基準 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:METer:THDN:REFeRence:PERCent <mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小 (初期値)
CENTer	中心
MAXimum	最大

詳細

THD+N メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD+N メータの基準を中心に設定する。
DISP:AF:MET:THDN:REF:PERC CENT

:DISPlay:AF:METer:THDN:REFeRence:PERCent?

Reference of THD+N Meter (%) Query

機能

RX 測定の THD+N メータの基準 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:METer:THDN:REFeRence:PERCent?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	メータの基準
MIN	最小
CENT	中心
MAX	最大

使用例

THD+N メータの基準を読み出す。
DISP:AF:MET:THDN:REF:PERC?
> CENT

:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:DB MINimum|CENTer|MAXimum
Reference of THD Meter (dB)

機能	RX 測定の THD メータの基準 (dB 単位) を設定します。	
コマンド	:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:DB <mode>	
パラメータ	<mode>	メータの基準
	MINimum	最小
	CENTer	中心 (初期値)
	MAXimum	最大
詳細	THD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。	
使用例	THD メータの基準を中心に設定する。 DISP:AF:MET:THD:REF:DB CENT	

:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:DB?
Reference of THD Meter (dB) Query

機能	RX 測定の THD メータの基準 (dB 単位) を読み出します。	
クエリ	:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:DB?	
レスポンス	<mode>	
パラメータ	<mode>	メータの基準
	MIN	最小
	CENT	中心
	MAX	最大
使用例	THD メータの基準を読み出す。 DISP:AF:MET:THD:REF:DB? > CENT	

:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:PERCent MINimum|CENTer|MAXimum
Reference of THD Meter (%)

機能

RX 測定 of THD メータの基準 (%単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:PERCent <mode>

パラメータ

<mode>	メータの基準
MINimum	最小 (初期値)
CENTer	中心
MAXimum	最大

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD メータの基準を中心に設定する。
DISP:AF:MET:THD:REF:PERC CENT

:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:PERCent?

Reference of THD Meter (%) Query

機能

RX 測定 of THD メータの基準 (%単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:PERCent?

レスポンス

<mode>

パラメータ

<mode>	メータの基準
MIN	最小
CENT	中心
MAX	最大

使用例

THD メータの基準を読み出す。
DISP:AF:MET:THD:REF:PERC?
> CENT

:DISPlay:AF:MEtEr:AFLeveL:REFeRence:VALue:AFLU <ref_val>

Reference Value of AF Level Meter (AFLU)

機能

RX 測定の AF Level メータの基準値 (AFLU) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEtEr:AFLeveL:REFeRence:VALue:AFLU <ref_val>

AFLU の場合に設定できます。

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.0~1000.0
分解能	0.1
サフィックスコード	なし
初期値	0

使用例

AF Level メータの基準値を 0 に設定する。

DISP:AF:MET:AFL:REF:VAL:AFLU 0

:DISPlay:AF:MEtEr:AFLeveL:REFeRence:VALue:AFLU?

Reference Value of AF Level Meter (AFLU) Query

機能

RX 測定の AF Level メータの基準値 (AFLU) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEtEr:AFLeveL:REFeRence:VALue:AFLU?

レスポンス

<ref_val>

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.0~1000.0
分解能	0.1
サフィックスコード	なし

使用例

AF Level メータの基準値を読み出す。

DISP:AF:MET:AFL:REF:VAL:AFLU?

> 0.0

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference:VALue:PERCent <ref_val>

Reference Value of AF Level Meter (%)

機能

RX 測定 of AF Level メータの基準値 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference:VALue:PERCent  
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%
初期値	0.00%

詳細

AF Level メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

AF Level メータの基準値を 10% に設定する。
DISP:AF:MET:AFL:REF:VAL:PERC 10

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference:VALue:PERCent?

Reference Value of AF Level Meter (%) Query

機能

RX 測定 of AF Level メータの基準値 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference:VALue:PERCent?
```

レスポンス

```
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%

使用例

AF Level メータの基準値を読み出す。
DISP:AF:MET:AFL:REF:VAL:PERC?
> 10.00

:DISPlay:AF:MEter:SINad:REference:VALue:DB <ref_val>

Reference Value of SINAD Meter (dB)

機能

RX 測定の SINAD メータの基準値 (dB 単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:AF:MEter:SINad:REference:VALue:DB <ref_val>****パラメータ**

<ref_val>	メータの基準値
範囲	-100.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	12.0 dB

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの基準値を 10 dB に設定する。

DISP:AF:MET:SIN:REF:VAL:DB 10

:DISPlay:AF:MEter:SINad:REference:VALue:DB?

Reference Value of SINAD Meter (dB) Query

機能

RX 測定の SINAD メータの基準値 (dB 単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AF:MEter:SINad:REference:VALue:DB?****レスポンス**

<ref_val>

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	-100.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

SINAD メータの基準値を読み出す。

DISP:AF:MET:SIN:REF:VAL:DB?
> 10.0

:DISPlay:AF:METer:SINad:REFeRence:VALue:PERCent <ref_val>

Reference Value of SINAD Meter (%)

機能

RX 測定 of SINAD メータの基準値 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:METer:SINad:REFeRence:VALue:PERCent <ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%
初期値	0.00%

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの基準値を 10% に設定する。
DISP:AF:MET:SIN:REF:VAL:PERC 10

:DISPlay:AF:METer:SINad:REFeRence:VALue:PERCent?

Reference Value of SINAD Meter (%) Query

機能

RX 測定 of SINAD メータの基準値 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:METer:SINad:REFeRence:VALue:PERCent?
```

レスポンス

```
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%

使用例

SINAD メータの基準値を読み出す。
DISP:AF:MET:SIN:REF:VAL:PERC?
> 10.00

:DISPlay:AF:MEter:THDN:REFeRence:VALue:DB <ref_val>

Reference Value of THD+N Meter (dB)

機能

RX 測定の THD+N メータの基準値 (dB 単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:AF:MEter:THDN:REFeRence:VALue:DB <ref_val>****パラメータ**

<ref_val>	メータの基準値
範囲	-100.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	-30.0 dB

詳細

THD+N メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

THD+N メータの基準値を 10 dB に設定する。

DISP:AF:MET:THDN:REF:VAL:DB 10

:DISPlay:AF:MEter:THDN:REFeRence:VALue:DB?

Reference Value of THD+N Meter (dB) Query

機能

RX 測定の THD+N メータの基準値 (dB 単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AF:MEter:THDN:REFeRence:VALue:DB?****レスポンス**

<ref_val>

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	-100.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

THD+N メータの基準値を読み出す。

DISP:AF:MET:THDN:REF:VAL:DB?

> 10.0

:DISPlay:AF:MEtEr:THDN:REFErence:VALue:PERCent <ref_val>

Reference Value of THD+N Meter (%)

機能

RX 測定 of THD+N メータの基準値 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEtEr:THDN:REFErence:VALue:PERCent <ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%
初期値	0.00%

詳細

THD+N メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD+N メータの基準値を 10% に設定する。
DISP:AF:MET:THDN:REF:VAL:PERC 10

:DISPlay:AF:MEtEr:THDN:REFErence:VALue:PERCent?

Reference Value of THD+N Meter (%) Query

機能

RX 測定 of THD+N メータの基準値 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEtEr:THDN:REFErence:VALue:PERCent?
```

レスポンス

```
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%

使用例

THD+N メータの基準値を読み出す。
DISP:AF:MET:THDN:REF:VAL:PERC?
> 10.00

:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:VALue:DB <ref_val>

Reference Value of THD Meter (dB)

機能

RX 測定の THD メータの基準値 (dB 単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:VALue:DB <ref_val>****パラメータ**

<ref_val>	メータの基準値
範囲	-100.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	-30.0 dB

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

THD メータの基準値を 10 dB に設定する。

DISP:AF:MET:THD:REF:VAL:DB 10

:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:VALue:DB?

Reference Value of THD Meter (dB) Query

機能

RX 測定の THD メータの基準値 (dB 単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:VALue:DB?****レスポンス**

<ref_val>

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	-100.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

THD メータの基準値を読み出す。

DISP:AF:MET:THD:REF:VAL:DB?

> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:VALue:PERCent <ref_val>

Reference Value of THD Meter (%)

機能

RX 測定 of THD メータの基準値 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:VALue:PERCent <ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%
初期値	0.00%

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD メータの基準値を 10%に設定する。
DISP:AF:MET:THD:REF:VAL:PERC 10

:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:VALue:PERCent?

Reference Value of THD Meter (%) Query

機能

RX 測定 of THD メータの基準値 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:THD:REference:VALue:PERCent?
```

レスポンス

```
<ref_val>
```

パラメータ

<ref_val>	メータの基準値
範囲	0.00～10000.00%
分解能	0.01%

使用例

THD メータの基準値を読み出す。
DISP:AF:MET:THD:REF:VAL:PERC?
> 10.00

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:RNG1:AFLU <val>

Range1 of AF Level Meter (AFLU)

機能

RX 測定の AF Level メータの Range1 (AFLU) を設定します。

コマンド**:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:RNG1:AFLU <val>****パラメータ**

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～1000.0
分解能	0.1
サフィックスコード	なし
初期値	2.0

詳細

AF Level メータが On, かつ表示単位が AFLU の場合に設定できます。

使用例

AF Level メータの Range1 を 5 に設定する。

DISP:AF:MET:AFL:RNG1:AFLU 5

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:RNG1:AFLU?

Range1 of AF Level Meter (AFLU) Query

機能

RX 測定の AF Level メータの Range1 (AFLU) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:RNG1:AFLU?****レスポンス**

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～1000.0
分解能	0.1
サフィックスコード	なし

使用例

AF Level メータの Range1 を読み出す。

DISP:AF:MET:AFL:RNG1:AFLU?

> 5.0

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:RNG1:PERCent <val>

Range1 of AF Level Meter (%)

機能

RX 測定 of AF Level メータの Range1 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:RNG1:PERCent <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	10.0%

詳細

AF Level メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

AF Level メータの Range1 を 10%に設定する。
DISP:AF:MET:AFL:RNG1:PERC 10

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:RNG1:PERCent?

Range1 of AF Level Meter (%) Query

機能

RX 測定 of AF Level メータの Range1 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:RNG1:PERCent?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

AF Level メータの Range1 を読み出す。
DISP:AF:MET:AFL:RNG1:PERC?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:RNG2:AFLU <val>

Range2 of AF Level Meter (AFLU)

機能

RX 測定の AF Level メータの Range2 (AFLU) を設定します。

コマンド**:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:RNG2:AFLU <val>****パラメータ**

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～1000.0
分解能	0.1
サフィックスコード	なし
初期値	5.0

詳細

AF Level メータが On, かつ表示単位が AFLU の場合に設定できます。

使用例

AF Level メータの Range2 を 10 に設定する。

DISP:AF:MET:AFL:RNG2:AFLU 10

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:RNG2:AFLU?

Range2 of AF Level Meter (AFLU) Query

機能

RX 測定の AF Level メータの Range2 (AFLU) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:RNG2:AFLU?****レスポンス**

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～1000.0
分解能	0.1
サフィックスコード	なし

使用例

AF Level メータの Range2 を読み出す。

DISP:AF:MET:AFL:RNG2:AFLU?

> 10.0

:DISPlay:AF:METer:AFLevel:RNG2:PERCent <val>

Range2 of AF Level Meter (%)

機能

RX 測定 of AF Level メータの Range2 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:METer:AFLevel:RNG2:PERCent <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	20.0%

詳細

AF Level メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

AF Level メータの Range2 を 10%に設定する。
DISP:AF:MET:AFL:RNG2:PERC 10

:DISPlay:AF:METer:AFLevel:RNG2:PERCent?

Range2 of AF Level Meter (%) Query

機能

RX 測定 of AF Level メータの Range2 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:METer:AFLevel:RNG2:PERCent?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

AF Level メータの Range2 を読み出す。
DISP:AF:MET:AFL:RNG1:PERC?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:JUDGe:RANGe:AFLU <val>

Pass Range of AF Level Meter (AFLU)

機能

RX 測定の AF Level メータの Pass Range (AFLU) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:JUDGe:RANGe:AFLU <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.000
分解能	0.001
サフィックスコード	なし
初期値	3.000

詳細

AF Level メータが On, かつ AF Level メータの Deflection View が On, かつ表示単位が AFLU の場合に設定できます。

使用例

AF Level メータの Pass Range を 10 に設定する。
DISP:AF:MET:AFL:JUDG:RANG:AFLU 10

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:JUDGe:RANGe:AFLU?

Pass Range of AF Level Meter (AFLU) Query

機能

RX 測定の AF Level メータの Pass Range (AFLU) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:JUDGe:RANGe:AFLU?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.000
分解能	0.001
サフィックスコード	なし

使用例

AF Level メータの Pass Range を読み出す。
DISP:AF:MET:AFL:JUDG:RANG:AFLU?
> 10.0

:DISPlay:AF:METer:AFLevel:JUDGe:RANGe:PERCent <val>

Pass Range of AF Level Meter (%)

機能

RX 測定 of AF Level メータの Pass Range (%単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:AF:METer:AFLevel:JUDGe:RANGe:PERCent <val>****パラメータ**

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	5.0%

詳細

AF Level のメータが On, かつ AF Level メータの Deflection View が On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

AF Level メータの Pass Range を 10%に設定する。

DISP:AF:MET:AFLevel:JUDG:RANG:PERC 10

:DISPlay:AF:METer:AFLevel:JUDGe:RANGe:PERCent?

Pass Range of AF Level Meter (%) Query

機能

RX 測定 of AF Level メータの Pass Range (%単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AF:METer:AFLevel:JUDGe:RANGe:PERCent?****レスポンス**

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

AF Level メータの Pass Range を読み出す。

DISP:AF:MET:AFLevel:JUDG:RANG:PERC?

> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG1:DB <val>

Range1 of SINAD Meter (dB)

機能

RX 測定の SINAD メータの Range1 (dB 単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG1:DB <val>****パラメータ**

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	8.0 dB

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Range1 を 10 dB に設定する。

DISP:AF:MET:SIN:RNG1:DB 10

:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG1:DB?

Range1 of SINAD Meter (dB) Query

機能

RX 測定の SINAD メータの Range1 (dB 単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG1:DB?****レスポンス**

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

SINAD メータの Range1 を読み出す。

DISP:AF:MET:SIN:RNG1:DB?

> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG1:PERCent <val>

Range1 of SINAD Meter (%)

機能

RX 測定 of SINAD メータの Range1 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG1:PERCent <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	2000.0%

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Range1 を 10%に設定する。
DISP:AF:MET:SIN:RNG1:PERC 10

:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG1:PERCent?

Range1 of SINAD Meter (%) Query

機能

RX 測定 of SINAD メータの Range1 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG1:PERCent?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

SINAD メータの Range1 を読み出す。
DISP:AF:MET:SIN:RNG1:PERC?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG2:DB <val>

Range2 of SINAD Meter (dB)

機能

RX 測定の SINAD メータの Range2 (dB 単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG2:DB <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	24.0 dB

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Range2 を 10 dB に設定する。
DISP:AF:MET:SIN:RNG2:DB 10

:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG2:DB?

Range2 of SINAD Meter (dB) Query

機能

RX 測定の SINAD メータの Range2 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG2:DB?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

SINAD メータの Range2 を読み出す。
DISP:AF:MET:SIN:RNG2:DB?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG2:PERCent <val>

Range2 of SINAD Meter (%)

機能

RX 測定 of SINAD メータの Range2 (%単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG2:PERCent <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	5000.0%

詳細

SINAD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Range2 を 10%に設定する。
DISP:AF:MET:SIN:RNG2:PERC 10

:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG2:PERCent?

Range2 of SINAD Meter (%) Query

機能

RX 測定 of SINAD メータの Range2 (%単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEter:SINad:RNG2:PERCent?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

SINAD メータの Range2 を読み出す。
DISP:AF:MET:SIN:RNG1:PERC?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:SINad:JUDGe:RANGe:DB <val>

Pass Range of SINAD Meter (dB)

機能

RX 測定の SINAD メータの Pass Range (dB 単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:AF:MEter:SINad:JUDGe:RANGe:DB <val>****パラメータ**

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	3.0 dB

詳細

SINAD メータが On, かつ SINAD メータの Deflection View が On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Pass Range を 10 dB に設定する。

DISP:AF:MET:SIN:JUDG:RANG:DB 10

:DISPlay:AF:MEter:SINad:JUDGe:RANGe:DB?

Pass Range of SINAD Meter (dB) Query

機能

RX 測定の SINAD メータの Pass Range (dB 単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AF:MEter:SINad:JUDGe:RANGe:DB?****レスポンス**

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

SINAD メータの Pass Range を読み出す。

DISP:AF:MET:SIN:JUDG:RANG:DB?

> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:SINad:JUDGe:RANGe:PERCent <val>

Pass Range of SINAD Meter (%)

機能

RX 測定 of SINAD メータの Pass Range (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:JUDGe:RANGe:PERCent <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	2000.0%

詳細

SINAD のメータが On,かつ Deflection View が On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Pass Range を 10%に設定する。
DISP:AF:MET:SIN:JUDG:RANG:PERC 10

:DISPlay:AF:MEter:SINad:JUDGe:RANGe:PERCent?

Pass Range of SINAD Meter (%) Query

機能

RX 測定 of SINAD メータの Pass Range (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:JUDGe:RANGe:PERCent?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

SINAD メータの Pass Range を読み出す。
DISP:AF:MET:SIN:JUDG:RANG:PERC?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG1:DB <val>

Range1 of THD+N Meter (dB)

機能

RX 測定の THD+N メータの Range1 (dB 単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG1:DB <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	10.0 dB

詳細

THD+N メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

THD+N メータの Range1 を 10 dB に設定する。
DISP:AF:MET:THDN:RNG1:DB 10

:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG1:DB?

Range1 of THD+N Meter (dB) Query

機能

RX 測定の THD+N メータの Range1 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG1:DB?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

THD+N メータの Range1 を読み出す。
DISP:AF:MET:THDN:RNG1:DB?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG1:PERCent <val>

Range1 of THD+N Meter (%)

機能

RX 測定 of THD+N メータの Range1 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG1:PERCent <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	10.0%

詳細

THD+N メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD+N メータの Range1 を 10%に設定する。
DISP:AF:MET:THDN:RNG1:PERC 10

:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG1:PERCent?

Range1 of THD+N Meter (%) Query

機能

RX 測定 of THD+N メータの Range1 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG1:PERCent?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

THD+N メータの Range1 を読み出す。
DISP:AF:MET:THDN:RNG1:PERC?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG2:DB <val>

Range2 of THD+N Meter (dB)

機能

RX 測定の THD+N メータの Range2 (dB 単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG2:DB <val>****パラメータ**

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	20.0 dB

詳細

THD+N メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

THD+N メータの Range2 を 10 dB に設定する。

DISP:AF:MET:THDN:RNG2:DB 10

:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG2:DB?

Range2 of THD+N Meter (dB) Query

機能

RX 測定の THD+N メータの Range2 (dB 単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG2:DB?****レスポンス**

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

THD+N メータの Range2 を読み出す。

DISP:AF:MET:THDN:RNG2:DB?

> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG2:PERCent <val>

Range2 of THD+N Meter (%)

機能

RX 測定 of THD+N メータの Range2 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG2:PERCent <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	20.0%

詳細

THD+N メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD+N メータの Range2 を 10%に設定する。
DISP:AF:MET:THDN:RNG2:PERC 10

:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG2:PERCent?

Range2 of THD+N Meter (%) Query

機能

RX 測定 of THD+N メータの Range2 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:THDN:RNG2:PERCent?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

THD+N メータの Range2 を読み出す。
DISP:AF:MET:THDN:RNG2:PERC?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:THDN:JUDGe:RANGe:DB <val>

Pass Range of THD+N Meter (dB)

機能

RX 測定の THD+N メータの Pass Range (dB 単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:AF:MEter:THDN:JUDGe:RANGe:DB <val>****パラメータ**

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	2.0 dB

詳細

THD+N メータが On, かつ THD+N メータの Deflection View が On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

THD+N メータの Pass Range を 10 dB に設定する。

DISP:AF:MET:THDN:JUDG:RANG:DB 10

:DISPlay:AF:MEter:THDN:JUDGe:RANGe:DB?

Pass Range of THD+N Meter (dB) Query

機能

RX 測定の THD+N メータの Pass Range (dB 単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AF:MEter:THDN:JUDGe:RANGe:DB?****レスポンス**

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

THD+N メータの Pass Range を読み出す。

DISP:AF:MET:THDN:JUDG:RANG:DB?

> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:THDN:JUDGe:RANGe:PERCent <val>

Pass Range of THD+N Meter (%)

機能

RX 測定 of THD+N メータの Pass Range (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:THDN:JUDGe:RANGe:PERCent <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	5.0%

詳細

THD+N メータが On, かつ THD+N メータの Deflection View が On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD+N メータの Pass Range を 10%に設定する。
DISP:AF:MET:THDN:JUDG:RANG:PERC 10

:DISPlay:AF:MEter:THDN:JUDGe:RANGe:PERCent?

Pass Range of THD+N Meter (%) Query

機能

RX 測定 of THD+N メータの Pass Range (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:THDN:JUDGe:RANGe:PERCent?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

THD+N メータの Pass Range を読み出す。
DISP:AF:MET:THDN:JUDG:RANG:PERC?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG1:DB <val>

Range1 of THD Meter (dB)

機能

RX 測定の THD メータの Range1 (dB 単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG1:DB <val>****パラメータ**

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	10.0 dB

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Range1 を 10 dB に設定する。

DISP:AF:MET:THD:RNG1:DB 10

:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG1:DB?

Range1 of THD Meter (dB) Query

機能

RX 測定の THD メータの Range1 (dB 単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG1:DB?****レスポンス**

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

THD メータの Range1 を読み出す。

DISP:AF:MET:THD:RNG1:DB?

> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG1:PERCent <val>

Range1 of THD Meter (%)

機能

RX 測定 of THD メータの Range1 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG1:PERCent <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	10.0%

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Range1 を 10%に設定する。
DISP:AF:MET:THD:RNG1:PERC 10

:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG1:PERCent?

Range1 of THD Meter (%) Query

機能

RX 測定 of THD メータの Range1 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG1:PERCent?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

THD メータの Range1 を読み出す。
DISP:AF:MET:THD:RNG1:PERC?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG2:DB <val>

Range2 of THD Meter (dB)

機能

RX 測定の THD メータの Range2 (dB 単位) を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG2:DB <val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	20.0 dB

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Range2 を 10 dB に設定する。
DISP:AF:MET:THD:RNG2:DB 10

:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG2:DB?

Range2 of THD Meter (dB) Query

機能

RX 測定の THD メータの Range2 (dB 単位) を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG2:DB?

レスポンス

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

THD メータの Range2 を読み出す。
DISP:AF:MET:THD:RNG2:DB?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG2:PERCent <val>

Range2 of THD Meter (%)

機能

RX 測定 of THD メータの Range2 (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG2:PERCent <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	20.0%

詳細

THD メータが On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Range2 を 10%に設定する。
DISP:AF:MET:THD:RNG2:PERC 10

:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG2:PERCent?

Range2 of THD Meter (%) Query

機能

RX 測定 of THD メータの Range2 (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:THD:RNG2:PERCent?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%

使用例

THD メータの Range2 を読み出す。
DISP:AF:MET:THD:RNG2:PERC?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:THD:JUDGe:RANGe:DB <val>

Pass Range of THD Meter (dB)

機能

RX 測定の THD メータの Pass Range (dB 単位) を設定します。

コマンド**:DISPlay:AF:MEter:THD:JUDGe:RANGe:DB <val>****パラメータ**

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	2.0 dB

詳細

THD メータが On, かつ THD メータの Deflection View が On, かつ表示単位が dB の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Pass Range を 10 dB に設定する。

DISP:AF:MET:THD:JUDG:RANG:DB 10

:DISPlay:AF:MEter:THD:JUDGe:RANGe:DB?

Pass Range of THD Meter (dB) Query

機能

RX 測定の THD メータの Pass Range (dB 単位) を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AF:MEter:THD:JUDGe:RANGe:DB?****レスポンス**

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～100.0 dB
分解能	0.1 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

THD メータの Pass Range を読み出す。

DISP:AF:MET:THD:JUDG:RANG:DB?

> 10.0

:DISPlay:AF:METer:THD:JUDGe:RANGe:PERCent <val>

Pass Range of THD Meter (%)

機能

RX 測定 of THD メータの Pass Range (%単位) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:METer:THD:JUDGe:RANGe:PERCent <val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%
分解能	0.1%
初期値	5.0%

詳細

THD メータが On, かつ THD メータの Deflection View が On, かつ表示単位が%の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Pass Range を 10%に設定する。
DISP:AF:MET:THD:JUDG:RANG:PERC 10

:DISPlay:AF:METer:THD:JUDGe:RANGe:PERCent?

Pass Range of THD Meter (%) Query

機能

RX 測定 of THD メータの Pass Range (%単位) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:METer:THD:JUDGe:RANGe:PERCent?
```

レスポンス

```
<val>
```

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	0.0～10000.0%

使用例

THD メータの Pass Range を読み出す。
DISP:AF:MET:THD:JUDG:RANG:PERC?
> 10.0

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:DEFLection ON|OFF|1|0

Deflection View of AF Level Meter

機能

AF Level メータの Deflection View の表示・非表示を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:DEFLection <switch>

パラメータ

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
ON 1	Deflection View の表示 On
OFF 0	Deflection View の表示 Off
初期値	OFF

詳細

AF Level メータが On の場合に設定できます。

使用例

AF Level メータの Deflection View の表示を On に設定する。
DISP:AF:MET:AFL:DEFL ON

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:DEFLection?

Deflection View of AF Level Meter Query

機能

AF Level メータの Deflection View の状態を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:DEFLection?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
1	Deflection View の表示 On
0	Deflection View の表示 Off

使用例

AF Level メータの Deflection View の状態を読み出す。
DISP:AF:MET:AFL:DEFL?
> 1

:DISPlay:AF:MEter:SINad:DEFLection ON|OFF|1|0

Deflection View of SINad Meter

機能

SINAD メータの Deflection View の表示・非表示を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:DEFLection <switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
ON 1	Deflection View の表示 On
OFF 0	Deflection View の表示 Off
初期値	OFF

詳細

SINAD メータが On の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Deflection View の表示を On に設定する。

```
DISP:AF:MET:SIN:DEFL ON
```

:DISPlay:AF:MEter:SINad:DEFLection?

Deflection View of SINAD Meter Query

機能

SINAD メータの Deflection View の状態を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:DEFLection?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
1	Deflection View の表示 On
0	Deflection View の表示 Off

使用例

SINAD メータの Deflection View の状態を読み出す。

```
DISP:AF:MET:SIN:DEFL?
```

```
> 1
```

:DISPlay:AF:MEtEr:THDN:DEFLection ON|OFF|1|0

Deflection View of THD+N Meter

機能

THD+N メータの Deflection View の表示・非表示を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEtEr:THDN:DEFLection <switch>

パラメータ

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
ON 1	Deflection View の表示 On
OFF 0	Deflection View の表示 Off
初期値	OFF

詳細

THD+N メータが On の場合に設定できます。

使用例

THD+N メータの Deflection View の表示を On に設定する。
DISP:AF:MET:THDN:DEFL ON

:DISPlay:AF:MEtEr:THDN:DEFLection?

Deflection View of THD+N Meter Query

機能

THD+N メータの Deflection View の状態を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEtEr:THDN:DEFLection?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
1	Deflection View の表示 On
0	Deflection View の表示 Off

使用例

THD+N メータの Deflection View の状態を読み出す。
DISP:AF:MET:THDN:DEFL?
> 1

:DISPlay:AF:MEter:THD:DEFLection ON|OFF|1|0

Deflection View of THD Meter

機能

THD メータの Deflection View の表示・非表示を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:THD:DEFLection <switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
ON 1	Deflection View の表示 On
OFF 0	Deflection View の表示 Off
初期値	OFF

詳細

THD メータが On の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Deflection View の表示を On に設定する。
DISP:AF:MET:THD:DEFL ON

:DISPlay:AF:MEter:THD:DEFLection?

Deflection View of THD Meter Query

機能

THD メータの Deflection View の状態を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:THD:DEFLection?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	Deflection View の表示 On/Off
1	Deflection View の表示 On
0	Deflection View の表示 Off

使用例

THD メータの Deflection View の状態を読み出す。
DISP:AF:MET:THD:DEFL?
> 1

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:DEFLection:COUNt <count>

Deflection Count of AF Level Meter

機能

AF Level メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:DEFLection:COUNt <count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし
初期値	30

詳細

AF Level メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

AF Level メータの Deflection Count を 5 に設定する。

```
DISP:AF:MET:AFL:DEFL:COUN 5
```

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:DEFLection:COUNt?

Deflection Count of AF Level Meter Query

機能

AF Level メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:DEFLection:COUNt?
```

レスポンス

```
<count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし

使用例

AF Level メータの Deflection Count を読み出す。

```
DISP:AF:MET:AFL:DEFL:COUN?
```

```
> 5
```

:DISPlay:AF:MEter:SINad:DEFLection:COUNt <count>

Deflection Count of SINAD Meter

機能

SINAD メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:DEFLection:COUNt <count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし
初期値	30

詳細

SINAD メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

SINAD メータの Deflection Count を 5 に設定する。

```
DISP:AF:MET:SIN:DEFL:COUN 5
```

:DISPlay:AF:MEter:SINad:DEFLection:COUNt?

Deflection Count of SINAD Meter Query

機能

SINAD メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:DEFLection:COUNt?
```

レスポンス

```
<count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし

使用例

SINAD メータの Deflection Count を読み出す。

```
DISP:AF:MET:SIN:DEFL:COUN?
```

```
> 5
```


:DISPlay:AF:METer:THDN:DEFLection:COUNT <count>

Deflection Count of THD+N Meter

機能

THD+N メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:METer:THDN:DEFLection:COUNT <count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし
初期値	10

詳細

THD+N メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

THD+N メータの Deflection Count を 5 に設定する。

```
DISP:AF:MET:THDN:DEFL:COUN 5
```

:DISPlay:AF:METer:THDN:DEFLection:COUNT?

Deflection Count of THD+N Meter Query

機能

THD+N メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:METer:THDN:DEFLection:COUNT?
```

レスポンス

```
<count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし

使用例

THD+N メータの Deflection Count を読み出す。

```
DISP:AF:MET:THDN:DEFL:COUN?
```

```
> 5
```

:DISPlay:AF:METer:THD:DEFLection:COUNT <count>

Deflection Count of THD Meter

機能

THD メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:METer:THD:DEFLection:COUNT <count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし
初期値	10

詳細

THD メータが On, かつ Deflection View が On の場合に設定できます。

使用例

THD メータの Deflection Count を 5 に設定する。

```
DISP:AF:MET:THD:DEFL:COUN 5
```

:DISPlay:AF:METer:THD:DEFLection:COUNT?

Deflection Count of THD Meter Query

機能

THD メータの Deflection Count (Deflection View の対象となる過去の測定回数) を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:METer:THD:DEFLection:COUNT?
```

レスポンス

```
<count>
```

パラメータ

<count>	過去の測定回数
範囲	2～100
分解能	1
サフィックスコード	なし

使用例

THD メータの Deflection Count を読み出す。

```
DISP:AF:MET:THD:DEFL:COUN?
```

```
> 5
```

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:UNIT AFLU|PERCent

Unit of AF Level Meter

機能

RX 測定 of AF Level メータの表示単位を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:UNIT <unit>

パラメータ

<unit>	単位
AFLU	AFLU:AF Level Unit (初期値)
PERCent	%

使用例

AF Level メータの表示単位を AFLU に設定する。
DISP:AF:MET:AFL:UNIT AFLU

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:UNIT?

Unit of AF Level Meter Query

機能

RX 測定 of AF Level メータの表示単位を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:UNIT?

レスポンス

<unit>

パラメータ

<unit>	単位
AFLU	AFLU
PERC	%

使用例

AF Level メータの表示単位を読み出す。
DISP:AF:MET:AFL:UNIT?
> AFLU

:DISPlay:AF:MEter:SINad:UNIT DB|PERCent

Unit of SINAD Meter

機能

RX 測定 of SINAD メータの表示単位を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:UNIT <unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
DB	dB (初期値)
PERCent	%

使用例

SINAD メータの表示単位を dB に設定する。

```
DISP:AF:MET:SIN:UNIT DB
```

:DISPlay:AF:MEter:SINad:UNIT?

Unit of SINAD Meter Query

機能

RX 測定 of SINAD メータの表示単位を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:SINad:UNIT?
```

レスポンス

```
<unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
DB	dB
PERC	%

使用例

SINAD メータの表示単位を読み出す。

```
DISP:AF:MET:SIN:UNIT?
```

```
> DB
```

:DISPlay:AF:MEter:THDN:UNIT DB|PERCent

Unit of THD+N Meter

機能

RX 測定の THD+N メータの表示単位を設定します。

コマンド

:DISPlay:AF:MEter:THDN:UNIT <unit>

パラメータ

<unit>	単位
DB	dB
PERCent	% (初期値)

使用例

THD+N メータの表示単位を dB に設定する。
DISP:AF:MET:THDN:UNIT DB

:DISPlay:AF:MEter:THDN:UNIT?

Unit of THD+N Meter Query

機能

RX 測定の THD+N メータの表示単位を読み出します。

クエリ

:DISPlay:AF:MEter:THDN:UNIT?

レスポンス

<unit>

パラメータ

<unit>	単位
DB	dB
PERC	%

使用例

THD+N メータの表示単位を読み出す。
DISP:AF:MET:THDN:UNIT?
> DB

:DISPlay:AF:MEter:THD:UNIT DB|PERCent

Unit of THD Meter

機能

RX 測定 of THD メータの表示単位を設定します。

コマンド

```
:DISPlay:AF:MEter:THD:UNIT <unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
DB	dB
PERCent	% (初期値)

使用例

THD メータの表示単位を dB に設定する。
DISP:AF:MET:THD:UNIT DB

:DISPlay:AF:MEter:THD:UNIT?

Unit of THD Meter Query

機能

RX 測定 of THD メータの表示単位を読み出します。

クエリ

```
:DISPlay:AF:MEter:THD:UNIT?
```

レスポンス

```
<unit>
```

パラメータ

<unit>	単位
DB	dB
PERC	%

使用例

THD メータの表示単位を読み出す。
DISP:AF:MET:THD:UNIT?
> DB

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference <val>

AF Level Reference of AF Level Meter

機能

AF Level メータの AF Level Reference を設定します。

コマンド**:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference <val>****パラメータ**

<val>	メータの範囲
範囲	−1000.000～1000.000
分解能	0.001
サフィックスコード	なし
初期値	2

詳細

AF Level メータが On, かつ AF Level メータの表示単位が%のときに設定できます。

使用例

AF Level メータの AF Level Reference を 2 に設定する。

DISP:AF:MET:AFL:REF 2

:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference?

AF Level Reference of AF Level Meter Query

機能

AF Level メータの AF Level Reference を読み出します。

クエリ**:DISPlay:AF:MEter:AFLevel:REference?****レスポンス**

<val>

パラメータ

<val>	メータの範囲
範囲	−1000.000～1000.000
分解能	0.001
サフィックスコード	なし

使用例

AF Level メータの AF Level Reference を読み出す。

DISP:AF:MET:AFL:REF?

> 2

2.5.3 RX測定パラメータ

RX 測定のパラメータ設定のデバイスメッセージを表 2.5.3-1 に示します。

表 2.5.3-1 RX 測定のパラメータ設定に関するデバイスメッセージ

パラメータ	デバイスメッセージ
Output	:OUTPut[:STATe] ON OFF 1 0
	:OUTPut[:STATe]?
Modulation	:OUTPut:MODulation[:STATe] ON OFF 1 0
	:OUTPut:MODulation[:STATe]?
Frequency of RX Measurement	:SOURce:FREQuency[:FIXed] <freq>
	:SOURce:FREQuency[:FIXed]?
Output Level	[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate][:AMPLitude] <level>
	[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate][:AMPLitude]?
Output Level (W) Query	[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate][:AMPLitude]:WATT?
Output Level Offset State	[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet:STATe ON OFF 1 0
	[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet:STATe?
Output Level Offset	[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet <level>
	[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet?
Output Level Unit	[[:SOURce]:UNIT:POWer <unit>
	[[:SOURce]:UNIT:POWer?
AF Modulation Scheme	:SOURce:MODulation FM AM PM
	:SOURce:MODulation?
AF1/AF2/AF3 Output	:OUTPut:AF[1] 2 3[:STATe] ON OFF USER
	:OUTPut:AF[1] 2 3[:STATe]?
AF1/AF2/AF3 Tone Frequency	[[:SOURce]:AF[1] 2 3:FREQuency <freq>
	[[:SOURce]:AF[1] 2 3:FREQuency?

表 2.5.3-1 RX 測定のパラメータ設定に関するデバイスメッセージ (続き)

パラメータ	デバイスメッセージ
AF1/AF2/AF3 FM Deviation	<code>[:SOURce]:AF[1] 2 3:DEViation <freq></code>
	<code>[:SOURce]:AF[1] 2 3:DEViation?</code>
AF1/AF2/AF3 AM Depth	<code>[:SOURce]:AF[1] 2 3:DEPTh <per></code>
	<code>[:SOURce]:AF[1] 2 3:DEPTh?</code>
AF1/AF2/AF3 ϕ M Radian	<code>[:SOURce]:AF[1] 2 3:RADian <radian></code>
	<code>[:SOURce]:AF[1] 2 3:RADian?</code>
File Load	<code>[:SOURce]:USER:AF[1]:LOAD <filename>[,<device>]</code>
	<code>[:SOURce]:USER:AF[1]:LOAD?</code>
AF Monitor	<code>[:SOURce]:AF:MONitor[:STATe] <switch></code>
	<code>[:SOURce]:AF:MONitor[:STATe]?</code>
DCS	<code>[:SOURce]:DCSQuelch[:STATe] ON OFF 1 0</code>
	<code>[:SOURce]:DCSQuelch[:STATe]?</code>
DCS Code Custom Mode	<code>[:SOURce]:DCSQuelch:CODE:CUSTom:MODE ON OFF 1 0</code>
	<code>[:SOURce]:DCSQuelch:CODE:CUSTom:MODE?</code>
DCS Code (Octal)	<code>[:SOURce]:DCSQuelch:CODE <code></code>
	<code>[:SOURce]:DCSQuelch:CODE?</code>
DCS Code (Binary)	<code>[:SOURce]:DCSQuelch:CODE:CUSTom:BINary <code></code>
	<code>[:SOURce]:DCSQuelch:CODE:CUSTom:BINary?</code>
DCS Deviation	<code>[:SOURce]:DCSQuelch:DEViation <freq></code>
	<code>[:SOURce]:DCSQuelch:DEViation?</code>
DCS Polarity	<code>[:SOURce]:DCSQuelch:POLarity <switch></code>
	<code>[:SOURce]:DCSQuelch:POLarity?</code>
Low Pass Filter for DCS Signal	<code>[:SOURce]:DCSQuelch:LPF <switch></code>
	<code>[:SOURce]:DCSQuelch:LPF?</code>
AF Setting Suite	<code>:SOURce:AF:LIST:SET <mod_set>,<af1_sw>,<af1_freq>,<af1_mod>,<af2_sw>,<af2_freq>,<af2_mod>[,<dcs_sw>[,<dcs_code>,<dcs_mod>]]</code>
Average Mode	<code>[:SENSe]:AF:AVERage[:STATe] ON OFF 1 0</code>
	<code>[:SENSe]:AF:AVERage[:STATe]?</code>
Average Count	<code>[:SENSe]:AF:AVERage:COUNt <integer></code>
	<code>[:SENSe]:AF:AVERage:COUNt?</code>

:OUTPut[:STATe] ON|OFF|1|0

Output

機能

RF 信号出力の On/Off を設定します。

コマンド

```
:OUTPut[:STATe] <switch>
```

パラメータ

<switch>	RF 出力 On/Off
OFF 0	RF 出力 OFF (初期値)
ON 1	RF 出力 ON

詳細

RF 信号出力を ON に設定すると, SG Output ポートからの信号出力を開始します。

使用例

RF 信号出力を ON に設定する。
OUTP ON

:OUTPut[:STATe]?

Output Query

機能

RF 信号出力の On/Off を読み出します。

クエリ

```
:OUTPut[:STATe]?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	RF 出力 On/Off
0	RF 出力 OFF
1	RF 出力 ON

使用例

RF 信号出力の設定を読み出す。
OUTP?
> 1

:OUTPut:MODulation[:STATe] ON|OFF|1|0

Modulation

機能

RF 信号の変調の On/Off を設定します。

コマンド

:OUTPut:MODulation[:STATe] <switch>

パラメータ

<switch>	変調の On/Off
OFF 0	無変調波出力（初期値）
ON 1	変調波出力

詳細

変調の設定を OFF に設定すると、無変調波（CW）を出力します。
変調波を出力する場合は設定を ON にします。

使用例

RF 信号の変調を ON に設定する。
OUTP:MOD ON

:OUTPut:MODulation[:STATe]?

Modulation Query

機能

RF 信号の変調の On/Off 設定を読み出します。

クエリ

:OUTPut:MODulation[:STATe]?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	変調の On/Off
0	無変調波出力
1	変調波出力

使用例

RF 信号の変調の設定を読み出す。
OUTP:MOD?
> 1

:SOURce:FREQuency[:FIXed] <freq>

Frequency of RX Measurement

機能

RX 測定 of RF 信号出力の周波数を設定します。

コマンド

```
:SOURce:FREQuency[:FIXed] <freq>
```

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	100 kHz～3 GHz
分解能	1 Hz
サフィックスコード	Hz, KHz, Kz, MHz, Mz, GHz, Gz 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	1 GHz

使用例

RF 信号出力の周波数を 400 MHz に設定する。

```
SOUR:FREQ 400MHZ
```

:SOURce:FREQuency[:FIXed]?

Frequency of RX Measurement Query

機能

RX 測定 of RF 信号出力の周波数設定値を読み出します。

クエリ

```
:SOURce:FREQuency[:FIXed]?
```

レスポンス

```
<freq>
```

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	100 kHz～3 GHz
分解能	1 Hz

使用例

RF 信号出力の周波数設定値を読み出す。

```
SOUR:FREQ?  
> 4000000000
```

[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate][:AMPLitude] <level>

Output Level

機能

RX 測定の RF 信号出力のレベルを設定します。

コマンド

[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate][:AMPLitude]
<level>

パラメータ

<level>	出力レベル
範囲	Unit が dBm の場合: -136~+15 dBm (RX 周波数>25 MHz) -136~-3 dBm (RX 周波数<25 MHz) Unit が dBμV (EMF) の場合: -22.99~+128.01 dBμV (RX 周波数>25 MHz) -22.99~+110.01 dBμV (RX 周波数<25 MHz) Unit が dBμV (Term) の場合: -29.01~+121.99 dBμV (RX 周波数>25 MHz) -29.01~+103.99 dBμV (RX 周波数<25 MHz)
分解能	0.01 dB
サフィックスコード	DBM, DBUV, DBUVEMF 省略した場合は Unit で設定している単位として扱います。
初期値	-22.99 dBμV (EMF) (-136 dBm)

詳細

RX 測定の RF 信号出力のレベルを設定します。
サフィックスコードで設定値に単位をつけた場合は、Unit 設定がサフィックスコードに対応する単位に変更されます。

使用例

RF 信号出力のレベルを-90 dBm に設定する。
RF:POW -90DBM

[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate][:AMPLitude]?]

Output Level Query

機能

RX 測定 of RF 信号出力のレベル設定値を読み出します。

クエリ

[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate][:AMPLitude]?]

レスポンス

<level>

パラメータ

<level>	出力レベル
範囲	Unit が dBm の場合: -136~+15 dBm Unit が dBμV (EMF)の場合: -22.99~+128.01 dBμV Unit が dBμV (Term)の場合: -29.01~+121.99 dBμV
分解能	0.01 dB
サフィックスコード	なし Unit で設定された単位の値を返します。

使用例

RF 信号出力のレベル設定値を読み出す。
RF:POW?
 > -90.00

[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate][:AMPLitude]:WATT?]

Output Level(W) Query

機能

RX 測定 of RF 信号出力のレベル設定値を Watt 単位で読み出します。

クエリ

[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate][:AMPLitude]:WATT?]

レスポンス

<level>

パラメータ

<level>	出力レベル
範囲	1.00 aW~0.32 mW (1 aW = 10 ⁻¹⁸ W)

使用例

RF 信号出力のレベル設定値を Watt 単位で読み出す。
RF:POW:WATT?
 > 0.0000000000000000199500000000

[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet:STATe ON|OFF|1|0

Output Level Offset State

機能

RF 信号出力レベルのオフセット機能の有効・無効を設定します。

コマンド

[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet:STATe
<switch>

パラメータ

<switch>	オフセット機能の有効・無効
OFF 0	無効にする（初期値）
ON 1	有効にする

使用例

RF 信号出力のレベルオフセットを有効にする。
RF:POW:OFFS:STAT ON

[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet:STATe?

Output Level Offset State Query

機能

RF 信号出力レベルのオフセット機能の設定値を読み出します。

クエリ

[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet:STATe?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	オフセット機能の有効・無効
0	無効
1	有効

使用例

RF 信号出力のレベルオフセットの設定を読み出す。
RF:POW:OFFS:STAT?
> 1

[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet <level>

Output Level Offset

機能

RF 信号出力のレベルのオフセット値を設定します。

コマンド

```
[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet <level>
```

パラメータ

<level>	オフセット値
範囲	−100～100 dB
分解能	0.01 dB
サフィックスコード	DB
	省略した場合は dB として扱います。
初期値	0.00 dB

詳細

測定対象と本器の間の接続による電力損失の補正を行う場合に設定します。

使用例

RF 信号出力のレベルオフセットを 10 dB に設定する。

```
RF:POW:OFFS 10
```

[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet?

Output Level Offset Query

機能

RF 信号出力のレベルのオフセット値を読み出します。

クエリ

```
[[:SOURce]:RF:POWer[:LEVel][:IMMediate]:OFFSet?
```

レスポンス

```
<level>
```

パラメータ

<level>	オフセット値
範囲	−100～100 dB
分解能	0.01 dB
サフィックスコード	なし
	dB 単位の値を返します。

使用例

RF 信号出力のレベルオフセット設定値を読み出す。

```
RF:POW:OFFS?
```

```
> 10.00
```


[[:SOURce]:UNIT:POWer <unit>

Output Level Unit

機能

RF 信号出力のレベルの単位を設定します。

コマンド

`[[:SOURce]:UNIT:POWer <unit>`

パラメータ

<unit>	単位
DBUVEMF	dB μ V (EMF) (初期値)
DBUV	dB μ V (Term)
DBM	dBm

使用例

RF 信号出力のレベルの単位を dBm に設定する。
`UNIT:POW DBM`

[[:SOURce]:UNIT:POWER?

Output Level Unit Query

機能

RF 信号出力のレベルの単位を読み出します。

クエリ

`[[:SOURce]:UNIT:POWER?`

レスポンス

<unit>

パラメータ

<unit>	単位
DBUVEMF	dB μ V (EMF)
DBUV	dB μ V (Term)
DBM	dBm

使用例

RF 信号出力のレベルの単位を読み出す。
`UNIT:POW?`
> DBM

:SOURce:MODulation FM|AM|PM

AF Modulation Scheme

機能

AF 信号の変調方式を設定します。

コマンド

```
:SOURce:MODulation <mod>
```

パラメータ

<mod>	変調方式
FM	FM 変調
AM	AM 変調
PM	φM 変調
初期値	FM

詳細

RX 測定で出力する信号の変調方式を設定します。

使用例

AF 信号の変調方式を AM に設定する。
SOUR:MOD AM

:SOURce:MODulation?

AF Modulation Scheme Query

機能

AF 信号の変調方式の設定を読み出します。

クエリ

```
:SOURce:MODulation?
```

レスポンス

```
<mod>
```

パラメータ

<mod>	変調方式
FM	FM 変調
AM	AM 変調
PM	φM 変調

使用例

AF 信号の変調方式の設定を読み出す。
SOUR:MOD?
> FM

:OUTPut:AF[1]|2|3[:STATe] ON|OFF|USER

AF1/AF2/AF3 Output

機能

AF1/AF2/AF3 の出力 On/Off を設定します。

コマンド

:OUTPut:AF[1]|2|3[:STATe] <switch>

パラメータ

<switch>	AF 出力の On/Off
OFF	出力を OFF にする (初期値)
ON	出力を ON にする
USER	出力を User 選択のファイルにする (AF1 のみ対応)

詳細

AF3 は MS2830A-018/118 搭載時のみ設定できます。

使用例

AF2 の出力を ON に設定する。
OUTP:AF2 ON

:OUTPut:AF[1]|2|3[:STATe]?

AF1/AF2/AF3 Output Query

機能

AF1/AF2/AF3 の出力の設定値を読み出します。

クエリ

:OUTPut:AF[1]|2|3[:STATe]?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	AF 出力の On/Off
OFF	出力 OFF
ON	出力 ON
USER	出力 User 選択のファイル (AF1 のみ対応)

使用例

AF2 の出力の設定を読み出す。
OUTP:AF2?
> ON

[[:SOURce]:AF[1]|2|3:FREQuency <freq>

AF1/AF2/AF3 Tone Frequency

機能

AF1/AF2/AF3 の Tone 周波数を設定します。

コマンド

```
[[:SOURce]:AF[1]|2|3:FREQuency <freq>
```

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	20.0～40000.0 Hz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	Hz, KHz, Kz, MHz, Mz, GHz, Gz 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	AF1: 1000.0 Hz AF2: 67.0 Hz AF3: 67.0 Hz

詳細

AF3 は MS2830A-018/118 搭載時のみ設定できます。

使用例

AF2 の Tone 周波数を 800 Hz に設定する。
AF2:FREQ 800

[[:SOURce]:AF[1]|2|3:FREQuency?

AF1/AF2/AF3 Tone Frequency Query

機能

AF1/AF2/AF3 の Tone 周波数の設定値を読み出します。

クエリ

```
[[:SOURce]:AF[1]|2|3:FREQuency?
```

レスポンス

```
<freq>
```

パラメータ

<freq>	周波数
範囲	20.0～40000.0 Hz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	なし Hz 単位で値を返します。

使用例

AF2 の Tone 周波数設定値を読み出す。
AF2:FREQ?
> 800.0

[[:SOURce]:AF[1]|2|3:DEViation <freq>

AF1/AF2/AF3 FM Deviation

機能

AF1/AF2/AF3 の FM Deviation を設定します。

コマンド

[[:SOURce]:AF[1]|2|3:DEViation <freq>

パラメータ

<freq>	FM Deviation
範囲	0.0～100000.0 Hz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	Hz, KHz, Kz, MHz, Mz, GHz, Gz 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	AF1: 3500.0 Hz AF2: 500.0 Hz AF3: 500.0 Hz

詳細

AF 信号の変調方式が FM の場合に設定値が有効となります。
AF3 は MS2830A-018/118 搭載時のみ設定できます。

使用例

AF2 の FM Deviation を 5000 Hz に設定する。
AF2:DEV 5000

[[:SOURce]:AF[1]|2|3:DEViation?

AF1/AF2/AF3 FM Deviation Query

機能

AF1/AF2/AF3 の FM Deviation の設定値を読み出します。

クエリ

```
[[:SOURce]:AF[1]|2|3:DEViation?
```

レスポンス

```
<freq>
```

パラメータ

<freq>	FM Deviation
範囲	0.0～100000.0 Hz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	なし

Hz 単位で値を返します。

使用例

AF2 の FM Deviation 設定値を読み出す。

```
AF2:DEV?
```

```
> 5000.0
```

[:SOURce]:AF[1]|2|3:DEPTTh <per>

AF1/AF2/AF3 AM Depth

機能

AF1/AF2/AF3 の AM 変調度を設定します。

コマンド

[:SOURce]:AF[1]|2|3:DEPTTh <per>

パラメータ

<per>	AM Depth
範囲	0～100%
分解能	1%
サフィックスコード	なし
初期値	30%

詳細

AF 信号の変調方式が AM の場合に設定値が有効となります。
AF3 は MS2830A-018/118 搭載時のみ設定できます。

使用例

AF2 の AM Depth を 70% に設定する。
AF2:DEPT 70

[:SOURce]:AF[1]|2|3:DEPTTh?

AF1/AF2/AF3 AM Depth Query

機能

AF1/AF2/AF3 の AM 変調度の設定値を読み出します。

クエリ

[:SOURce]:AF[1]|2|3:DEPTTh?

レスポンス

<per>

パラメータ

<per>	AM Depth
範囲	0～100%
分解能	1%
サフィックスコード	なし
	%単位で値を返します。

使用例

AF2 の AM Depth 設定値を読み出す。
AF2:DEPT?
> 70

[[:SOURce]:AF[1]|2|3:RADian <radian>

AF1/AF2/AF3 ϕ M Radian

機能

AF1/AF2/AF3 の ϕ M Radian を設定します。

コマンド

[[:SOURce]:AF[1]|2|3:RADian <radian>

パラメータ

<radian>	ϕ M Radian
範囲	0.0～50.0 rad
分解能	0.01 rad
サフィックスコード	なし
初期値	AF1: 3.50 rad AF2: 7.46 rad AF3: 7.46 rad

詳細

AF 信号の変調方式が ϕ M の場合に設定値が有効となります。
AF3 は MS2830A-018/118 搭載時のみ設定できます。

使用例

AF2 の ϕ M Radian を 1.00 rad に設定する。
AF2:RAD 1.00

[[:SOURce]:AF[1]|2|3:RADian?

AF1/AF2/AF3 ϕ M Radian Query

機能

AF1/AF2/AF3 の ϕ M Radian の設定値を読み出します。

クエリ

[[:SOURce]:AF[1]|2|3:RADian?

レスポンス

<radian>

パラメータ

<radian>	ϕ M Radian
範囲	0.0～50.00 rad
分解能	0.01 rad
サフィックスコード	なし
	radian 単位で値を返します。

使用例

AF2 の ϕ M Radian 設定値を読み出す。
AF2:RAD?
> 1.00

[[:SOURce]:USER:AF[1]:LOAD <filename>[,<device>]

File Load

機能

User が選択した wav ファイルをロードします。

コマンド

[[:SOURce]:USER:AF[1]:LOAD <filename>[,<device>]

パラメータ

- <filename>

対象ファイル名
ダブルコーテーション (“ ”) またはシングルコーテーション (‘ ’) で囲まれた 32 文字以内の文字列 (拡張子は除く)
以下の文字は使用できません。
¥ / : * ? “ ” ‘ ’ < > |
- wav ファイル名

<device>

ドライブ名
A, B, D, E, F, . . .
省略時は D ドライブとなります。

詳細

User が選択した wav ファイルをロードします。

使用例

Test.wav をロードする。
USER:AF:LOAD “Test”,D

[:SOURce]:USER:AF[1]:LOAD?

File Load Query

機能

ロードしている wav ファイル名を読み出します。

クエリ

[:SOURce]:USER:AF[1]:LOAD?

レスポンス

<filename>

パラメータ

<filename>

対象ファイル名

ダブルコーテーション (“ ”) またはシングルコーテーション (‘ ’) で囲まれた 32 文字以内の文字列 (拡張子は除く)

以下の文字は使用できません。

¥ / : * ? “ ” ‘ ’ < > |

使用例

ロードしている wav ファイル名を読み出す。

USER:AF:LOAD?

> “Test”,D

[[:SOURce]:AF:MONitor[:STATe] <switch>

AF Monitor

機能

AF Monitor の出力 On/Off を設定します。

コマンド

[[:SOURce]:AF:MONitor[:STATe] <switch>

パラメータ

<switch>	AF Monitor 出力の On/Off
OFF 0	出力を OFF にする (初期値)
ON 1	出力を ON にする

詳細

AF Monitor の出力を On にします。
USB Audio が有効の場合のみ, 設定可能です。

使用例

AF Monitor の出力を On にする。
AF:MON ON

[[:SOURce]:AF:MONitor[:STATe]?]

AF Monitor Query

機能

AF Monitor の出力 On/Off を読み出します。

クエリ

[[:SOURce]:AF:MONitor[:STATe]?]

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	AF Monitor 出力の On/Off
0	出力 OFF
1	出力 ON

使用例

AF Monitor の出力 On/off を読み出す。
AF:MON?
> 1

[[:SOURce]:DCSQuelch[:STATe] ON|OFF|1|0

DCS

機能

DCS (Digital Code Squelch) の出力 On/Offを設定します。

コマンド

```
[[:SOURce]:DCSQuelch[:STATe] <switch>
```

パラメータ

<switch>	DCS 出力の On/Off
OFF 0	出力を OFF にする (初期値)
ON 1	出力を ON にする

詳細

AF1 Output が USER の場合は, 設定できません。

使用例

DCS の出力を ON に設定する。
DCSQ ON

[[:SOURce]:DCSQuelch[:STATe]?

DCS Query

機能

DCS の出力 On/Offを読み出します。

クエリ

```
[[:SOURce]:DCSQuelch[:STATe]?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	DCS 出力の On/Off
0	出力 OFF
1	出力 ON

使用例

DCS の出力の On/Offを読み出す。
DCSQ?
> 1

[[:SOURce]:DCSQuelch:CODE:CUSTom:MODE ON|OFF|1|0

DCS Code Custom Mode

機能

DCS コードの指定方法(2 進数/8 進数)を選択します。

コマンド

[[:SOURce]:DCSQuelch:CODE:CUSTom:MODE <switch>

パラメータ

<switch>	DCS コードの指定方法
OFF 0	DCS コードを 8 進数で指定します
ON 1	DCS コードを 2 進数で指定します

使用例

DCS コードの指定を 2 進数に設定する。
DCSQ:CODE:CUST:MODE ON

[[:SOURce]:DCSQuelch:CODE:CUSTom:MODE?

DCS Code Custom Mode Query

機能

DCS コードの指定方法 (2 進数/8 進数) を読み出します。

クエリ

[[:SOURce]:DCSQuelch:CODE:CUSTom:MODE?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	DCS コードの指定方法
0	DCS コードを 8 進数で指定
1	DCS コードを 2 進数で指定

使用例

DCS コードの指定方法を読み出す。
DCSQ:CODE:CUST:MODE?
> 1

[[:SOURce]:DCSQuelch:CODE <code>

DCS Code (Octal)

機能

DCS コードを 8 進数で設定します。

コマンド

```
[[:SOURce]:DCSQuelch:CODE <code>
```

パラメータ

<code>	DCS コード
範囲	0～777 (8 進数 3 桁)
分解能	1
サフィックスコード	なし
初期値	023

詳細

DCS コード設定に従って生成した 23 bit の DCS パターンの繰り返し信号を出力します。

DCS 設定が ON かつ DCS Custom Mode が Off の場合に設定が反映されます。

使用例

DCS コードを 8 進数で 026 に設定する。
DCSQ:CODE 026

[[:SOURce]:DCSQuelch:CODE?

DCS Code (Octal) Query

機能

DCS コードの設定値を 8 進数で読み出します。

クエリ

```
[[:SOURce]:DCSQuelch:CODE?
```

レスポンス

```
<code>
```

パラメータ

<code>	DCS コード
範囲	0～777 (8 進数 3 桁)
分解能	1
サフィックスコード	なし

使用例

DCS コード設定値を 8 進数で読み出す。
DCSQ:CODE?
> 026

[[:SOURce]:DCSQuelch:CODE:CUSTom:BINary <code>

DCS Code (Binary)

機能

DCS コードを 2 進数で設定します。

コマンド

[[:SOURce]:DCSQuelch:CODE:CUSTom:BINary <code>

パラメータ

<code>	DCS コード
範囲	000000000000000000000000 ～111111111111111111111111 (2 進数 23 桁)
分解能	1
サフィックスコード	なし
初期値	11101100011100000010011

詳細

DCS コード設定に従って生成した 23 bit の DCS パターンの繰り返し信号を出力します。DCS 設定が ON かつ DCS Custom Mode が On の場合に設定が反映されます。

使用例

DCS コード(2 進数) を 10101010101010101010101 に設定する。
DCSQ:CODE:CUST:BIN `10101010101010101010101`

[[:SOURce]:DCSQuelch:CODE:CUSTom:BINary?

DCS Code (Binary) Query

機能

DCS コードの設定値を 2 進数で読み出します。

クエリ

[[:SOURce]:DCSQuelch:CODE:CUSTom:BINary?

レスポンス

<code>

パラメータ

<code>	DCS コード
範囲	000000000000000000000000 ～111111111111111111111111 (2 進数 23 桁)
分解能	1
サフィックスコード	なし

使用例

DCS コード設定値を 2 進数で読み出す。
DCSQ:CODE:CUST:BIN?
> 10101010101010101010101

[[:SOURce]:DCSQuelch:DEViation <freq>

DCS Deviation

機能

DCS の Deviation を設定します。

コマンド

```
[[:SOURce]:DCSQuelch:DEViation <freq>
```

パラメータ

<freq>	Deviation
範囲	0.0～100000.0 Hz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	HZ, KHZ 省略した場合は Hz として扱います。
初期値	500.0 Hz

詳細

DCS 設定が ON の場合に設定が有効となります。

使用例

DCS の Deviation を 500 Hz に設定する。

```
DCSQ:DEV 500
```

[[:SOURce]:DCSQuelch:DEViation?

DCS Deviation Query

機能

DCS の Deviation の設定値を読み出します。

クエリ

```
[[:SOURce]:DCSQuelch:DEViation?
```

レスポンス

```
<freq>
```

パラメータ

<freq>	Deviation
範囲	0.0～100000.0 Hz
分解能	0.1 Hz
サフィックスコード	なし Hz 単位の値を返します。

使用例

DCS の Deviation 設定値を読み出す。

```
DCSQ:DEV?
```

```
> 500.0
```


[[:SOURce]:DCSQuelch:POLarity <switch>

DCS Polarity

機能

DCS の極性を設定します。

コマンド

[[:SOURce]:DCSQuelch:POLarity <switch>

パラメータ

<switch>	極性
NORMal 0	極性を反転しない。
INVerted 1	極性を反転する。
初期値	NORMal

詳細

DCS 設定が ON の場合に設定が有効となります。

使用例

DCS の極性を反転させる。
DCSQ:POL INV

[[:SOURce]:DCSQuelch:POLarity?

DCS Polarity Query

機能

DCS の極性の設定値を読み出します。

クエリ

[[:SOURce]:DCSQuelch:POLarity?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	極性
0	極性を反転しない。
1	極性を反転する。

使用例

DCS の極性の設定値を読み出す。
DCSQ:POL?
> 1

[[:SOURce]:DCSQuelch:LPF <switch>

Low Pass Filter for DCS Signal

機能

DCS 信号に帯域制限をするためのローパスフィルタの On/Off を設定します。

コマンド

```
[[:SOURce]:DCSQuelch:LPF <switch>
```

パラメータ

<switch>	
OFF 0	ローパスフィルタによる帯域制限を行いません。
ON 1	ローパスフィルタによる帯域制限を行います。
初期値	OFF

詳細

DCS 設定が ON の場合に設定が有効となります。

使用例

ローパスフィルタによる帯域制限を On にする。
DCSQ:LPF ON

[[:SOURce]:DCSQuelch:LPF?

Low Pass Filter for DCS Signal Query

機能

Low Pass Filter による DCS 信号の帯域制限の On/Off を読み出します。

クエリ

```
[[:SOURce]:DCSQuelch:LPF?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	
0	ローパスフィルタによる帯域制限を行いません。
1	ローパスフィルタによる帯域制限を行います。

使用例

Low Pass Filter による帯域制限の On/Off を読み出す。
DCSQ:LPF?
> 0

:SOURce:AF:LIST:SET
<mod_set>,<af1_sw>,<af1_freq>,<af1_mod>,<af2_sw>,<af2_freq>,<af2_mod>[,<dc_s_sw>[,<dc_s_code>,<dc_s_mod>]]
AF Setting Suite

機能
AF 信号の設定を一括で設定します。

コマンド
:SOURce:AF:LIST:SET
<mod_set>,<af1_sw>,<af1_freq>,<af1_mod>,<af2_sw>,<af2_freq>,<af2_mod>[,<dc_s_sw>[,<dc_s_code>,<dc_s_mod>]]

パラメータ

<mod_set>	AF 変調方式の設定
<af1_sw>	AF1 出力の On/Off
<af1_freq>	AF1 Tone 周波数
<af1_mod>	AF 変調方式設定に従った AF1 の変調度
<af2_sw>	AF2 出力の On/Off
<af2_freq>	AF2 Tone 周波数
<af2_mod>	AF 変調方式設定に従った AF2 の変調度
<dc_s_sw>	DCS の On/Off
<dc_s_code>	DCS コード
<dc_s_mod>	DCS Deviation

詳細
各パラメータの詳細は、対応する設定コマンドのパラメータを参照してください。

使用例
AF の設定を、FM 変調、AF1 (On, Tone=1000Hz, Deviation=5000Hz), AF2 (On, Tone=66.1Hz, Deviation=500Hz), DCS (On, Code=026, Deviation=200Hz) に設定する。
SOUR:AF:LIST:SET FM,ON,1000,5000,ON,66.1,500,ON,026,200

`[[:SENSe]:AF:AVERage[:STATe] ON|OFF|1|0`

Average Mode

機能

RX 測定の平均化の On/Off を設定します。

コマンド

```
[[:SENSe]:AF:AVERage[:STATe] <switch>
```

パラメータ

<switch>	平均化の On/Off
ON 1	測定時に平均化を実行する
OFF 0	測定時に平均化を実行しない（初期値）

詳細

測定値の平均化を実行すると、測定時に **Average Count** の設定値の回数分の測定を実行し、測定結果は測定回数分の平均値となります。

使用例

RX 測定の平均化を ON に設定する。
`AF:AVER ON`

`[[:SENSe]:AF:AVERage[:STATe]?`

Average Mode Query

機能

RX 測定の平均化の設定を読み出します。

クエリ

```
[[:SENSe]:AF:AVERage[:STATe]?
```

レスポンス

```
<switch>
```

パラメータ

<switch>	平均化 On/Off
1	平均化実行中
0	平均化なし

使用例

RX 測定の平均化の設定を読み出す。
`AF:AVER?`
> 1

[[:SENSe]:AF:AVERage:COUNT <integer>

Average Count

機能

RX 測定の平均化回数を設定します。

コマンド

[[:SENSe]:AF:AVERage:COUNT <integer>

パラメータ

<integer>	平均化回数
範囲	2～9999
分解能	1
初期値	10

詳細

RX 測定の平均化を ON に設定している場合に、平均化を行う測定回数を設定します。

使用例

平均回数を 10 に設定する。
AF:AVER:COUN 10

[[:SENSe]:AF:AVERage:COUNT?

Average Count Query

機能

RX 測定の平均化回数を読み出します。

クエリ

[[:SENSe]:AF:AVERage:COUNT?

レスポンス

<integer>

パラメータ

<integer>	平均化回数
範囲	2～9999
分解能	1

使用例

平均回数を読み出す。
AF:AVER:COUN?
> 10

2.6 外部機器制御用端子

外部機器を制御する端子（PTT (Push To Talk), GPIO (General Purpose Input/Output), Open Collector）の操作に関するデバイスメッセージを表 2.6-1 に示します。

本節のデバイスメッセージは、MS2830A-018/118 搭載時のみ有効です。

表 2.6-1 外部機器制御用端子デバイスメッセージ

パラメータ	デバイスメッセージ
PTT	:PTT[1]:STATe ON OFF 1 0
	:PTT[1]:STATe?
PTT Logic	:PTT[1]:LOGic POSitive NEGative
	:PTT[1]:LOGic?
GPIO Out1/Out2	:GPIO:OUTPut[1] 2:STATe ON OFF 1 0
	:GPIO:OUTPut[1] 2:STATe?
GPIO Out1/Out2 Logic	:GPIO:OUTPut[1] 2:LOGic POSitive NEGative
	:GPIO:OUTPut[1] 2:LOGic?
GPIO In1/In2 Query	:GPIO:INPut[1] 2:STATe?
GPIO In1/In2 Logic	:GPIO:INPut[1] 2:LOGic POSitive NEGative
	:GPIO:INPut[1] 2:LOGic?
Open Collector State	:OPENcollector[1]:STATe SHORt OPEN
	:OPENcollector[1]:STATe?

:PTT[1]:STATe ON|OFF|1|0

PTT

機能

PTT 端子の On/Off を設定します。

コマンド

:PTT[1]:STATe <switch>

パラメータ

<switch>	PTT 端子の On/Off
OFF 0	PTT 端子を OFF にする (初期値)
ON 1	PTT 端子を ON にする

詳細

MS2830A-018/118 搭載, TX 測定モードの場合のみ有効です。

使用例

PTT 端子を ON に設定する。
PTT:STAT ON

:PTT[1]:STATe?

PTT Query

機能

PTT 端子の状態を読み出します。

クエリ

:PTT[1]:STATe?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	PTT 端子の On/Off
0	PTT 端子 Off
1	PTT 端子 On

使用例

PTT 端子の状態を読み出す。
PTT:STAT?
> 1

:PTT[1]:LOGic POSitive|NEGative

PTT Logic

機能

PTT 端子の論理を切り替えます。

コマンド

```
:PTT[1]:LOGic <mode>
```

パラメータ

<mode>	PTT 端子の論理
POSitive	正論理 (初期値)
NEGative	負論理

詳細

MS2830A-018/118 搭載, TX 測定モードの場合のみ有効です。

使用例

PTT 端子を負論理に設定する。
PTT:LOG NEG

:PTT[1]:LOGic?

PTT Logic Query

機能

PTT 端子の論理を読み出します。

クエリ

```
:PTT[1]:LOGic?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	PTT 端子の論理
POS	正論理
NEG	負論理

使用例

PTT 端子の論理を読み出す。
PTT:LOG?
> NEG

:GPIO:OUTPut[1]|2:STATe ON|OFF|1|0

GPIO Out1/Out2

機能

GPIO の Out1 または Out2 の On/Off を設定します。

コマンド

:GPIO:OUTPut[1]|2:STATe <switch>

パラメータ

<switch>	GPIO 出力の On/Off
OFF 0	GPIO 出力を Off にする (初期値)
ON 1	GPIO 出力を On にする

使用例

GPIO の Out1 を ON に設定する。
GPIO:OUTP:STAT ON

:GPIO:OUTPut[1]|2:STATe?

GPIO Out1/Out2 Query

機能

GPIO の Out1 または Out2 の状態を読み出します。

クエリ

:GPIO:OUTPut[1]|2:STATe?

レスポンス

<switch>

パラメータ

<switch>	GPIO 出力の On/Off
0	GPIO 出力 OFF
1	GPIO 出力 ON

使用例

GPIO の Out1 の状態を読み出す。
GPIO:OUTP:STAT?
> 1

:GPIO:OUTPut[1]|2:LOGic POSitive|NEGative

GPIO Out1/Out2 Logic

機能

GPIO の Out1 または Out2 の論理を切り替えます。

コマンド

```
:GPIO:OUTPut[1]|2:LOGic <mode>
```

パラメータ

<mode>	GPIO 出力の論理
POSitive	正論理 (初期値)
NEGative	負論理

使用例

GPIO の Out1 を負論理に設定する。

```
GPIO:OUTP:LOG NEG
```

:GPIO:OUTPut[1]|2:LOGic?

GPIO Out1/Out2 Logic Query

機能

GPIO の Out1 または Out2 の論理を読み出します。

クエリ

```
:GPIO:OUTPut[1]|2:LOGic?
```

レスポンス

```
<mode>
```

パラメータ

<mode>	GPIO 出力の論理
POS	正論理
NEG	負論理

使用例

GPIO の Out1 の論理を読み出す。

```
GPIO:OUTP:LOG?
```

```
> NEG
```

:GPIO:INPut[1]|2:STATe?

GPIO In1/In2 Query

機能	GPIO の In1 または In2 の状態を読み出します。		
クエリ	:GPIO:INPut[1] 2:STATe?		
レスポンス	<switch>		
パラメータ	<switch>	GPIO 入力の On/Off	
	0	GPIO 入力 Off	
	1	GPIO 入力 On	
使用例	GPIO の In1 の状態を読み出す。 GPIO:INP:STAT? > 1		

:GPIO:INPut[1]|2:LOGic POSitive|NEGative

GPIO In1/In2 Logic

機能	GPIO の In1 または In2 の論理を切り替えます。		
コマンド	:GPIO:INPut[1] 2:LOGic <mode>		
パラメータ	<mode>	GPIO 入力の論理	
	POSitive	正論理 (初期値)	
	NEGative	負論理	
使用例	GPIO の In1 を負論理に設定する。 GPIO:INP:LOG NEG		

:GPIO:INPut[1]|2:LOGic?

GPIO In1/In2 Logic Query

機能

GPIO の In1 または In2 の論理を読み出します。

クエリ

:GPIO:INPut[1]|2:LOGic?

レスポンス

<mode>

パラメータ

<mode>	GPIO 入力論理
POS	正論理
NEG	負論理

使用例

GPIO の In1 の論理を読み出す。
GPIO:INP:LOG?
> NEG

:OPENcollector[1]:STATe SHORT|OPEN

Open Collector State

機能

Open Collector 端子の Short, Open を切り替えます。

コマンド

:OPENcollector[1]:STATe <switch>

パラメータ

<switch>	Open Collector 端子の状態
SHORT	Short (短絡)
OPEN	Open (開放) (初期値)

使用例

Open Collector 端子を Short に設定する。
OPEN:STAT SHOR

:OPENcollector[1]:STATe?

Open Collector State Query

機能

Open Collector 端子の状態を読み出します。

コマンド

:OPENcollector[1]:STATe?

パラメータ

<switch>	Open Collector 端子の状態
SHOR	Short (短絡)
OPEN	Open (開放)

使用例

Open Collector 端子の状態を読み出す。
OPEN:STAT?
> SHOR

第3章 SCPI ステータスレジスタ

この章では、アプリケーションの状態を読み出すための SCPI コマンドとステータスレジスタについて説明します。

3

SCPI ステータスレジスタ

3.1	測定状態の読み出し	3-2
	:STATus:ERRor?	3-2
3.2	STATus:QUEStionable レジスタ	3-3
	:STATus:QUEStionable[:EVENT]?	3-5
	:STATus:QUEStionable:CONDition?	3-5
	:STATus:QUEStionable:ENABle <integer>	3-6
	:STATus:QUEStionable:ENABle?	3-6
	:STATus:QUEStionable:NTRansition <integer>	3-7
	:STATus:QUEStionable:NTRansition?	3-7
	:STATus:QUEStionable:PTRansition <integer>	3-8
	:STATus:QUEStionable:PTRansition?	3-8
	:STATus:QUEStionable:MEASure[:EVENT]?	3-9
	:STATus:QUEStionable:MEASure:CONDition?	3-9
	:STATus:QUEStionable:MEASure:ENABle <integer>	3-10
	:STATus:QUEStionable:MEASure:ENABle?	3-10
	:STATus:QUEStionable:MEASure:NTRansition <integer>	3-11
	:STATus:QUEStionable:MEASure:NTRansition?	3-11
	:STATus:QUEStionable:MEASure:PTRansition <integer>	3-12
	:STATus:QUEStionable:MEASure:PTRansition?	3-12
3.3	STATus:OPERation レジスタ	3-13
	:STATus:OPERation[:EVENT]?	3-14
	:STATus:OPERation:CONDition?	3-14
	:STATus:OPERation:ENABle <integer>	3-15
	:STATus:OPERation:ENABle?	3-15
	:STATus:OPERation:NTRansition <integer>	3-16
	:STATus:OPERation:NTRansition?	3-16
	:STATus:OPERation:PTRansition <integer>	3-17
	:STATus:OPERation:PTRansition?	3-17

3.1 測定状態の読み出し

:STATus:ERRor?

Measurement Status Query

機能

測定状態を読み出します。

クエリ

:STATus:ERRor?

レスポンス

<status>

パラメータ

<status>	測定状態
値	$= \text{bit0} + \text{bit1} + \text{bit2} + \text{bit3} + \text{bit4} + \text{bit5} + \text{bit6}$ $+ \text{bit7} + \text{bit8} + \text{bit9} + \text{bit10} + \text{bit11} + \text{bit12}$ $+ \text{bit13} + \text{bit14} + \text{bit15}$
	bit0 : $2^0 = 1$ 未測定
	bit1 : $2^1 = 2$ レベルオーバ (RF Input)
	bit2 : $2^2 = 4$ タイムアウト
	bit3 : $2^3 = 8$ レベルオーバ (AF Input)
	bit4 : $2^4 = 16$ オーディオジェネレータ クリッピング
	bit5 : $2^5 = 32$ (未使用)
	bit6 : $2^6 = 64$ (未使用)
	bit7 : $2^7 = 128$ (未使用)
	bit8 : $2^8 = 256$ (未使用)
	bit9 : $2^9 = 512$ (未使用)
	bit10 : $2^{10} = 1024$ (未使用)
	bit11 : $2^{11} = 2048$ (未使用)
	bit12 : $2^{12} = 4096$ (未使用)
	bit13 : $2^{13} = 8192$ (未使用)
	bit14 : $2^{14} = 16384$ (未使用)
	bit15 : $2^{15} = 32768$ (未使用)
範囲	0～65535

詳細

正常終了時は 0 が返ります。

使用例

測定状態を読み出す
STAT:ERR?
> 0

3.2 STATus:QUEStionable レジスタ

QUEStionable ステータスレジスタの階層構造は、図 3.2-1、表 3.2-1、図 3.2-2、表 3.2-2 のとおりです。

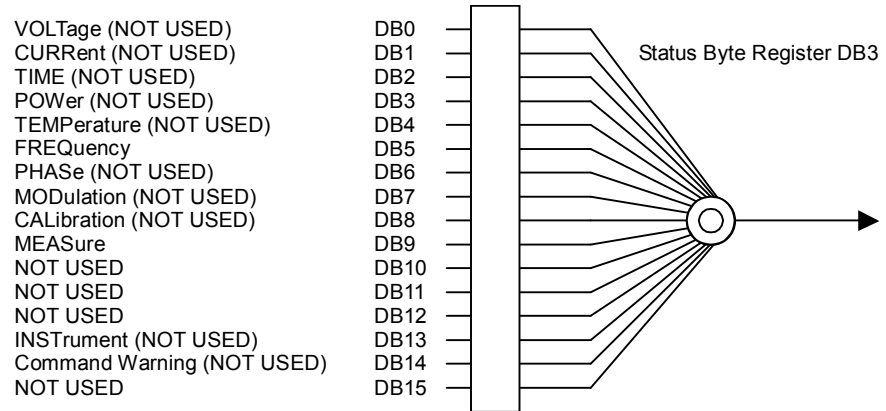


図 3.2-1 QUEStionable ステータスレジスタ

表 3.2-1 QUEStionable ステータスレジスタのビット定義

ビット	定義
DB5	Reference Clock の Unlock
DB9	QUEStionable Measure レジスタサマリ

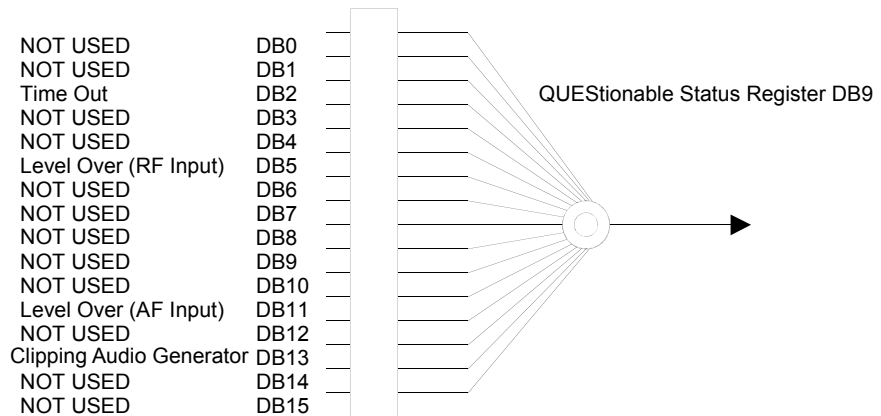


図 3.2-2 QUEStionable Measure レジスタ

表 3.2-2 QUEStionable Measure レジスタのビット定義

ビット	定義
DB2	タイムアウト
DB5	レベルオーバ (RF Input)
DB11	レベルオーバ (AF Input)
DB13	オーディオジェネレータクリッピング

QUEStionable ステータスレジスタに関するデバイスメッセージは表 3.2-3 のとおりです。

表 3.2-3 QUEStionable ステータスレジスタに関するデバイスメッセージ

機能	デバイスメッセージ
Questionable Status Register Event	:STATus:QUEStionable[:EVENT]?
Questionable Status Register Condition	:STATus:QUEStionable:CONDition?
Questionable Status Register Enable	:STATus:QUEStionable:ENABle <integer>
	:STATus:QUEStionable:ENABle?
Questionable Status Register Negative Transition	:STATus:QUEStionable:NTRansition <integer>
	:STATus:QUEStionable:NTRansition?
Questionable Status Register Positive Transition	:STATus:QUEStionable:PTRansition <integer>
	:STATus:QUEStionable:PTRansition?
Questionable Measure Register Event	:STATus:QUEStionable:MEASure[:EVENT]?
Questionable Measure Register Condition	:STATus:QUEStionable:MEASure:CONDition?
Questionable Measure Register Enable	:STATus:QUEStionable:MEASure:ENABle <integer>
	:STATus:QUEStionable:MEASure:ENABle?
Questionable Measure Register Negative Transition	:STATus:QUEStionable:MEASure:NTRansition <integer>
	:STATus:QUEStionable:MEASure:NTRansition?
Questionable Measure Register Positive Transition	:STATus:QUEStionable:MEASure:PTRansition <integer>
	:STATus:QUEStionable:MEASure:PTRansition?

:STATus:QUEStionable[:EVENT]?

Questionable Status Register Event

機能

QUEStionable ステータスレジスタのイベントレジスタを読み出します。

クエリ**:STATus:QUEStionable[:EVENT]?****レスポンス**

<integer>

パラメータ

<integer>	イベントレジスタのビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUEStionable ステータスレジスタのイベントレジスタを読み出す
STAT:QUES?
 > 0

:STATus:QUEStionable:CONDition?

Questionable Status Register Condition

機能

QUEStionable ステータスレジスタのコンディションレジスタを読み出します。

クエリ**:STATus:QUEStionable:CONDition?****レスポンス**

<integer>

パラメータ

<integer>	コンディションレジスタのビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUEStionable ステータスレジスタのコンディションレジスタを読み出す
STAT:QUES:COND?
 > 0

:STATus:QUESTionable:ENABle <integer>

Questionable Status Register Enable

機能

QUESTionable ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタを設定します。

コマンド

```
:STATus:QUESTionable:ENABle <integer>
```

パラメータ

<integer>	イベントイネーブルレジスタのビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUESTionable ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに 16 を設定する
STAT:QUES:ENAB 16

:STATus:QUESTionable:ENABle?

Questionable Status Register Enable Query

機能

QUESTionable ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタを読み出します。

クエリ

```
:STATus:QUESTionable:ENABle?
```

レスポンス

```
<integer>
```

パラメータ

<integer>	イベントイネーブルレジスタのビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUESTionable ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタを読み出す
STAT:QUES:ENAB?
> 16

:STATus:QUEStionable:NTRansition <integer>

Questionable Status Register Negative Transition

機能

QUEStionable ステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）を設定します。

コマンド

```
:STATus:QUEStionable:NTRansition <integer>
```

パラメータ

<integer>	トランジションフィルタ（負方向変化）のビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUEStionable ステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）に 16 を設定する
STAT:QUES:NTR 16

:STATus:QUEStionable:NTRansition?

Questionable Status Register Negative Transition Query

機能

QUEStionable ステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）を読み出します。

クエリ

```
:STATus:QUEStionable:NTRansition?
```

レスポンス

```
<integer>
```

パラメータ

<integer>	トランジションフィルタ（負方向変化）のビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUEStionable ステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）を読み出す
STAT:QUES:NTR?
> 16

:STATus:QUEStionable:PTRansition <integer>

Questionable Status Register Positive Transition

機能

QUEStionable ステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を設定します。

コマンド

```
:STATus:QUEStionable:PTRansition <integer>
```

パラメータ

<integer>	トランジションフィルタ（正方向変化）のビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUEStionable ステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）に 16 を設定する
STAT:QUES:PTR 16

:STATus:QUEStionable:PTRansition?

Questionable Status Register Positive Transition Query

機能

QUEStionable ステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を読み出します。

クエリ

```
:STATus:QUEStionable:PTRansition?
```

レスポンス

```
<integer>
```

パラメータ

<integer>	トランジションフィルタ（正方向変化）のビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUEStionable ステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を読み出す
STAT:QUES:PTR?
> 16

:STATus:QUEStionable:MEASure[:EVENT]?

Questionable Measure Register Event

機能

QUEStionable Measure レジスタのイベントレジスタを読み出します。

クエリ

:STATus:QUEStionable:MEASure[:EVENT]?

レスポンス

<integer>

パラメータ

<integer>	イベントレジスタのビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUEStionable Measure レジスタのイベントレジスタの内容を読み出す

```
STAT:QUES:MEAS?
> 0
```

:STATus:QUEStionable:MEASure:CONDition?

Questionable Measure Register Condition

機能

QUEStionable Measure レジスタのコンディションレジスタを読み出します。

クエリ

:STATus:QUEStionable:MEASure:CONDition?

レスポンス

<integer>

パラメータ

<integer>	コンディションレジスタのビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUEStionable Measure レジスタのコンディションレジスタの内容を読み出す

```
STAT:QUES:MEAS:COND?
> 0
```

:STATus:QUESTionable:MEASure:ENABle <integer>

Questionable Measure Register Enable

機能

QUESTionable Measure レジスタのイベントイネーブルレジスタを設定します。

コマンド

```
:STATus:QUESTionable:MEASure:ENABle <integer>
```

パラメータ

<integer>	イベントイネーブルレジスタのビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUESTionable Measure レジスタのイベントイネーブルレジスタに 16 を設定する
STAT:QUES:MEAS:ENAB 16

:STATus:QUESTionable:MEASure:ENABle?

Questionable Measure Register Enable Query

機能

QUESTionable Measure レジスタのイベントイネーブルレジスタを読み出します。

クエリ

```
:STATus:QUESTionable:MEASure:ENABle?
```

レスポンス

```
<integer>
```

パラメータ

<integer>	イベントイネーブルレジスタのビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUESTionable Measure レジスタのイベントイネーブルレジスタを読み出す
STAT:QUES:MEAS:ENAB?
> 16

:STATus:QUEStionable:MEASure:NTRansition <integer>

Questionable Measure Register Negative Transition

機能

QUEStionable Measure レジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）を設定します。

コマンド

```
:STATus:QUEStionable:MEASure:NTRansition <integer>
```

パラメータ

<integer>	トランジションフィルタ（負方向変化）のビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUEStionable Measure レジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）に 16 を設定する

```
STAT:QUES:MEAS:NTR 16
```

:STATus:QUEStionable:MEASure:NTRansition?

Questionable Measure Register Negative Transition Query

機能

QUEStionable Measure レジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）を読み出します。

クエリ

```
:STATus:QUEStionable:MEASure:NTRansition?
```

レスポンス

```
<integer>
```

パラメータ

<integer>	トランジションフィルタ（負方向変化）のビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUEStionable Measure レジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）を読み出す

```
STAT:QUES:MEAS:NTR?
> 16
```

:STATus:QUEStionable:MEASure:PTRansition <integer>

Questionable Measure Register Positive Transition

機能

QUEStionable Measure レジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を設定します。

コマンド

:STATus:QUEStionable:MEASure:PTRansition <integer>

パラメータ

<integer>	トランジションフィルタ（正方向変化）のビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUEStionable Measure レジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）に 16 を設定する

STAT:QUES:MEAS:PTR 16

:STATus:QUEStionable:MEASure:PTRansition?

Questionable Measure Register Positive Transition Query

機能

QUEStionable Measure レジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を読み出します。

クエリ

:STATus:QUEStionable:MEASure:PTRansition?

レスポンス

<integer>

パラメータ

<integer>	トランジションフィルタ（正方向変化）のビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

QUEStionable Measure レジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を読み出す

STAT:QUES:MEAS:PTR?

> 16

3.3 STATus:OPERation レジスタ

OPERation ステータスレジスタの階層構造は図 3.3-1, 表 3.3-1 のとおりです。

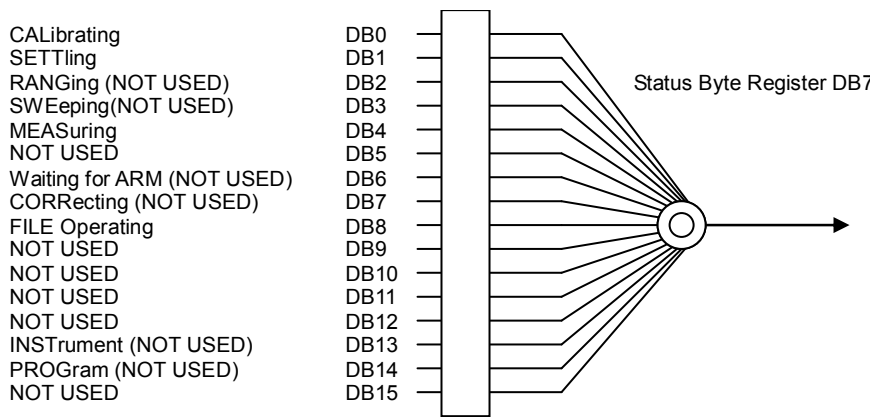


図 3.3-1 OPERation ステータスレジスタ

表 3.3-1 OPERation ステータスレジスタの定義

ビット	定義
DB0	CAL 実行中
DB1	ウォームアップメッセージ表示中
DB4	測定中

OPERation ステータスレジスタに関するデバイスメッセージは表 0.0-2 のとおりです。

表 3.3-2 OPERation ステータスレジスタに関するデバイスメッセージ

機能	デバイスメッセージ
Operation Status Register Event	<code>:STATus:OPERation[:EVENT]?</code>
Operation Status Register Condition	<code>:STATus:OPERation:CONDition?</code>
Operation Status Register Enable	<code>:STATus:OPERation:ENABle <integer></code>
	<code>:STATus:OPERation:ENABle?</code>
Operation Status Register Negative Transition	<code>:STATus:OPERation:NTRansition <integer></code>
	<code>:STATus:OPERation:NTRansition?</code>
Operation Status Register Positive Transition	<code>:STATus:OPERation:PTRansition <integer></code>
	<code>:STATus:OPERation:PTRansition?</code>

:STATus:OPERation[:EVENT]?

Operation Status Register Event

機能

OPERation ステータスレジスタのイベントレジスタを読み出します。

クエリ

:STATus:OPERation[:EVENT]?

レスポンス

<integer>

パラメータ

<integer>	イベントレジスタのビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

OPERation ステータスレジスタのイベントレジスタを読み出す
STAT:OPER?
> 0

:STATus:OPERation:CONDition?

Operation Status Register Condition

機能

OPERation ステータスレジスタのコンディションレジスタを読み出します。

クエリ

:STATus:OPERation:CONDition?

レスポンス

<integer>

パラメータ

<integer>	コンディションレジスタのビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

OPERation ステータスレジスタのコンディションレジスタを読み出す
STAT:OPER:COND?
> 0

:STATus:OPERation:ENABle <integer>

Operation Status Register Enable

機能

OPERation ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタを設定します。

コマンド

:STATus:OPERation:ENABle <integer>

パラメータ

<integer>	イベントイネーブルレジスタのビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

OPERation ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタに 16 を設定する
STAT:OPER:ENAB 16

:STATus:OPERation:ENABle?

Operation Status Register Enable Query

機能	OPERation ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタを読み出します。		
クエリ	:STATus:OPERation:ENABle?		
レスポンス	<integer>		
パラメータ	<integer>	イベントイネーブルレジスタのビット総和	
	分解能	1	
	範囲	0～65535	
使用例	OPERation ステータスレジスタのイベントイネーブルレジスタを読み出す STAT:OPER:ENAB? > 16		

:STATus:OPERation:NTRansition <integer>

Operation Status Register Negative Transition

機能

OPERation ステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）を設定します。

コマンド

```
:STATus:OPERation:NTRansition <integer>
```

パラメータ

<integer>	トランジションフィルタ（負方向変化）のビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

OPERation ステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）に 16 を設定する

```
STAT:OPER:NTR 16
```

:STATus:OPERation:NTRansition?

Operation Status Register Negative Transition Query

機能

OPERation ステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）を読み出します。

クエリ

```
:STATus:OPERation:NTRansition?
```

レスポンス

```
<integer>
```

パラメータ

<integer>	トランジションフィルタ（負方向変化）のビット総和
分解能	1
範囲	0～65535

使用例

OPERation ステータスレジスタのトランジションフィルタ（負方向変化）を読み出す

```
STAT:OPER:NTR?
```

```
> 16
```

:STATus:OPERation:PTRansition <integer>

Operation Status Register Positive Transition

機能	OPERation ステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を設定します。		
コマンド	:STATus:OPERation:PTRansition <integer>		
パラメータ	<integer>	トランジションフィルタ（正方向変化）のビット総和	
	分解能	1	
	範囲	0～65535	
使用例	OPERation ステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）に 16 を設定する STAT:OPER:PTR 16		

:STATus:OPERation:PTRansition?

Operation Status Register Positive Transition Query

機能	OPERation ステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を読み出します。		
クエリ	:STATus:OPERation:PTRansition?		
レスポンス	<integer>		
パラメータ	<integer>	トランジションフィルタ（正方向変化）のビット総和	
	分解能	1	
	範囲	0～65535	
使用例	OPERation ステータスレジスタのトランジションフィルタ（正方向変化）を読み出す STAT:OPER:PTR? > 16		

